昭和24年3月19日　第3郵便物認可 昭和40年6月20日印刷　昭和40年6月25日発行　第46輯第6号（毎月1回25日発行）

建築と社会 6 '65

社会開発



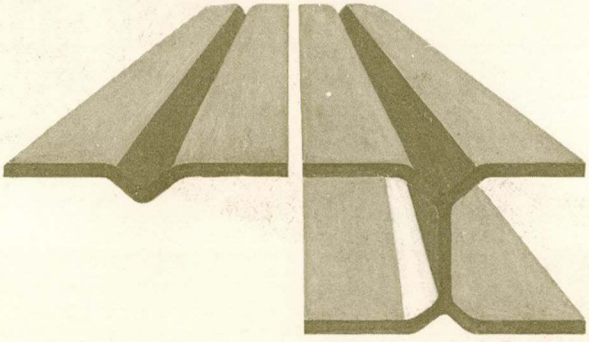
日本建築協会

“鉄をつくり 未来をつくる”住友金属



Vが決め手!

●ジュニアV形鋼



●スミフレームV

新発売

V形を生かしたジュニアV形鋼。剛性が強く溶接が容易で、ひずみもゼロ。フランジは、リベット・ボルト結合にじゅうぶんな広さがあります。肉厚は4.0㎜以上、いままでの軽量形鋼には不可能な建築にお役立てください
V形鋼を使ったフルウエブ材・スミフレームVを新発売。部材の規格量産化によって価格は安く、しかも工期の短縮化に役立つ新製品です

ジュニアV形鋼
スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

本　社　大阪市東区北浜5の15 新住友ビル
支　社　東京都千代田区丸の内1の8 新住友ビル
営業所　福岡・広島・高松・名古屋・静岡・新潟・仙台・札幌

床材のハイファッション マチコ カラー…

●美しいファッションの色
米国連邦規格合格の丈夫さ

美しい色でがぜん注目されたマチコカラー！きびしい規格にも余裕の合格をした丈夫さアメリカはもちろんドイツやイタリヤでも定評のあるマチコタイルは松屋など有名ビルに続々採用されています。……

美しい色が20種　まねのできない国際的なファッションの色です。　オートメ工場で量産していますからいついかなるご注文にもOKです。

■床材のハイ ファッション
マチコV
ビニール アスベスト タイル®

リノリユーム・リノタイル・ビニラートタイル・マチコタイル・ナイアンリノタイル総発売元

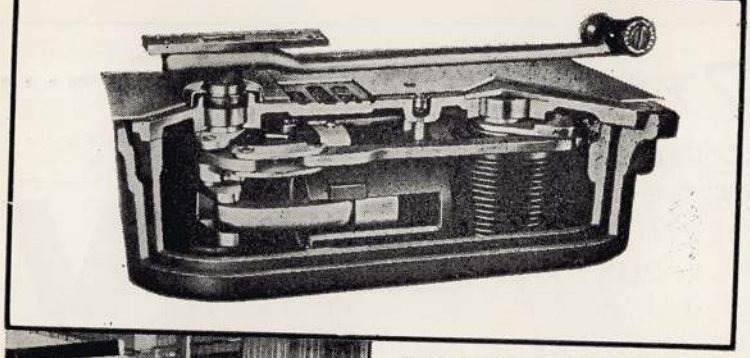
東洋リノリユーム株式会社

床材の総合メーカー

大阪市南区鰻谷東之町4の25三和ビル　■TEL大　阪（252）2921
東京都中央区銀座4丁目三和ビル　■TEL東　京（567）8341
名古屋市中区菊井町2の11名古屋センタービル　■TEL名古屋（2）3）5380
福岡市今泉町4丁目1260ノ2　■TEL福　岡（7）5）0425
広島市東観音町1の2067　■TEL広　島（3）1）6139

MATICO



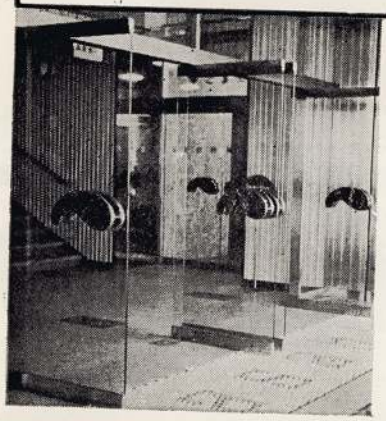


ユートピア印

S.K 平川鉄工所

フロアヒンジ

ピボットヒンジ



専門家が推奨する

金属製扉、木製扉、強化硝子扉
合成樹脂扉、何れの扉にも使用
出来ます。

諸官庁御指定品　旭硝子御採用品

製造元

敷島金物株式会社

大阪府布施市横沼町1の46
電話　布施　(721) 7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26
電話　東京　(262) 5310・0403

二〇〇〇余基の実績

コンスタントの効率

世界に誇る！

ボイラ負荷　　ボイラ効率

100％でも　87％

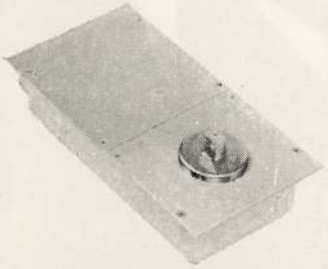
MPボイラ

20％でも　87％

株式会社　平川鐵工所

本社・工場　大阪市大淀区大淀町北1の11　TEL (458) 8681(代)
東京　名古屋　九州　滋賀工場

NHN
ドア金具は善意のマーク



ニッカナ フロアヒンジ

販売元 株式会社 ニッカナ
東京都中央区日本橋本町3～7（新みやこビル内）TEL（241）6821～3（市外局番）03

製造元 ダイハツ工業株式會社

〈雑誌名記入の上、カタログご請求下さい〉

新発売の
遅れた理由が
わかった！



フロアヒンジの限界を越えた超薄型……市場に出揃ったこのタイプ・両開用ダブルシリンダー型では最も薄い。業界随一の超薄型に、驚くべき耐久力をそなえ、画期的な性能と機能をもっている。埋込み作業、据付作業も簡単に出来た！ニッカナ製品を見て、使って見て新発売の遅れた理由がわかった。
この優れた製品に要した研究期間の成果が、新発売の遅れを取り戻すことであろう。待っていた超薄型！フロアヒンジも矢張りニッカナである。

たな・棚組

完全なフリーサイズのアングル シェブロン

●時間をはぶく●切端まで有効に
●自由に組立と解体●せまい場所をひろく





1．切断
V型穴にこだわる必要はありません。専用の道具で簡単に切れます。

2．ネジ
どんな組合せでもボルトが通ります。専用ボルトはよく締まります。

3．残端
短い残りもジョイントその他に全部むだなく使えます

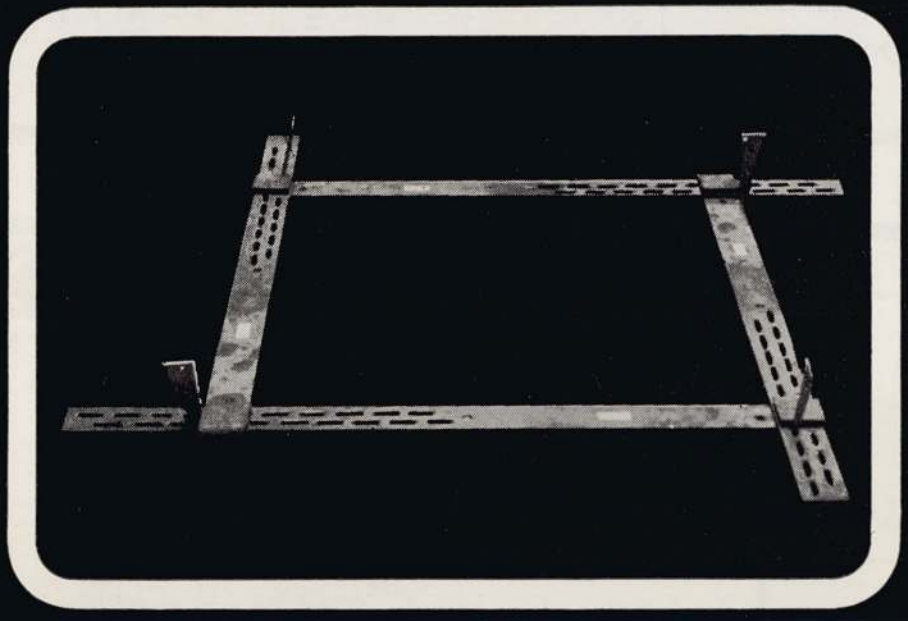


住生活の改善
四ツ橋 カモイ
生きる近代建築に

大阪・四ツ橋 株式会社 山本建材社
電・（541）1861－5・2131 2233 7060 7170

コラムクランプ

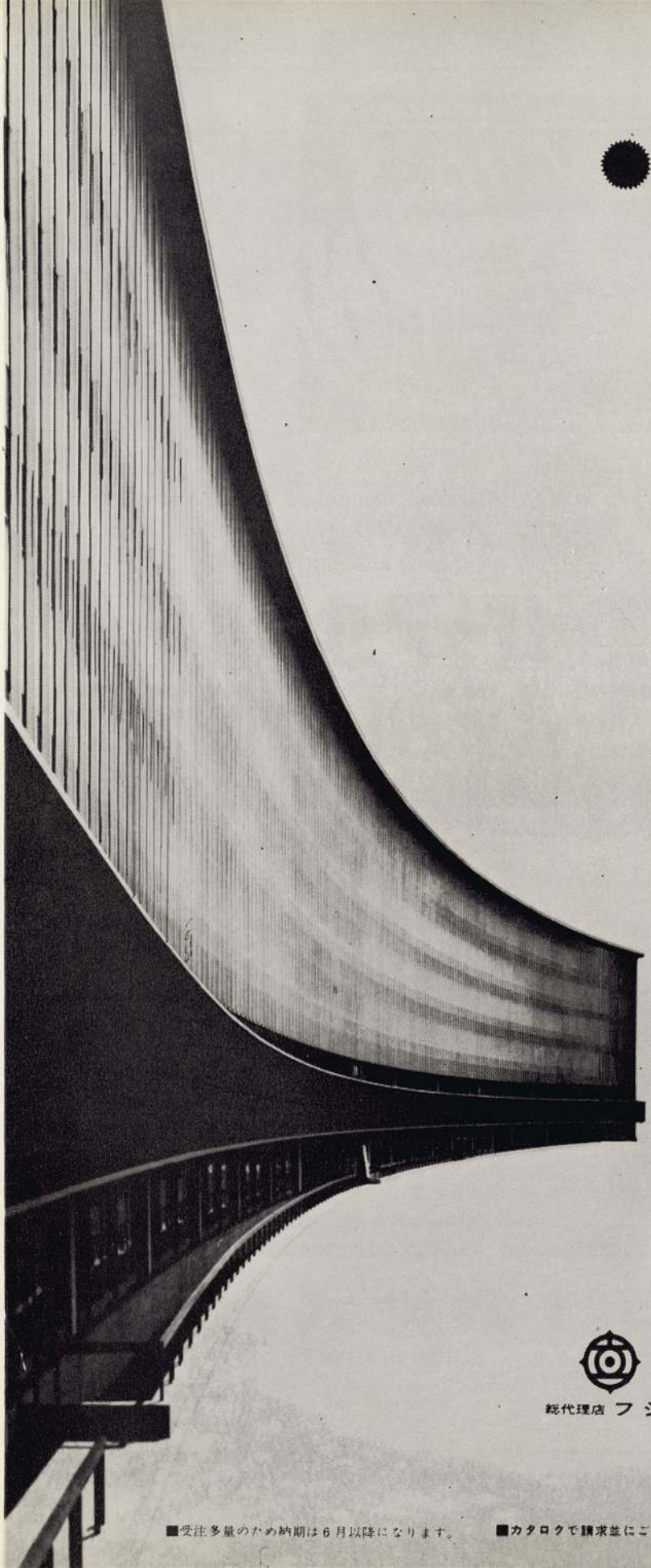
コンクリート工事の柱型枠の締付には　最高の精密度を誇り充分な安全性を保ち　而も取付操作が簡易で経済的な“フコク式特許コラムクランプ”が最高です。
独立柱用のコラムクランプ《フラット》　《チャンネル》
壁付柱用のコラムクランプ《フラット》は全国の工事現場で有意義に活躍し栄え行く国土の建設に貢献しています。柱型枠の締付にはぜひコラムクランプをご使用下さい。



特許フコク式　コンクリート柱型枠締付金具

富国交易株式会社

東京都千代田区内幸町２の２　富国ビル５０２号室
電話　東京（591）６８５４　６８５９　７９７７番



天然大理石にまさる新建材!

》フジマーブル《

■ビル外装とインテリアの感覚演出のカギ

それは内外装材の《美しさ》にあります　そして
その美しさを表現して天然大理石にまさる新建材　**フジマーブル**が
いま大変な評判になっています
あなたの感覚演出を十分に活かす新建材
フジマーブルを
ぜヒいちどお試しください

■フジマーブルの特長

1) **強度が高い**　素材の引張強度は硬質塩ビ板の約2倍

2) **耐摩耗性にすぐれている**　優れた耐摩耗性をもっています

3) **耐候性に富んでいる**　耐水・耐湿性がきわめて良好であり経年変化に強い

4) **破壊されにくい**　硬度が高く破壊しがたくなお　年々硬化します

5) **難燃性である**　主資材に無機質を使用しているので燃焼しがたい

6) **カラーは30数種以上もある**　あなたの感覚演出を十分に活かすため30数種余りのカラーを用意してあります



《特許》

フジマーブル
FUJI MARBLE

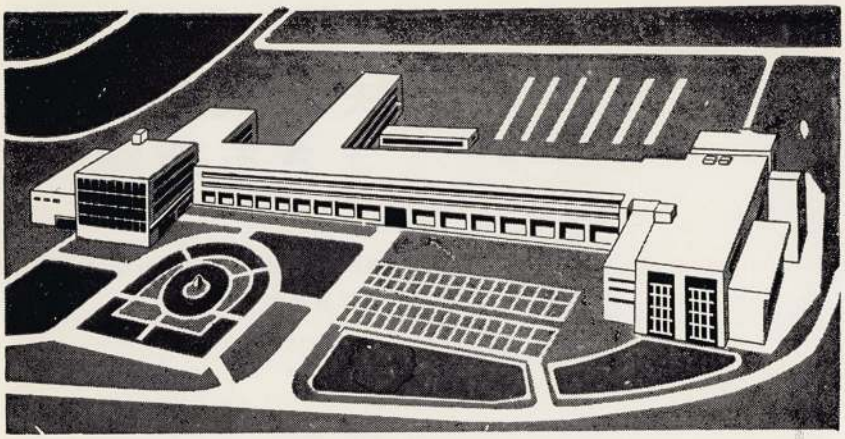
発売元
東京日立ビル施設販売株式会社

総代理店　フジマーブル販売株式会社

東京都港区芝南佐久間町2―4（日立愛宕別館）
本社営業部　東京都中央区銀座8―3（東成ビル）
TEL　東京（571）3176~9

■受注多量のため納期は6月以降になります。

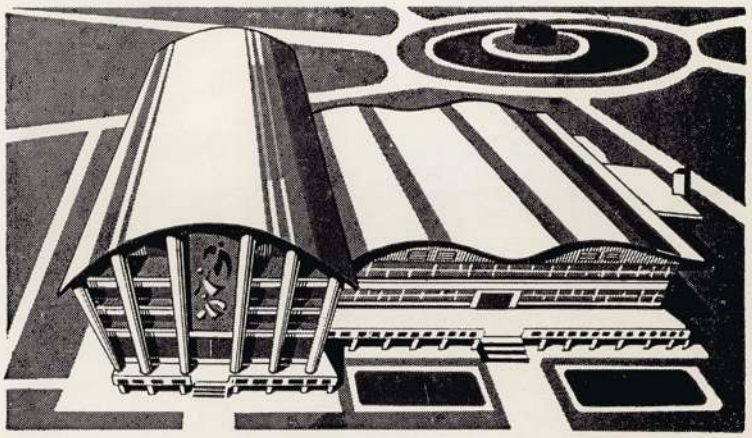
■カタログで請求並にご照会は「建築と社会の広告による」とお申添え下さい



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　サッシール

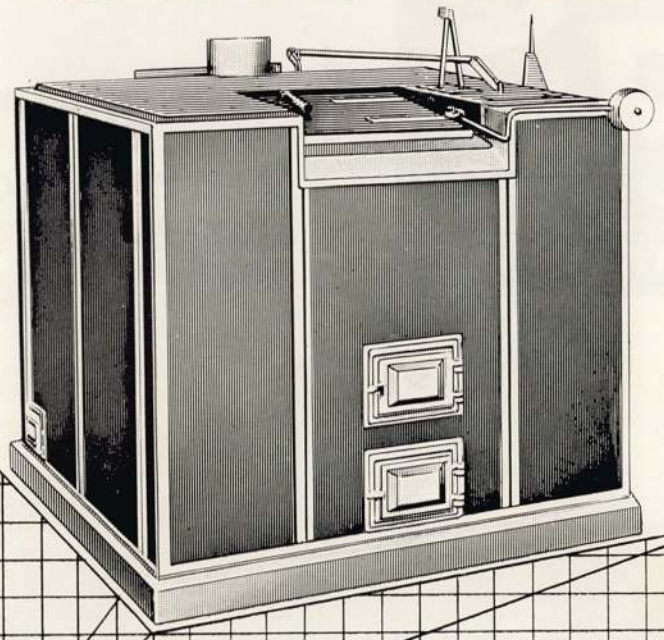


日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（271）7000・5463～5
名古屋営業所　名古屋市港区南十一番町2—6
　　TEL（66）8251～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL（392）0051～6

最小のスペースを——
最大の燃焼効率で活かす



TYPE C	間口	1.15 ～ 2.40	奥行	1.15 ～ 2.40	高さ	1.08 ～
TYPE E		0.95 ～ 1.22		0.70 ～ 0.93		0.75 ～ 0.90(m)

インシナーの塵芥炉は、
ご家庭から大工場まで、
巾広いご愛顧をいただ
いております

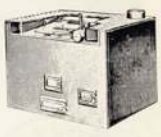
C TYPE 定置式

特殊耐火保熱板、独特の貯芥箱、放熱板、ムダのない空気利用……新しいアイデアがいっぱいの本格的塵芥炉
工場・学校・病院・ホテル・ビルなどでの多量のゴミ処理におすすめします

E TYPE ポータブル

ゴミ箱がわりに設置できるコンパクトタイプ。水っぽいゴミも完全焼却する高性能。火災の心配がない完全密閉式。臭気も出ず、煙も少ないので衛生的。広い構内では分散設置が便利です。銀行・寮・社宅・食品店・一般家庭に——

特許番号
248182・583503
486791・486824
517838・655818
特許出願
38－63138・38－82085
35－45735・37－12522
37－15794・38－63138
38－18667・37－20123



カタログご請求ください

塵芥炉
インシナー

インシナー工業
本社/東京都品川区五反田1－129〈三星ビル〉電 441・2291　大阪営業所/大阪市北区牛丸町55〈東洋ビル〉電 312・7481
名古屋営業所/名古屋市昭和区恵方町2－8　電 84・5874　福岡営業所/福岡市春吉3〈春野ビル〉　電 76・1880

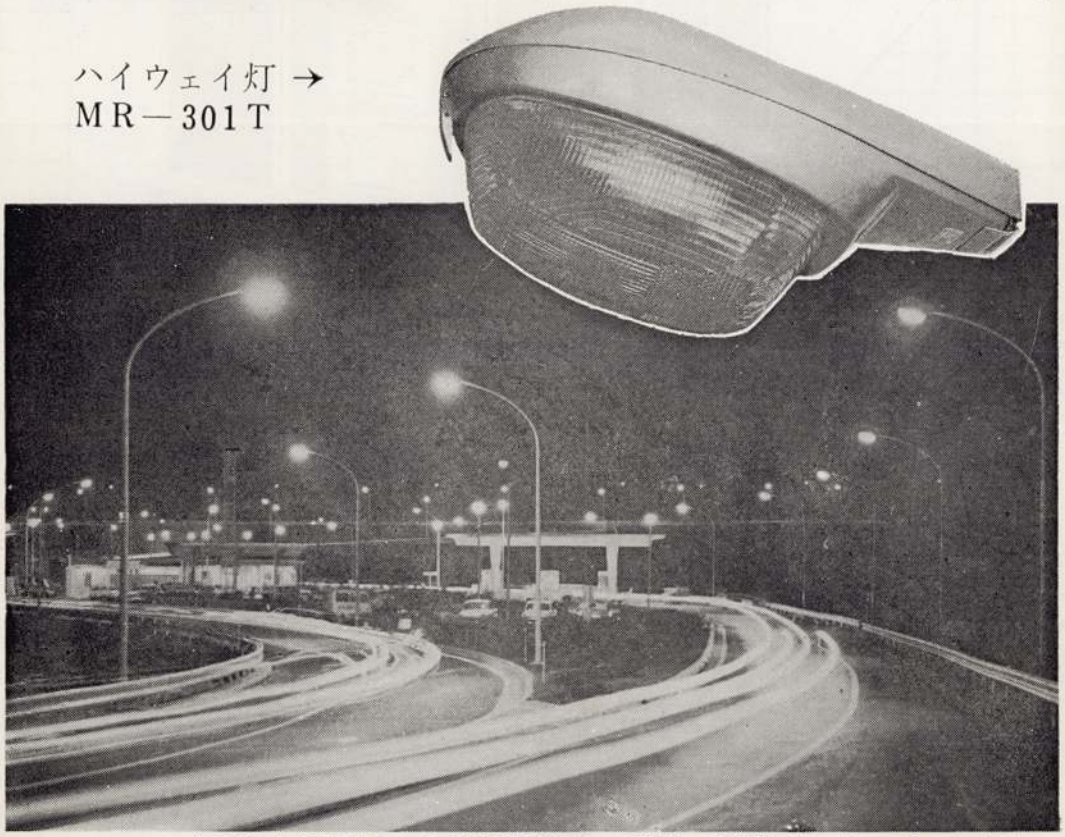
ハイウェイからあなたのお庭まで…

GS 水銀灯

光とともに大きく伸びる！

ハイウェイの決定版!!
最高技術を誇る
“カットオフ”

ハイウェイ灯 →
MR—301T



（GS水銀灯輝く名神高速道路…栗東・彦根インターチェンジ）

STORAGE GS BATTERIES

日本電池株式會社

本　社　京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町3－2
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌
営業所　仙台・高松・金沢・広島　駐在所　岡山・静岡

GOAL® 鍵をつくって50年



只今
耐久力のテスト中
20万回突破で
精密
堅牢
安全性
実証

近代建築にマッチした錠（ゴールロック）
その格調あるロックは
50年の経験と技術を積み重ね
今日の〈ニード〉に適応する
精密・堅牢・安全性を誇っています
貴方の建築の〈鍵（キーポイント）〉に
ゴールとご指名下さい。

日本住宅公団・建設省・各府県市庁建築設計事務所御指定

GOAL® IS THE FINEST NAME IN LOCKS AND HARDWARE



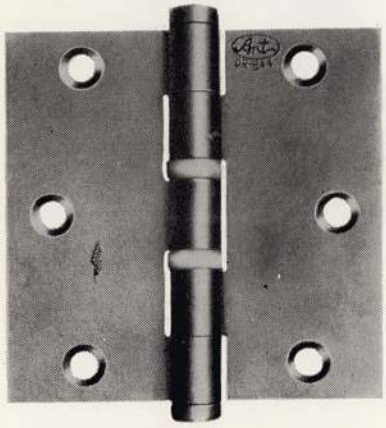
ユニロック UH シリーズ
ホテル・ビル・高級住宅向・重量扉・重厚扉用

株式会社 ゴール

本社工場 大阪市東淀川区三津屋北通り4の30 TEL（302）1771~5
東京支店 東京都港区芝汐留町13の5（鈴木ビル）TEL（431）3742
営業所 札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

アート ドアーヒンジ

●ドアーを大切にするヒンジ

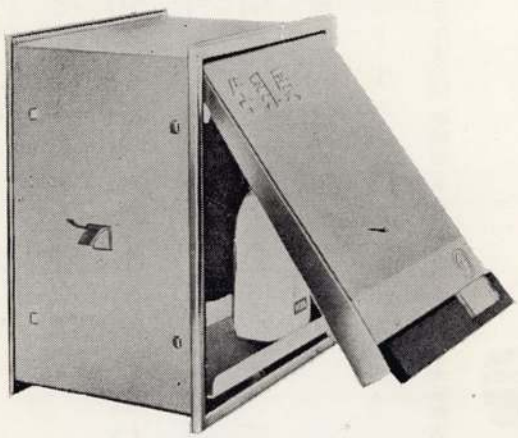


●耐蝕性・耐熱性にすぐれ、錆びたり変色したりすることはありません
●高精度を誇り●音を立てない●磨耗がない●注油がいらない●衝撃に強い……など数多くの特長をもっています

●鉄筋住宅・アパート・マンションにマッチする機械性
——牛乳の安全と盗難防止の

ミルク チェスト

近代建築にふさわしいスタイル／ステンレスにヘヤーライン・ラッカー焼付加工し内部は完全防錆下地メラミン焼付塗装



■牛乳の安全性…盗難を防止します
■牛乳が配達される場合…表蓋が自動的に施錠されます
■牛乳を取出す場所…裏蓋はかんたんに開きます（表蓋は施錠されたままです）
■空瓶を入れる場合…空瓶を受台に置くと、表蓋が自由に開けられるようになります
■受台には 180cc瓶 3本が置けます
■取付けはかんたんです
■ミルクチェストの壁厚は 100㎜、150㎜、180㎜ の3種があり、ご要求に応じて製作しております

●JIS規格表示許可工場　日本住宅公団指定メーカー

永和工業株式会社

本　社　大阪市生野区巽矢柄町128　TEL代表(741)1627
工　場　大阪府枚岡市布市町50　TEL枚岡 4810
東　京　東京都千代田区外神田3－15－4　TEL東京(255)4831
営業所　（日商会館ビル 113号）

セメント混和剤
コーキング材には
オートリ製品を!!



＊ 建材部門

トリベースM-1	モルタル防水剤
トリベースM-3	接着性モルタル防水剤
トリベースH-1	セメント表面硬化剤
トリベースS-5	セメント凝結遅緩剤
トリタイト#7	油性コーキング材
トリタイト#10	硬化型高級コーキング材
トリタイト#100	液状皮膜型防水剤
トリタイト#300	接着・防水剤
トリタイト#500 / トリタイト#510	タイル接着剤
トリタイト#1000	2液性高級シーリング材

＊ 工事部門

トリタイトコーキング充填工事
トリタイト高級シーリング材充填工事
トリタイト防水工事
床張り工事一式
アスファルト応用防水工事
モルタル防水工事

（資料送呈）

製造・販売・施工

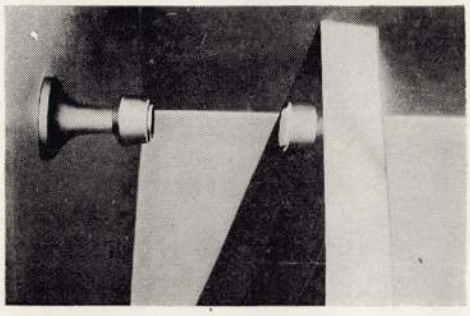
鳳工業株式會社

本社	東京都品川区五反田3－120（東海ビル）	TEL（443）1721代表
大阪支店	大阪市福島区今津町2の12（大晶ビル4階）	TEL（461）4774代表
名古屋営業所	名古屋市中区東陽町5の11	TEL（24）3363
福岡営業所	福岡市志免町大字別府字田619（日章工業KK内）	TEL（65）3540
札幌営業所	札幌市北二条東一丁目	TEL（25）9313
工場研究所	大阪・名古屋	

住友の永久磁石を使った〈新しいドアー・ホルダー〉

サンエイ マグダー

従来のゴム製戸当りなどの〈くいこみ〉〈かみ合わせ〉構造と違い近代的特色をもち、大量生産により廉価です。



＊半永久的な保持力

永久磁石（5kgに耐える能力）を使用していますから、保持力は半永久的です。

＊美しい合成樹脂外装

合成樹脂の外装は錆びることなく変色することのない近代色が、ドアーのポイントになります。

＊軽快なワンタッチ

従来のゴム戸当りと違って、ワンタッチで軽く接触するだけで、ホールドします。

＊強い磁気力

磁気力が強力なため、風力などにあふられて離れるようなことは、全然ありません。

＊床用デザインのものもあります。

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（741）4655（716）0188～9

■ 三榮建材工業株式会社

コーキングパテ

ウヅラED



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1494～４
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)０４２６

パテタイル

きんきの サッシ



＊営業品目
■スチールサッシ・ドア・アルミサッシ・ドア
　ステンレスサッシ・ドア・カーテンウオール
■冷暖房・給排水・衛生設備工事
■電気設備工事
■建設用機械

製造元 近畿車輌株式会社
工場/大阪・東京

発売元
近畿工業株式会社

本　　社　大阪市北区梅ケ枝町１０８(新梅ケ枝町ビル)
　　電話大阪(341)１８５６・５８３１(代表)
東京支店　東京都千代田区神田岩本町２(共同ビル)
　　電話東京(254)２０５１(代表)
名古屋支店　名古屋市中村区平池町４丁目４８の２
　　電話名古屋(55)２５２２・８６５５番

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許----耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした

各種のカラー製品が有ります

美しいアルミ箔ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型錄送呈

責任施工

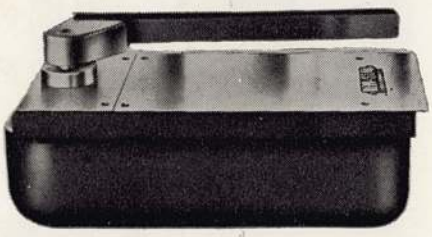
オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪(481)4947～9
大阪支店 尼崎市北新町4-41(古川ビル) 電話大阪(401) 9745～6
東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨(32) 3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

ドア　を閉めるのは
ボクの役目です

NEW★STAR

●建築様式の著しい発達に伴いフロア ヒンヂも、これに適応したものを要求されます。
創立40余年を誇る最古の経験と、最新の特殊専用機設備から次々と生れるニュースター・フロア ヒンヂは、取扱いが簡単で、耐久力があり、建築設計業者の皆様から信頼ある理想的な製品として広範囲にご使用いただいています。





ニュースター製品

●フロア ヒンジ	●ピボット ヒンジ
●ドア チェック横型	●ラバトリ ヒンジ
● 〃 壺型	●押板 メラミン樹脂
● 〃 隠蔽式	●押板 クリスタル硝子

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(716)2231～6
東京支店 東京都千代田区神田小川町2－12 信愛ビル 電話(293)4831(代表)～5
福岡出張所 福岡市天神4丁目4－24 電話(74)2372 ・ 3312
名古屋出張所 名古屋市東区高岳町1丁目11 電話(96)5771(代表)～3
札幌出張所 札幌市月寒中央通314－1 電話(86)8052 ・ 8433

あなたのセンスがそのまゝ生きる！

伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン



●ダイナミックタッチ
ジュピター　L1305
陶器・金具セット
1級 16,590　並級 15,090



●やわらかい甘いムード
ヴイナス　L1223
陶器・金具セット
1級 16,170　並級 14,730

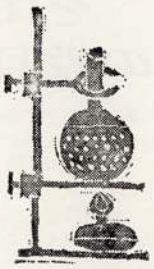


●端正な感触・・・・
アポロ　L1306
陶器・金具セット
1級 15,210　並級 13,710

Toyotoki 東洋陶器株式会社
本社／小倉　工場／小倉、茅ヶ崎、滋賀
大阪営業所／大阪市東区高麗橋 Tel (231) 4518～9 1424

現場の声をあつめました!!

つぎ目がないから——耐水、耐薬品性は完ぺき、つぎ目なしでいっぱいにひろがった美しさは格別





ソフトタッチ——足音があたまにひびかず　立ちっぱなしのところでも足がつかれない——



手入れが簡単——ワックスがけの心配なし。いつも水拭きでつやつや——

置きじきができる——特にご家庭で気軽に使えると好評。ぬれてもいいので、屋外でもOK——



摩耗しない——何年たっても地下鉄車両の床はいまだ健在。キズの心配いっさい無用——



病院・オフィス・工場・商店・車輌でもっとも多く使われている塩ビ系床材

●巾=183cm●長さ=27.45m●厚さ=2.5mm●色=15色

K ロンリウム

川口ゴム工業株式会社
東京営業所■東京都千代田区神田松永町13　川口ビル（253）代表4941
大阪営業所■大阪市南区北炭屋町33（271）4358→4359

◀通常総会開催通知

本年度通常総会を下記により開催いたします。ご多忙のところまことに恐縮ながら何卒お繰合せご出席下さいますようお願い申し上げます。

昭和40年6月15日

社団法人　日本建築協会
会長　東畑謙三

記

1. 日　時　昭和40年6月29日（火）3時半
1. 場　所　近畿建築会館4階集会室（東区北浜3—37）
1. 会議の目的事項
   （1）昭和39年度事業報告承認の件
   （2）昭和39年度決算報告承認の件
   （3）昭和40年度収支予算承認の件（4月号会告）

◀日曜大工からニュータウンまで
「よろず相談住宅展」開催

住まいの「よろず相談」を中心にしたユニークな住宅展覧会を下記のとおり開催いたします。つきましては会員諸氏はもとより広く一般に周知下さいますようお願い申し上げます。

記

とき　昭和40年7月8日～13日まで（6日間）
ところ　阪神百貨店8階ホール
後援　大阪府・大阪市・日本住宅公団・住宅金融公庫
相談内容　官公庁，民間の賃貸及分譲住宅，宅地分譲，自力建設・プレハブ住宅，法律問題、税金，住宅設計，住まい方，増改築
展示内容　住まいに関係のある資材および製品

◀会員の受賞

日本建築協会々員福田萬亀雄氏（大阪工業技術専門学校長）は永年教育関係に尽された功績により，5月18日藍綬褒章を受けられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

◀会館基金への寄付金受領

さきに近畿建築会館建設資金借入金の一部抽せん償還を行ないましたが，そのうち下記のとおり会館基金としてご寄付をいただきました。

本会の基礎をますます強固にするものとまことに感謝のいたりで，ここに誌して厚くお礼申しあげます。

記

￥50,000　　kk 西原衛生工業所大阪店殿

◀大阪明治生命館見学会

日　時　6月23日（水）集合・午後3→解散・5時
集合所　標記建物正面玄関（御堂筋側）・目標会旗
（但し地下鉄淀屋橋南出入口より南へ100m，御堂筋西側・朝日生命館南隣り）
申　込　6月21日までに電話で願います。但し定員100名で先着順締切ります。
建物概要
設計・施工　株式会社　竹中工務店
所在地　大阪市東区伏見町5丁目1番地
構造規模　SRC造　地下4階　地上9階　塔屋4階
建築面積　2,084m²
延建築面積　29,225m²
工　期　着工 38年4月2日　竣工 40年6月30日
地下工法　竹中式深礎工法
外　装　外装カーテンウォール工法

◀若い会員の集い（昭和40年度）

〝人〟と建築シリーズを続けるに当って　昨39年より始まった〝人〟と建築シリーズは，建築創造に多年たずさわって来られた各分野の方々が日々の建築活動を通じて確立されて来た信念，自ら開拓した，進まねばならぬ方向への姿勢を経験された具体的な仕事の歴史を通じて，――この点が建物の見学会と異る点であるが――じかに伝えていただくという形で進んで来たと思います。そして参加された人には多忙な日々にまぎれたり，企業間の壁のために話し合うことのまずできないこれらの人々との話し合いや，若い会員同志の息吹に触れることの意義を認めていただけたと信じます。

また多くのゲストの方々が予定されておりますので今年もこの方針で進みたいと思っております。

皆様の参加をお待ちいたします。

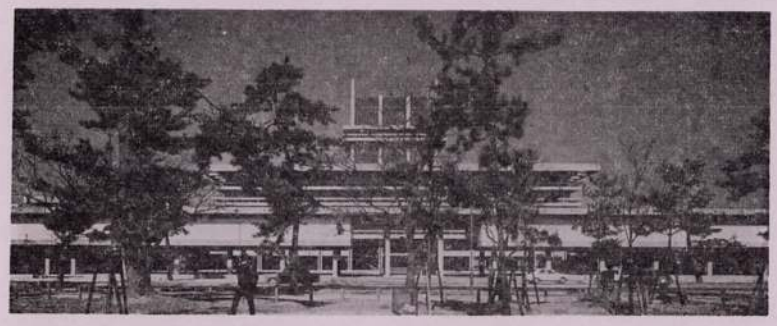
40年度若い会員の集い小委員会　　主査　千　葉　春　海

第8回　若い会員の集い〝人〟と建築シリーズ

『近作を語る・その2』

日　時　6月24日（木）開会・午後6時～閉会・8時
会　場　本会4階集会室
ゲスト　片山光生氏（近畿地建営繕部建築課長）
申　込　電話にて6月22日までにお申込下さい。

――奈良県庁舎と大阪労災病院の作品を通じて，私の考えたことを官庁営繕の持つ問題も含めて皆様と話し合いたい。（片山光生）――



第9回　若い会員の集い〝人〟と建築シリーズ

『都市の庭空間を創るために』

日　時　7月7日（水）開会・午後6時～閉会・8時
会　場　本会4階集会室
ゲスト　久保　貞氏（大阪府立大学教授・緑地計画）
申　込　電話にて6月30日までにお申込下さい。

スペース・オーガナイゼーションと諸分野の人々の共同作業能力の開発

都市景観および機能の一部としての緑地が，今までどのような事態の中にほうりこまれて，どのような状態になってきたかは，都市に興味をもつすべての人々が決して満足できない一つの大きな都市文化の命題になっている。

都市建設にあたって諸分野の人々の共同作業の確立を阻害するものは，諸分野の人々の力の不均衡を認めさせようとするイニシァティブのとりあいにあろう。建築家が強すぎても道路家が強すぎても，建設の結果人々に提供され人々によって使われるスペース・オーガナイゼーションはブライテッド化の傾向をたどることになるであろう。

若い世代にのぞまれるのはこの過去の洞察と共同作業能力の開発だとはいえないだろうか。このような点に関して緑地計画の学徒としての立場から考えるところを述べてみたい。（久保貞）

社団法人

日本サッシ協会

関西支部長　和田村太郎

関西支部賛助会員

スチールシャッター

小俣シャッター工業㈱大阪支店
三和シャッター工業㈱大阪支店
鈴木シャッター株式会社
㈱東洋シャッター製作所
日本文化シャッター㈱
八興建材株式会社
田工業株式会社

錠前

エポー株式会社
昭和金属工業株式会社
㈱ゴール

サッシ・ドアー附属その他建築金物

石倉金属株式会社
永和工業株式会社
大鳥機工株式会社ダイケン
近松金物株式会社
株式会社熊本商店
渋谷金属産業株式会社
敷島金物株式会社
日本ドアーチェック製造㈱
平安伸銅工業株式会社
増田産業株式会社
株式会社満点製作所

サッシバー

加納鉄鋼株式会社大阪支店
トピー実業㈱大阪支店
東鋼商事株式会社大阪営業所

サッシ・ドアー製造用諸機械

㈱関西鉄工所

バーカー

日本パーカライジング株式会社大阪営業所

サッシ販売

大阪三機窓枠販売株式会社
近畿工業株式会社
（五十音順）

三星の床材

ソフトンタイル

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441) 5408・5486(443) 2700

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341) 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19 電話(541) 6161～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前) 電話(211) 0571～4
販売部分室 電話(211) 6923・0575

京都営業所 京都市中京区河原町夷川下ル (23) 3277・3279

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632) 0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話㊎ 2697・2140・9151

株式会社 タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話 (81) 0871～2

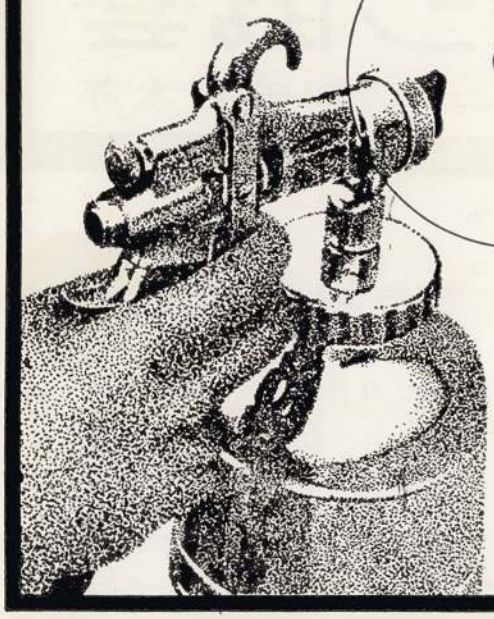
岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8
電話 (57) 7461～3・8589

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話 (26) 3671～2・3848

日東物産株式会社
本社・名古屋市中区東瓦町39 電話(24)6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

育盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話代表(21)2281
岡山・岡山市東田町3 電話代表(23)8285
福岡・福岡市万行寺前町14 電話代表(2)5668
松江・松江市西津田町258 電話② 6796

関西三星タイル会員



Soft

New Type

室内や廊下をソフトな感覚で
包む新タイプのゾラコートソ
フトを新設計にご採用下さい
ソフトタッチの落着いた環境
をつくりだします

ゾラコート
ソフト

関西ペイント株式会社
大阪市東区伏見町5・東京都中央区宝町3
● 色見本付型録ご希望の方は当社宣伝課乙係まで



近代建築のポイント
美と強と変化を誇る
日本スピンドルの
アルミサッシ
NA—70
NA—85

日本スピンドル製造株式会社建材事業部

大阪営業所	大阪市東区備後町（綿業会館内）	（202）	7991
東京営業所	東京都千代田区丸ノ内2丁目2番地 丸ビル403号	（201）	3605
京都営業所	京都市中京区西洞院四条上ル蟷螂山町	（23）	5051
茨木工場	茨木市大田新田60番地の1	（07262）	4741
本社工場	尾崎市潮江西ソウケ2番地の1	（401）	5551
姫路出張所	姫路市光原寺前16番地(広瀬ビル)	（23）	0690

建築と社会

1965年・第46集・6月号・目次

ARCHITECTURE & SOCIETY ©

社会開発 6

作品作風　大阪東電話局……設計監理　近畿電気通信局第2建築部……23
施　工　大成建設株式会社大阪支店

建築の眼　担当：香川順司・西村一朗・三上富三・村上　司……32

スケッチブック　最近竣工の新建築9点……36

本文

[1]総論
〝社会開発〟について……前田　勇……38
社会開発批判……広原　盛明……42
開発の態度——保存と開発に関連して……扇田　信……48

[2]各論
社会開発と環境計画……田村　明……52
地方計画と社会開発……加藤　修吉……54
コンビナート開発……谷沢　文男……56
社会開発と住宅問題……西山　卯三……58
社会開発と厚生施設……三輪　泰司……61
都市近郊住宅地と通勤交通……天野　光三……64
開発と文化財……浅野　清……66

[3]メモ
社会開発メモ……鎌田　恭男……68
都市環境の水準と計画：Town Planning Institute の50周年記念会議について……加藤　邦男……73

新らしい技能工シリーズ・第3回
吹付工（出張久夫氏）……簔内　幸雄……76

技術の頁　34・原論部門：熱環境とオリエンテーション……金谷　英一……77

北京科学シンポジウム参加のため訪中して7
ある衛星都市と居住区……松井　昭光……81

読者の頁……82

追悼記　故佐藤正次郎君を偲ぶ……松本　儀八……82

月報　日本建築協会月間のうごき（4月分）……84

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷　淳
売　価　1部200円・送料共
昭和40年6月20日印刷　昭和40年6月25日発行
編集人　松井　昭光
発行所　社団法人 日本建築協会　大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊇9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番
発行人　福中　定三郎
印刷所　株式会社 研文社　大阪市北区堂山町66　電話㊇2091～3番
印刷者　綱野　栄

建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業(株)
美素建物管理(株)

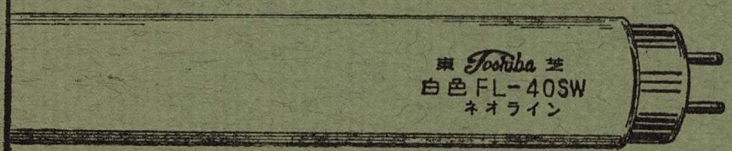
本社　大阪市東区瓦町三和ビル
電話(231)5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話(261)4070・4079・617

東芝技術の成果！　新製品誕生

明るさ3,200ルーメンを超えたスマートな32mm管

従来の安定器および灯具がそのまま使用できる

東芝蛍光ランプ・ネオライン

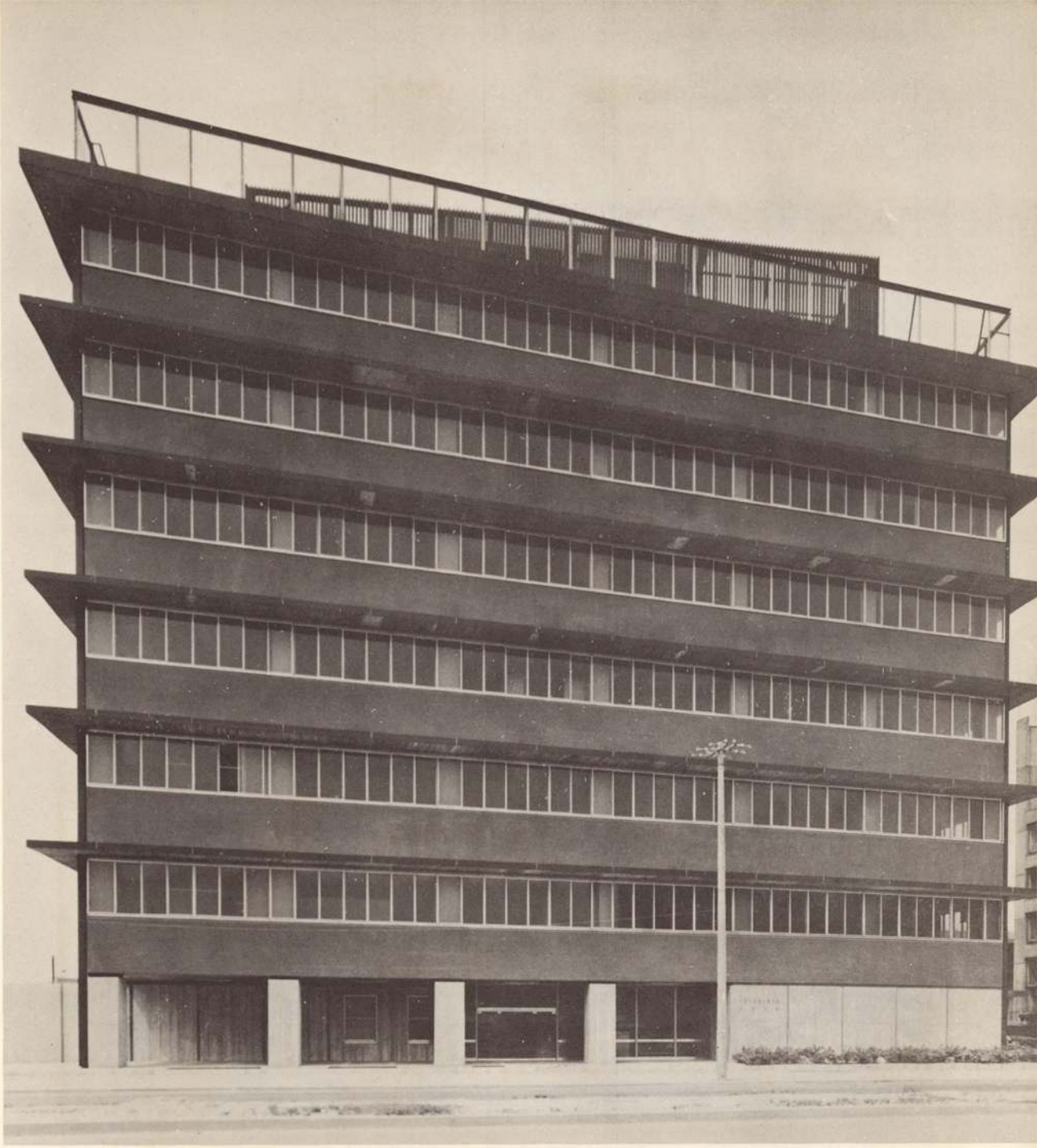


定価も従来品と変りません

現金定価

FL-40SW　480円

FL-40SD　480円



南側正面　外装：磁器小口タイル貼、玄関廻り打放し仕上。庇：鼻鋼板打込、下端打放し仕上。サッシ：玄関廻りステンレスサッシ、二階以上スチールサッシ、グレーペン。

大阪東電話局

所在地	大阪市東区法円坂町
敷地面積	3，900 m²
建築面積	1，814 m²
延面積	16，157 m²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階 地上7階
工期	昭和38年3月～40年3月

設計監理	近畿電気通信局第2建築部
施工	大成建設株式会社大阪支店

大阪城より望む遠景

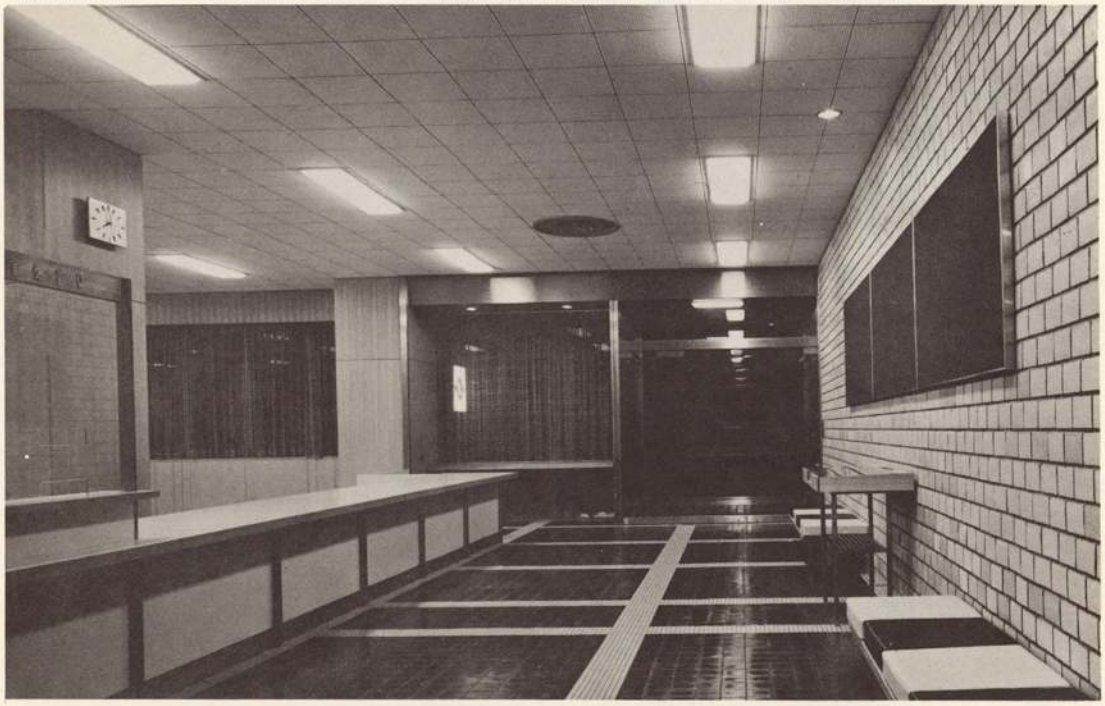
北側電話局窓口入口　　2階3階機械室外壁スチールサッシ、フレキシブル板製パネル嵌込。窓引分け防火戸付





玄関ホール　　床：磁器タイル貼モザイクタイル格子貼。壁：打放し仕上。天井：アルミモールディング。

電話局窓口公衆室　　床：磁器タイル貼モザイクタイル格子貼。壁：塩地ベニヤ練付け、泰山タイル。天井：吸音テックス。

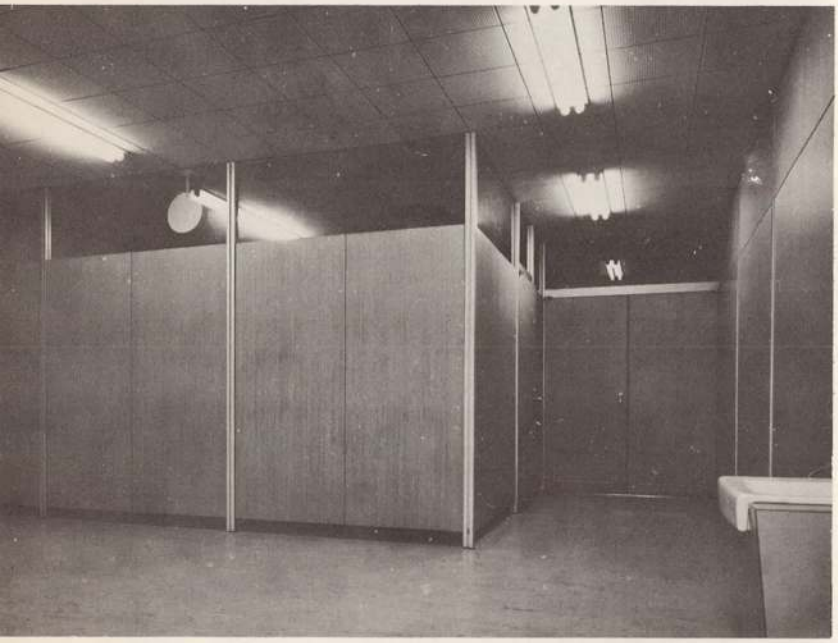




大阪東電話局

設計監理　近畿電気通信局第２建築部
施　工　大成建設株式会社大阪支店

一般事務室
床：マチコタイル
壁：水溶性合樹塗
天井：吸音テックス



可動間仕切ディテール
柱：アルミ製、床ホールインアンカー
　　ボールト止め天井ビス止め
パネル：ペーパーハニカムコア合板ラ
　　ワンアートスライスベニヤ貼
ランマ：ガラス嵌殺し

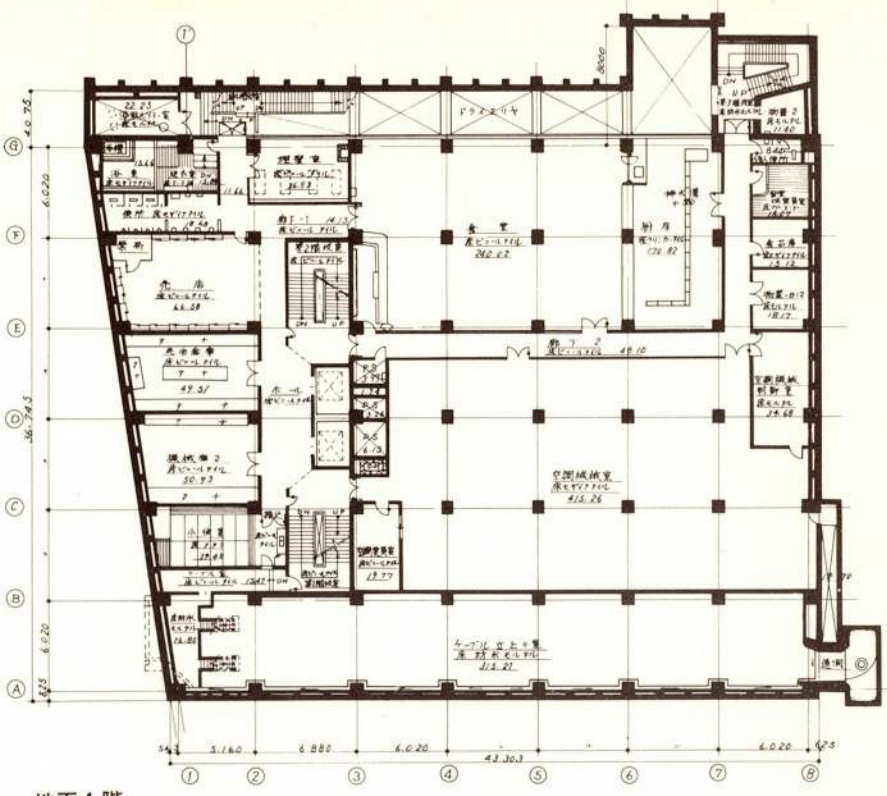


ＰＢＸ技術員室更衣休憩室

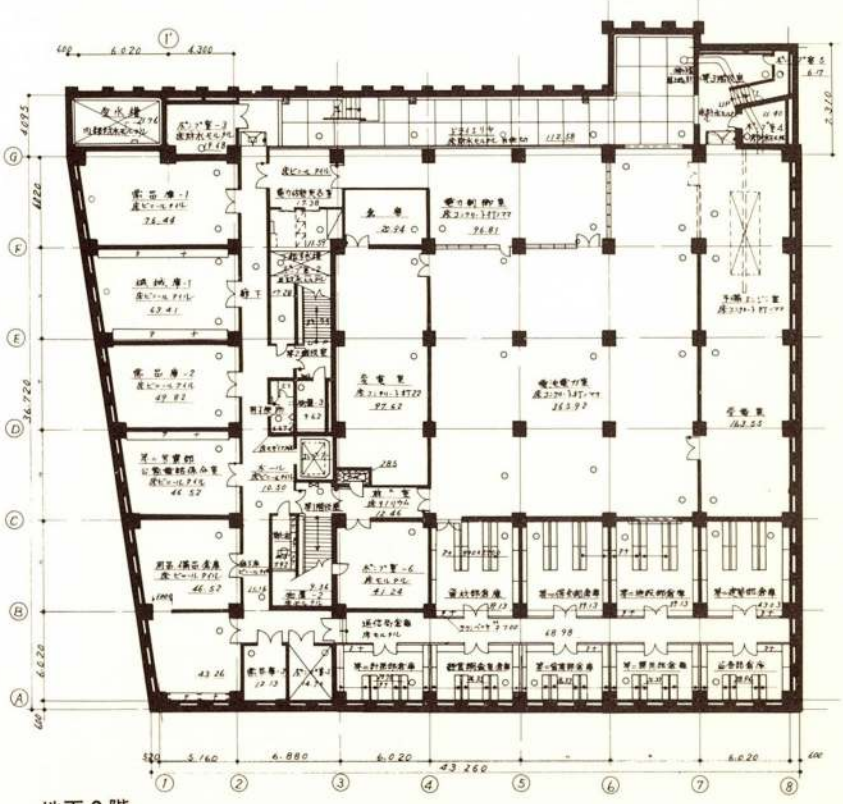
大阪東電話局

設計監理　近畿電気通信局第２建築部

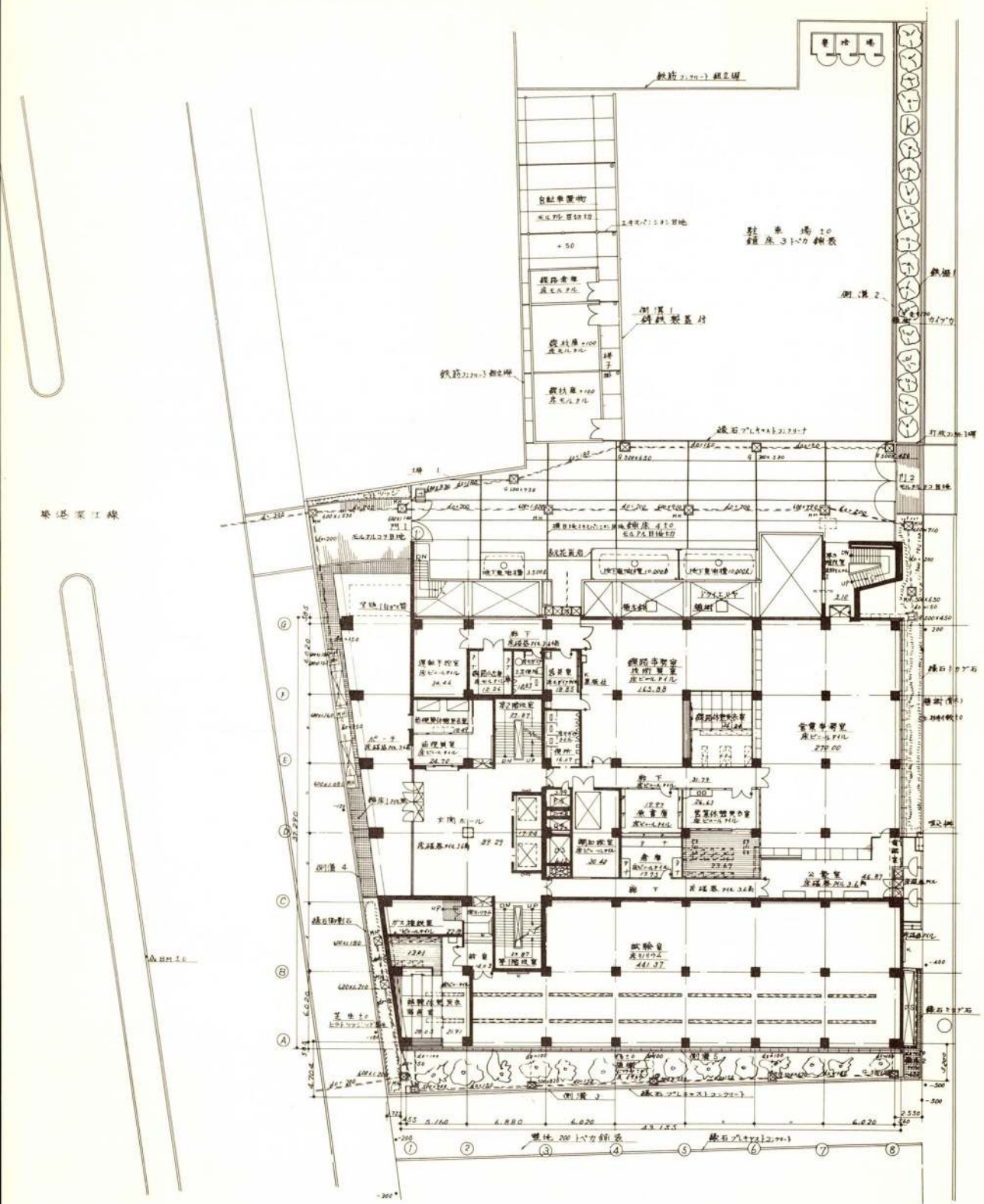
施　　工　大成建設株式会社大阪支店



地下１階



地下２階


駐車場
自転車置物
会議室
実験室
玄関ホール
公衆室
試験室
1階

大阪東電話局

設計監理　近畿電気通信局第２建築部

施　工　大成建設株式会社大阪支店

■ 設計者のことば

事務所建築にみえるこの建物は、電話局であって、事務庁舎にも利用する、特殊な建方の電話局舎である。

電話局は、加入者の増加に伴い、次第に膨張するものであり、常に機械増設が考慮されている。一般的には局舎増築を伴うことになるのであるが、この場合は、内部侵蝕ともゆうべき方式がとられた。まずこの場所での最大限の局舎を建築し、電話需用に応じた機械設備をおこなう。そして余ったスペースを管理部門の事務庁舎として利用する。電話需要が伸びてくれば、事務庁舎部分を電話局が次々と喰ってゆく方式である。

当初、電話局としては、６万の電話に対応する機械設備をおこなう。これは今后15年間の需要の伸びに耐えうる設備である。さしあたって３階迄がこれらにあてられる。４階以上が予備スペースで、事務庁舎部分になる。

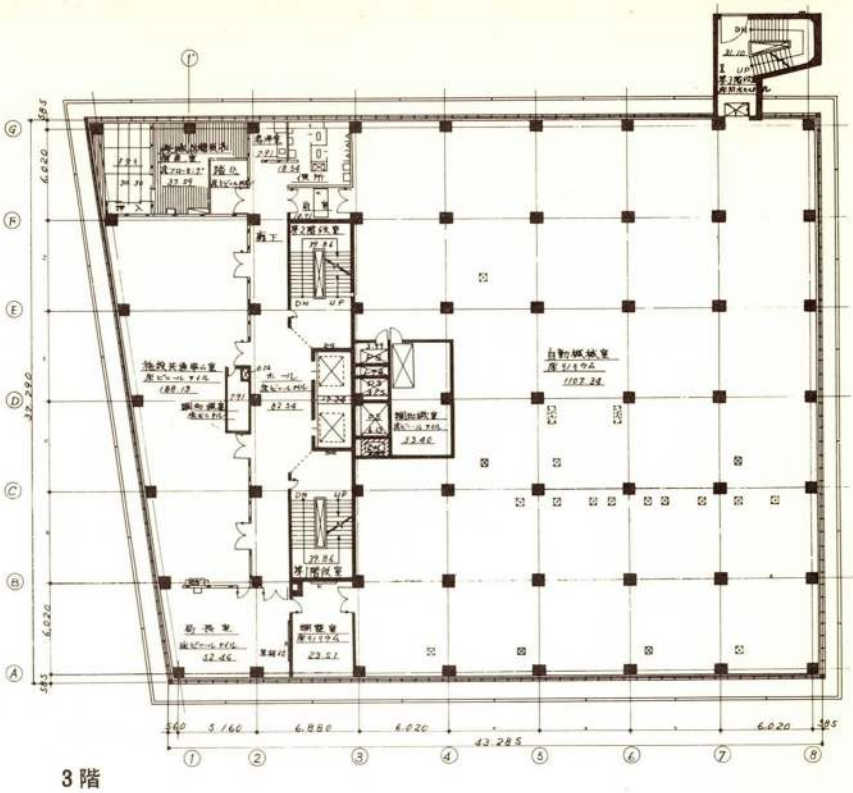
事務庁舎としても、予備スペースを利用するため、もともと無限定な事務庁舎であって、常に室の相互変換が予想される。

このような設計条件から、当然、室の互換性が、この設計のテーマとなった。

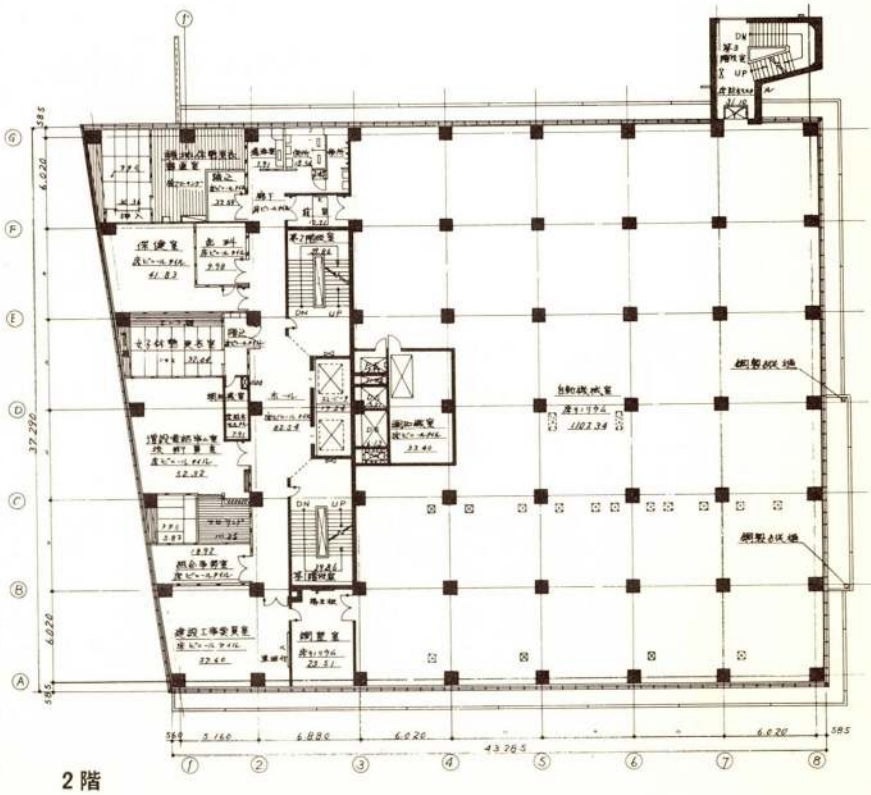
外壁については、コンクリート壁にかこまれた、一般的な形ではなく、セミカーテンウォールともゆうべき、連双窓方式の採用となり、事務建築的な外観となった。

内部的には、全面的に可動間仕切を採用し、有効な移動性能を期待する意味から、プランにモデュール格子の適用を試みた。

構造体の柱間隔、連双窓の方立位置、天井のテックス割、および出入口巾に致るまで、全部モデュール格子によって規定されている。

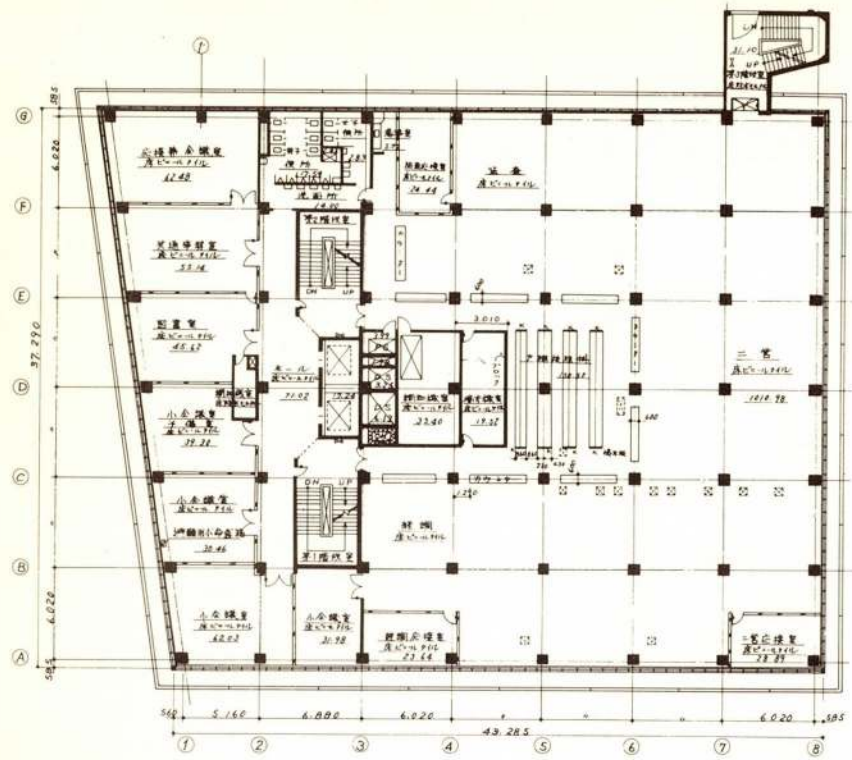


3階

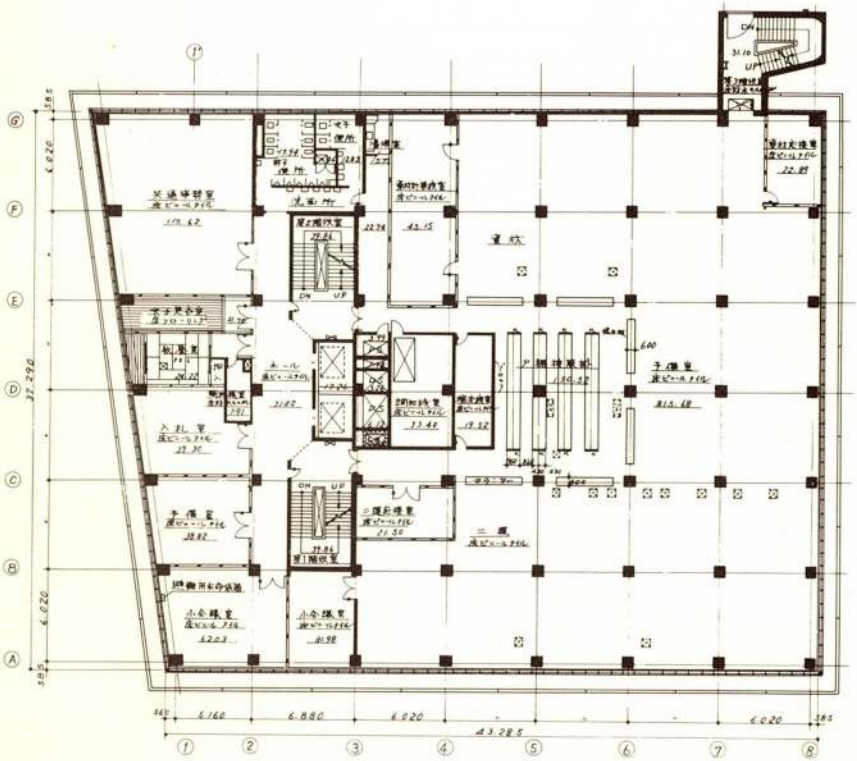


2階

大阪東電話局



5階



4階

■ 施工者のことば

当建物の敷地は、大阪城の天主閣を北に望み、南は築港一深江線に面した法円坂の一角に位置しております。

この付近一帯は、古への難波之宮の遺跡として最近よく知られるようになり、隣接地では現在も発掘調査が行なわれている状態で、大阪の歴史を語る上に、貴重な資料が次々と発見されている由緒ある土地柄です。

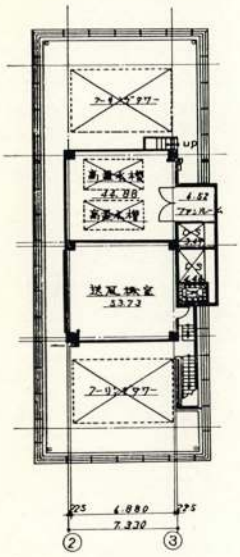
当社としては、昨春完成した国家公務員共済組合連合会「大阪共済会館」に引続きこのたび、「東電話局」をこの歴史的な土地に施工する機会に恵まれた事は真に喜ばしい次第であります。工事に着手するに当っては、これ等史跡との関係や、地質学的にみても施工記録に乏しい洪積層で構成されている地盤の状況を考慮しました。

山留および土工事の施工に際しては、特に慎重を期し設計監理者のご指導と学界関係者のご意見を仰ぎ、当社技術陣も一体となって検討計画し38年5月上旬より地下工事を開始致しました。

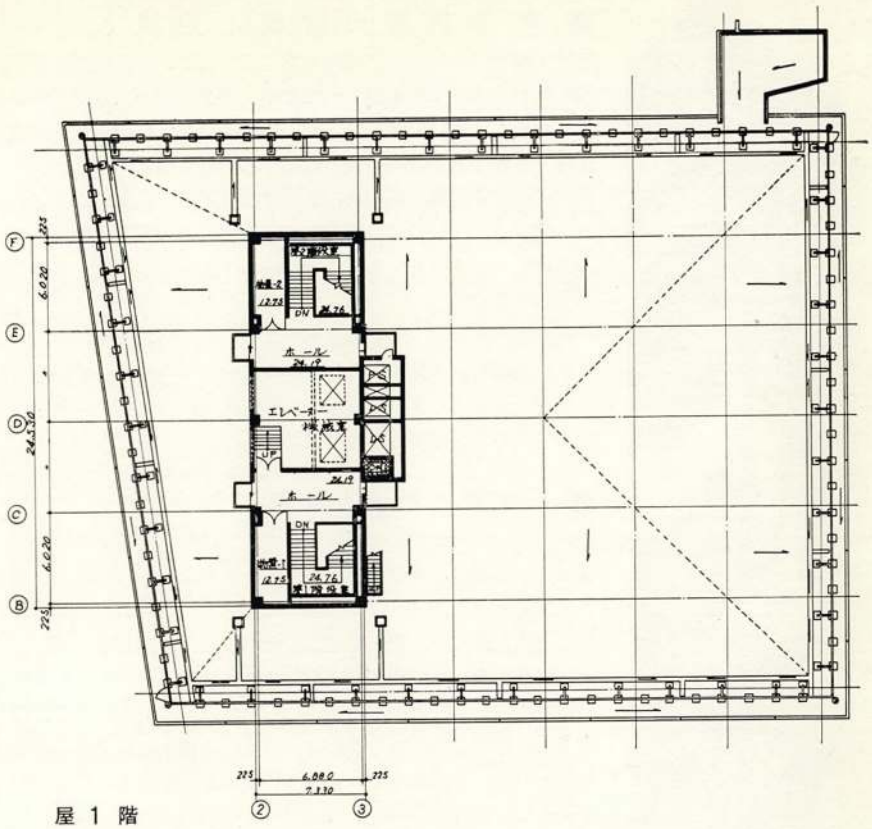
当初期待された史跡は、残念ながら発見されませんでしたが、工事は順調に進み、39年9月末主体工事を完了、本年3月末局舎工事を予定通り完成し、引続き外構工事を施工中で、今日に至っております。やがて全設備が完成の暁には開局の運びとなり電話網がくまなく行き亘り、大阪市の発展に大きく寄与することと信じます。

この意義深い工事を無事施工させて戴いたことは施主始め、関係官公庁各位のご指導と近隣皆様方の深いご理解の賜物と衷心より感謝致しておる次第であります。

（大成建設株式会社大阪支店）



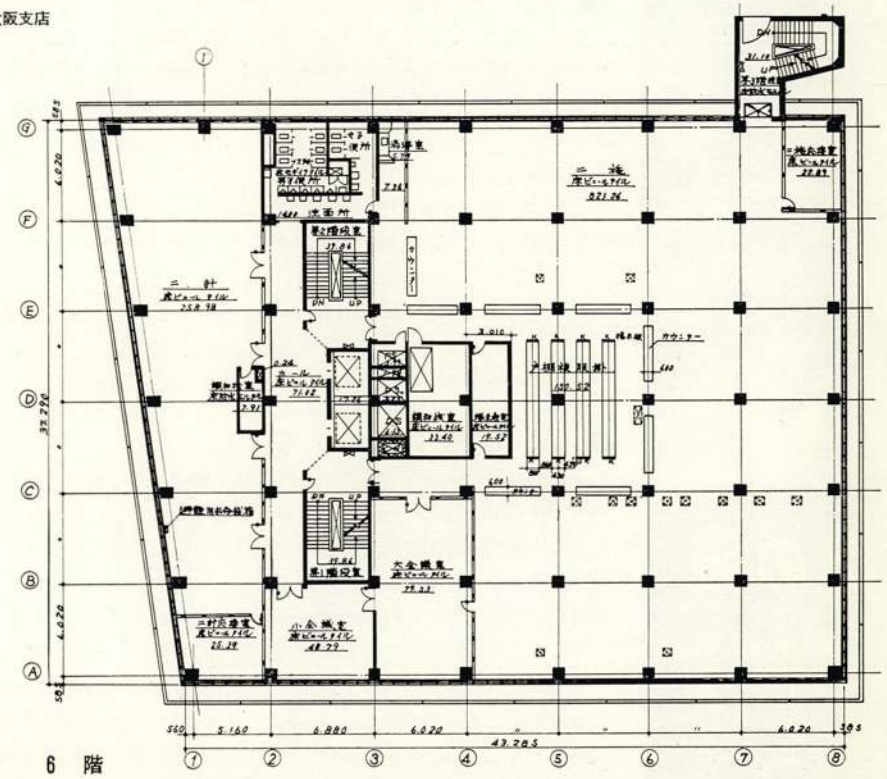
塔屋2階



屋1階

設計監理　近畿電気通信局第2建築部

施　工　大成建設株式会社大阪支店



6階



建築の眼

担当：香川順司
西村一朗
三上富三
村上　司

■ 都市景観の破壊と建設

近時大都市において一時的な便宜さのために，河川を埋立て既設の公園緑地等の風致を破壊していると嘆く声を聞く。たしかに現在の都市より自然美的なものが消失し，情緒と風情がなくなるのは問題であるが，現実には都市型態の変貌により，これらの古い施設の内には実質的な利用価値が低下しているものもある。

都市における美観や風致は，あらゆる施設の総合的なバランスの中に自ずと構成されるものを理想とするならば，当然これらの河川，公園等の施設も都市機能の変化にともない，型を変えていくべきであり，いたずらに消極的な感傷からその破壊を嘆くのはいかがなものだろうか。

今後巨大な高層ビルが立地されるようになれば，旧来の木造2階建街なみに見合った都市美観や風致は，当然改められ，巨大なマスやハイウェイに適合した都市美観が新しく構成されなければなるまい。従来の公園，広場，河川がこの新しい都市形態の中に積極的に蘇生していくことを望むものである。　(KA)

■ 「建築と社会」読者に訴える

今，世界の耳目はヴェトナムに集中している。アメリカは南ヴェトナム侵略のみならず，北爆をも継続し，戦争をエスカレートさせようとしている。ヴェトナム自身によるヴェトナム統治という当代における唯一の最も正しい問題解決策には目もくれずに，アメリカは非人道的なナパーム弾・毒ガスを使用し，「韓国」軍をはじめオーストラリア軍などを戦争に引きこみ，アジア人同志をたたかわせることから一歩「前進」し，全世界の人民をも戦争にまきこもうとしている。われわれ日本人もその思想，信条，専門領域をこえて，このことに無関心ではいられない。日夜，沖縄から本土から即ち全日本の米軍基地から殺人機がとびたっているのだ。広般な日本人民は今こそ「太平」のねむりをさまし，抗議行動を強めなくてはならない。マンフォードも大統領に抗議している。われわれもアメリカに，そしておおむねそのいいなりになっている政府に抗議しょう。　(NI)

■ 地下都市

今日の大都市は，文字通り土一升金一升で，隣地境界の数センチをめぐって争そわれるのもセチ辛いこの世では致し方のないことではある。しかしこのように大切な土地が，果して有効に利用されているかどうかは疑問だ。元来地上は市民のために利用すべきであるが，今や人間様は歩く自由さえ禁じられ，高い陸橋や地下道に追いやられ，大切な地面は自動車族に占領されてしまった。

しかしわれわれの祖先は，原始時代において穴居生活を営み，われわれも戦時中の防空壕生活を思い出せば，何らかの適応性あるいは地下生活本能をもつのではなかろうか。

とすれば，いつそのこと，地下都市を建設し，人間が地下にもぐってはどうだろう。今日の技術をもってすれば風雨にもわずらわされず，快適な環境で暮すことは容易なことだ。まづ手始めに，地上に不必要な車庫や駐車場，電話局や変電所，それに夜の建物，バーやクラブやキャバレーなんか一日も早く，地中深くへ埋めてしまうべきだと思う。　(MI)

■ 貸店舗について

最近，貸店舗に入居して営業する人と話す機会を得て聞いた話であるが，ビル会社との契約では主体工事以外の内部設備および建築工事は入居店主で行なうようになっているそうである。名目上は入居店主の好みおよび営業上の問題があるからということだそうであるが，実際，ビル建築と同時に内部工事まで行なう場合と，そうでない場合とは，施工上の問題もさることながら経済的にもかなりの不利な条件になってくるそうである。

ビル会社と入居店主との立場の相違もあることだし，両者の話し合いの場合にも，店主の意見が受け入れられるのにも限度があることだろうけれど，実際設計および施工を行なうのは建築家であるのだから，この両者の間にはいって建築家としての立場で，も少し調整およびP・Rをする必要があるのではないかと考えさせられた次第である。　(MU)

次号は新しい執筆者が担当します。



ニッセンタイル Hi-COLOR
ハイ・カラー

自信を以っておすゝめします——

日本の春、夏、秋、冬、季節の変化と千差の風土、そこに床仕上材の宿命があります。接着剤、施工技術との密接な関係……これら全ての問題点を一つ一つ重点的に解明研究し経済性のあるタイルとして少しでも近代建築にプラスされたものとして改良し、完成しました。

● カタログ進呈、専門家の方はサンプルを御請求下さい。

日泉化学工業株式会社

大阪営業所　大阪市西区立売堀南通り5の1住銀ビル3階
電話　代表（541）3　3　5　2
東京営業所　東京都千代田区神田小川町3の7丹羽ビル
電話（201）7　0　5　6
名古屋営業所　名古屋市熱田区3番町4の9
電話（66）8　0　2　5・8　0　5　3
本社・工場　新居浜市金子乙1650番地
電話　新居浜　4　1　7　1　代表

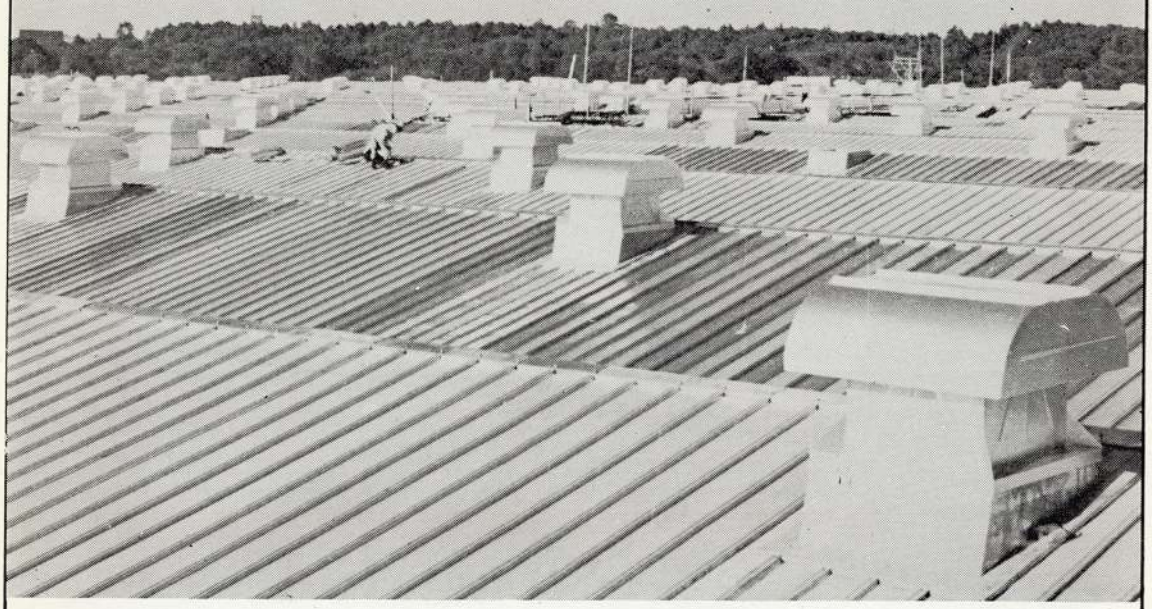
発売元　**住友商事株式会社**

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・その他主要都市

第2の生産設備を！

カマクラ
ルーフファン®

キュービックタイプ
強力電動換気装置



■空気には《粘り》がある——

空気は、意外に重く、粘りがあるもの。このため、排気だけを考えた換気対策では、室内の汚染空気は、なかなか動きません。とくに大エリアの事業所では、排気と同時に、新鮮な外気を内部に吹きおろすことが大切！カマクラは、排気と吸気の理想のコンビネーションで、事業所換気の悩みを一挙に解決しました。

■雨滴の侵入も
シャットアウト！

もうひとつの悩み、それが雨仕舞です。ルーフファンは、カマクラ独自の〈逆流防止フラップ〉をそなえ、暴風雨時の雨滴の吹きこみを完全に防ぎます。台風・豪雪……にも、実証済みの安全機構です。

■経験と実績で磨かれた
換気プランニング！

機械とともに大切なのが、換気の〈方式〉です。カマクラは、工場レイアウト、業種・人員など、あらゆる条件を深く分析。効率設計にもとずく換気プランをお届けしています。

これまで全国二千をこえる事業所換気をてがけた実績と経験をご信頼ください。

PATENT
216962　232776
216963　232777
232774　233079-1
232775　233078

カタログ御請求下さい。

近畿中部
総代理店　小田正株式会社
大阪市東区紀伊国町９４６
Tel（761）5265～８・4147・0168
名古屋市中川区外新町３の２８
Tel（36）６６９１～３

製造元　株式会社鎌倉製作所
東京都港区東麻布１の１２
Tel（582）６８６１～４

東電話局

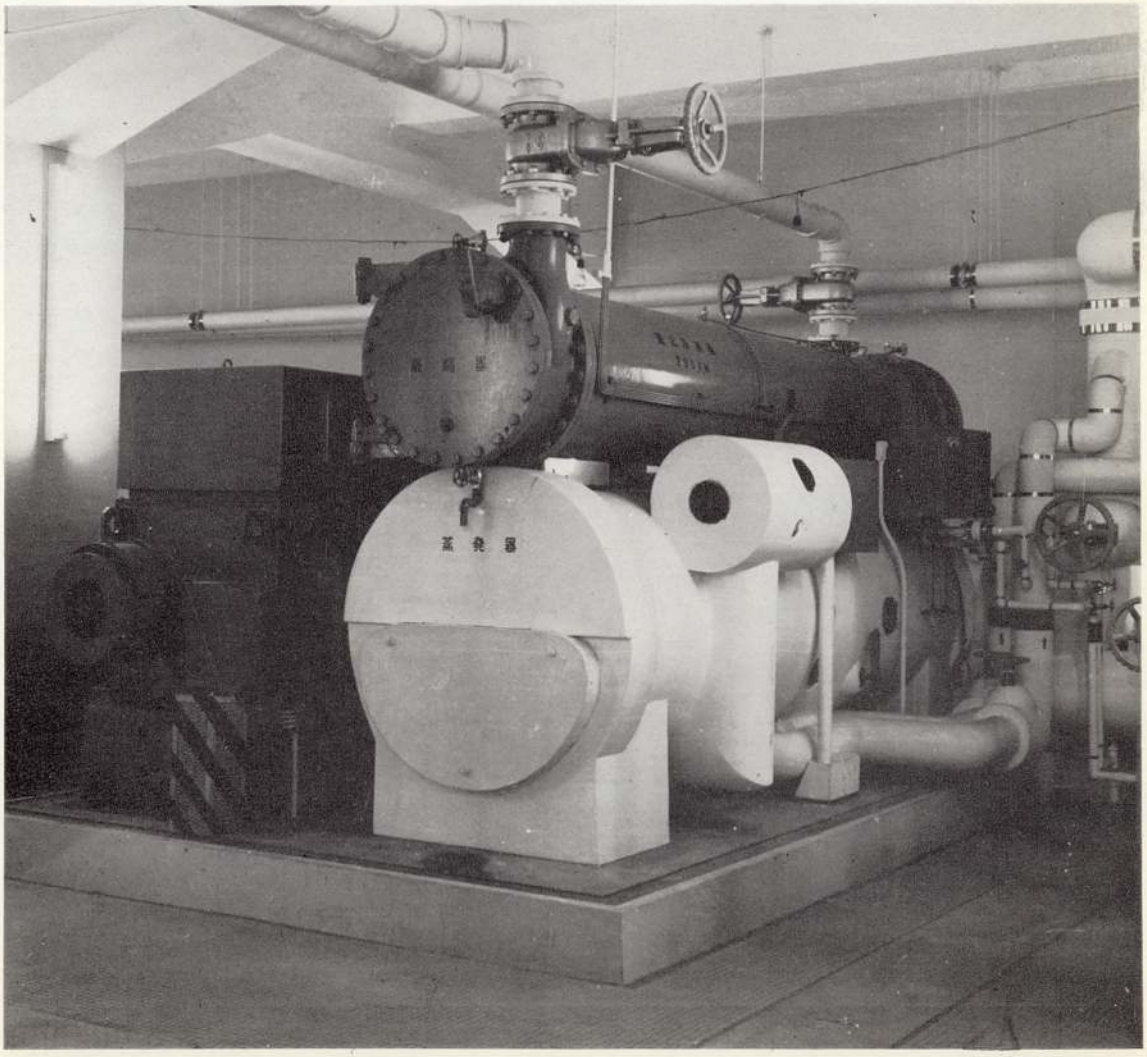


地下室　モルタル防水工事

ウォータイト製造元

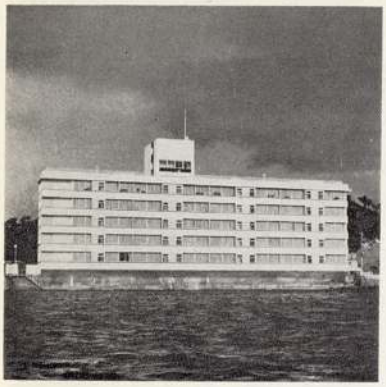
株式会社　日本セメント防水剤製造所

空気調整設備工事　**第一工業株式会社**



スケッチブック

写真と概要をお送りください。
凡例 ： a. 所在地　b. 建築面積　c. 延面積　d. 構造規模　e. 工　期



19. 京阪神不動産シャトー白浜

設計：KK赤松菅野建築設計事務所
施工：鹿島建設KK
a. 和歌山県西牟婁郡白浜町
b. 1,015.28m²
c. 5,571.52m²
d. RC，B1，5F
e. 昭和39年6月 ～ 昭和40年3月
特徴：白浜海岸に面した高級貸別荘



20. 西陣市街地住宅

設計：富家建築事務所
施工：戸田建設KK
a. 京都市上京区西堀川通元誓願寺上ル竪門前町414番地
b. 2,836.68m²
c. 18,893.75m²
d. RC，B1，10F，P3
e. 昭和38年9月 ～ 昭和40年4月



21. 明治生命豊中家族寮

設計・施工：KK竹中工務店
a. 豊中市岡町南3丁目26
b. 559.94m²
c. 2,049.48m²
d. RC，B1，3F
e. 昭和39年11月 ～ 昭和40年3月
特徴：敷地周辺の恵まれた住宅環境にマッチさせた勾配屋根をつけた外観デザイン



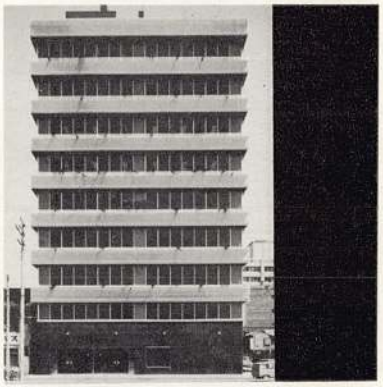
22. 光洋精工旭ケ丘独身寮

設計：KK藤沢建築設計事務所
施工：KK竹中工務店
a. 大阪府柏原市国分町大字円明873
b. 1,250.79m²
c. 3,420.06m²
d. RC，4F
e. 昭和39年10月 ～ 昭和40年3月



23. 大門統合小学校々舎，並体育館

設計：KK日新建築設計事務所
施工：寺崎工業KK
a. 富山県射水郡大門町
b. 校舎棟 1,047.18m²
管理棟，講堂体育館 1,340.30m²
c. 校舎棟 2,949.96m²
管理棟，講堂体育館 2,075.76m²
その他 129.74m²
d. RC，3F，一部S，2F
e. 昭和37年10月 ～ 昭和40年5月



24. 第二心斎橋ビル

設計・施工：大成建設KK大阪支店
a. 大阪市東区末吉橋通
b. 294,143m²
c. 3,045.04m²
d. SRC，B1，9F，P3
e. 昭和39年2月 ～ 昭和40年4月
特徴：外装，アルミ押出型材縦格子



25. 相愛学園十二期図書館，体育館

設計・施工：大成建設KK大阪支店
a. 大阪市東区本町4丁目27番地
b. 1,437.12m²
c. 6,543.79m²
d. RC，6Fおよび4F
e. 昭和38年12月 ～ 昭和40年3月



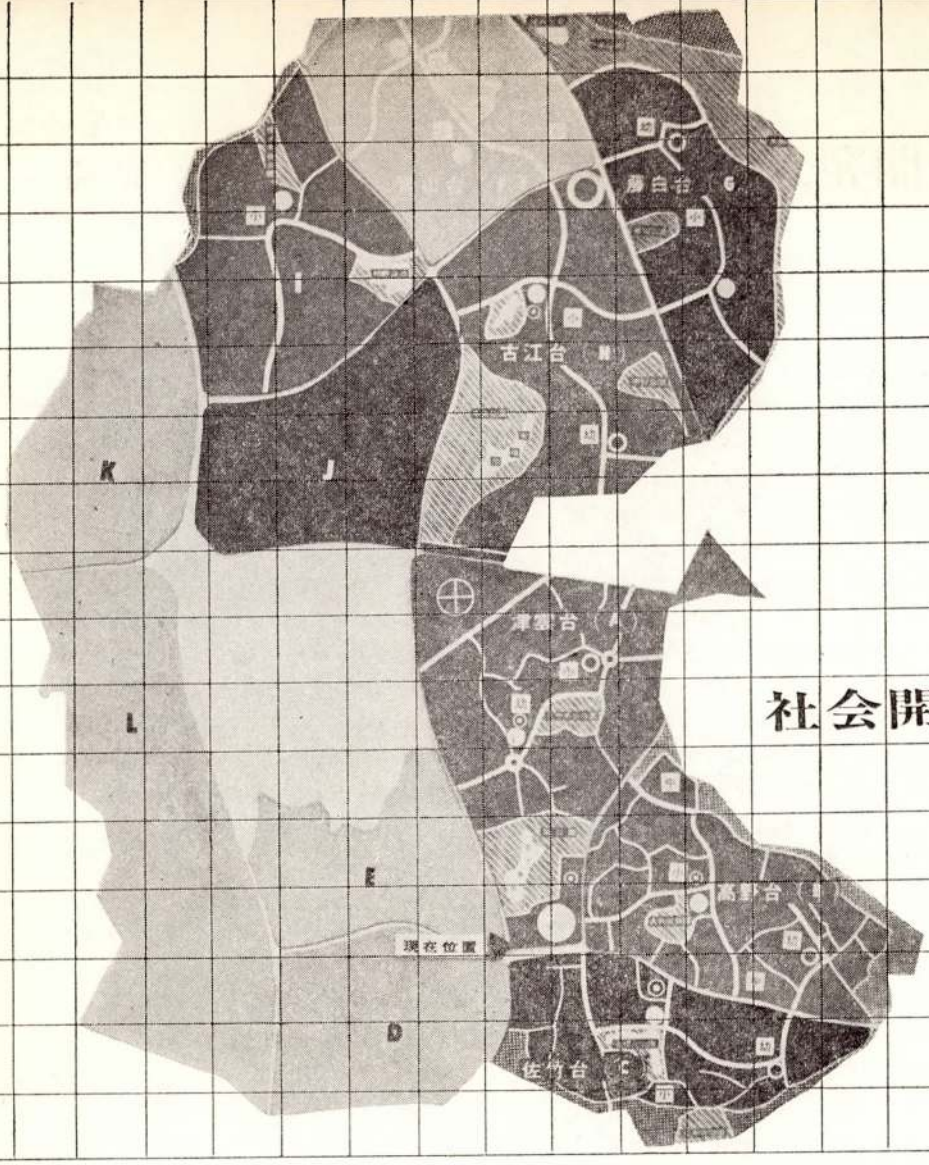
26. 高野山大学松下講堂

設計・施工：KK竹中工務店
a. 和歌山県伊都郡高野町
b. 1,488.42m²
c. 1,128.96m²
d. RC，S
e. 昭和39年8月 ～ 昭和40年3月
特徴：環境と建築の調和



27. 南山大学

設計：レーモンド建築設計事務所
施工：清水建設KK
a. 名古屋市昭和区山里町
b. 8,829m²
c. 23,581m²
d. SRCおよびRC
e. 昭和37年8月 ～ 昭和39年3月



社会開発特集

1 総論

1 社会開発について……前田　勇

2 社会開発批判……広原盛明

3 開発の態度……扇田　信

〝社会開発〟について

建設省総合計画課　前田　勇

1. 経済開発の反省としてのアプローチ

今や世界の驚異の的となっている戦後日本の高度成長の，その端緒ともなった〝所得倍増計画〟は確かに画期的な意義をもつものであった。しかし，この計画は正式に決定した，ほとんどその瞬間から，各方面のいろいろな立場での批判にさらされてしまった。まず最初には，あたかもちょうど〝岩戸景気〟の絶頂期で，計画が想定した年率7.8％の高度成長に飽き足らない政府自らの手によってわざわざ別紙〝倍増計画の構想〟という形で9％という超高度成長論まで付け加えられてしまった（昭35年12月）。しかし，その直後，経済の不況と漸く表面化しはじめた過剰投資のために今度は全く逆の方向から――実はこれは〝倍増計画〟をはるかに上回った経済の実勢と，それを謳歌したときの政府の態度そのものに向けられるべきもので，倍増計画としてはぬれ衣ともいうべきものであったのだが，――その高度成長ぶりが非難の的になった。独走する設備投資に立ち遅れた産業基盤，特に道路，港湾を主軸とする公共投資の必要性が強調されるとともに，いよいよ重大な様相を呈してきた大都市の過密の弊害と拡大する地域格差に対する関心が高まった（昭37年）。

ついで，漸く露呈されはじめた倍増計画の種々の問題点を全面的に検討するため，経済審議会が，いわゆるアフターケアーを開始した（昭38年）。この段階では，いわば一つの反動として，高度成長政策，産業重点主義に猛烈な反撃が各方面から加えられた。一方，前年から活動をはじめていた〝国民生活向上対策審議会〟もこれに呼応するように，消費者保護，物価値上り抑止，住宅や生活環境の整備促進などを叫び続けた。

このような雰囲気のなかで，いわば倍増計画の手直しとして新しい中期計画が昭39～43年の5カ年計画として策定された。当初の頃は当時の猛烈な批判的雰囲気から，倍増とはかなり違ったイデオロギーのものになることも期待されたが，結局，いわゆる成長派の捲き返しが効を奏して，福祉派は再び後退せざるを得なかった。

しかし，この頃の熱心な議論を通じて，経済成長に対する考え方も大きな進歩を示したといえるだろう。たとえば，生活環境とか住宅，あるいは教育，最近盛んに社会開発として強調されているようなものは，決して経済成長と対立するものではなく，また，経済成長をギセイにして社会開発をはかるという考え方自体が矛盾しているということ，経済成長そのものが，単に経済手段の拡大のみを追求するものではなく，社会開発による人間の向上が長い目でみた生産性の向上や健全な消費パターンに支えられる経済の安定成長を確保するという考え方，そのような成長的視点と福祉的視点との総合に一応成功したかにみえるからである。

しかし，問題は依然として〝経済成長〟の枠のなかで議論されており，何のための経済成長か，人間の幸福こそ経済に優先すべき基本目標とすべきであるという徹底した〝社会開発〟派の主張からは程遠いものがあった。

このような時期にあたかも内閣の交替があり，佐藤新内閣は新政策の一枚看板として〝社会開発〟を大きく掲げることになった。

従来，経済審議会はもちろん，国民生活向上対策審議会も実質的には，経済企画庁の諮問機関として運営されてきたが，その〝経済〟の枠を抜け出すためにも，総理に直結する〝社会開発懇談会〟が各界の名士63名を集めて華々しく発足した。この2月13日に第1回，3月27日に第2回が開催され，今後は人造り，環境福祉，消費者行政の3グループにわかれて会議を開き，6月中に意見をとりまとめて総理に報告することになっている。

2. 地域開発の反省としてのアプローチ

倍増計画はその後の経済開発の動きの出発点になったと同時に，最近に至る地域開発ブームの出発点にもなっている。すなわち，そのなかで，これからの産業の高度化と技術革新が急速な工業化，都市化を要請し，それに対処するものとしていわゆる太平洋ベルト構想と拠点開発方式を提案している。これがきっかけとなって，昭和25年制定以来日の目をみなかった国土総合開発法がにわかに脚光を浴び，それに基いて，全国総合開発計画が作成され，同時に一世を風靡した〝新産ブーム〟が全国を席捲した。この一連の動きの軸になった思想は，過密都市の弊害除去と地域格差是正のための地方産業の振興であり，特に鉄と石油のコンビナート造りに異常な熱意が捧げられた。

しかし，これはその後の経済情勢の深刻化と技術革新進展のすさまじさのために，本格化する暇もなく，徹底的な反省を余儀なくされ，大都市圏や太平洋ベルト地帯の実力を再認識する結果になってしまった。

一方，急速な工業化がもたらす公害の恐ろしさが，四日市などに端的に現われ，この面からも工業開発優先の新産方式に非難が向けられた。さらに，装置工業を主体とするいわゆるコンビナートは，雇用面や関連産業面での地域開発効果も期待したほどのものではなかったことも反省に拍車をかけることになった。

新産都市や工業特別開発地域などに代って，地方開発都市や管理中枢機能整備の重要性が強調されるようになったのもこのような雰囲気のなかでである。

また工業開発そのものも〝鉄鋼と石油のコンビナート〟という杓子定規に代って，その土地土地に適わしい，きめ細かな業種の選定や地場産業の振興にも注意がむけられはじめた。

さらに，工業開発に代って，あるいは工業開発そのものを誘致するためにも，住宅や生活環境の整備，美しい自然景観や文化財の保護，人材の開発とその定着などが極めて重要な役割りを果たすという考え方も盛んに行なわれるようになった。

このような反省ムードのなかで，一体誰のための地域開発か，都市計画は住民のために何をしてくれるのかという素朴な不信の念が高まり，さらに，大都市における地価の高騰や通勤難，住宅難と相まって〝社会開発〟に対する期待を一層ふくらませていったのである。

3. わが国における〝社会開発〟の意味

昨年12月，経企庁が作成した「社会開発の基本構想について」に示された見解が，一応，現在政府のいう〝社会開発〟の意味を説明していると思われる。ここではまず，社会開発という言葉は理論的な定義があるわけではなく，むしろ実践的なものであり，かえってその歴史的背景ないし現代的課題に問題があるとし，消極面として，経済成長にとり残された部面の近代化，ひずみの是正という問題があると同時に，積極面としては，経済開発と均衡のとれた社会開発を推進して，経済の成長，安定，分配の公平を同時的政策課題として取上げるという問題があるとしている。

そして社会開発計画の内容としては，①衛生保健計画，②住宅，生活環境整備計画，③教育計画，④労働計画，⑤消費者保護計画，⑥社会福祉計画，⑦低生産性部門近代化計画，を個別計画として含み，さらに，これらを総括する，⑧投資配分計画がなければならないとしている。

また，さる4月9日の閣議に報告された「国民生活白書」は，

「所得水準では漸く西欧先進国の一角に追いついてきたという段階である。しかしながら，国際的に日本では，住宅だとか，上下水道，清掃施設，道路，通勤機関など，生活の物的基礎と考えられるものが比較的おくれそれにくらべれば保健，教育，文化などどちらかといえば精神的な生活面が進んでいる。耐久消費材の著しく高い普及率，……歓楽街，娯楽場などの盛行ぶりは欧米に劣らない。このような生活内容の不均衡は，一つには日本の社会的，伝統的な制度や慣習にもとずいて形成され」たとして，次のような慣習や制度を例示している。

「日本の特殊な家族制度の影響，相互扶助による低い消費水準の維持，家政の主権が年長者に属しているための因襲的な生活慣習，次の世代に期待するという意味での子弟教育の重視，家族主義的な物の考え方を企業のなかにもちこまれ，終身雇用制や年功序列制が形成され，企業の経営が利潤第一，生産第一になりがち，豊富な労働力を擁したため賃金水準の相対的低さ，反面，家族主義，温情主義の企業へのもちこみで，福利厚生施設や居住施設の改善が進み，かえってそのために，住居，生活環境あるいは社会保険など企業の範囲内にとどまって公共的な広がりを妨げている」とし，さらにわが国個有のボーナス制度や社用族の横行についても指摘している。

また結論としては，社会開発の推進の必要を強調しているが，その具体的な内容として第1に住宅と生活環境の整備を中心とした住みよい町づくり，第2に教育の質的充実，第3に心身ともに健康な国民づくり，第4に社会保障の充実，第5に消費者の保護をあげている。

以上，わが国のいわゆる〝社会開発〟が意味しようとしている問題はほぼ明らかになったと思うが，はたして，それがそのまま〝社会開発〟そのものといえるだろうか。むしろ，かなり多くの部分が，経済開発や地域開発の〝社会開発〟的側面にすぎないのではなかろうか。経済開発や地域開発と対立する意味での社会開発個有の問題や方法論としては何が残るのであろうか。

4. 国連の考え方

〝社会開発〟は国連のいう“Social Development”

の日本訳であるとする館稔氏の見解がほぼ定説となっている。館氏は近著「社会開発の概念について」のなかで今日のように社会開発の概念が世界的にとりあげられるようになった直接の契機は，1961年12月19日，国連総会における〝開発10年(Development Decade)の決議〟であるとし，低開発国における経済離陸（take-off）の先行条件としての伝統的社会制度の改造を中心とする社会開発と，先進国における経済開発に伴う弊害，所得の階層格差や地域格差拡大の阻止と人間能力の向上のための社会開発とをあげ，いまや，後進国でも先進国でも，経済開発と均衡のとれた社会開発が是非とも必要であると強調している。

また国連の定義する社会開発計画の主な内容として次のものをあげている。

（1）保健計画——保健教育，環境衛生，予防的・社会的・保健対策，母子衛生，伝染病の予防と絶滅，医療施設，要員の養成，薬剤の管理

（2）栄養計画——食料供給，栄養価の改善，食料の貯蔵，食料の補給，学校給食，栄養教育，要員の養成

（3）住宅と環境整備計画

（4）消費者援助計画——消費者保護，品質の取締，広告の取締，消費者物価政策，消費者協同組合

（5）教育計画——学校前教育，初等教育，中等教育，教職員の養成と配置，職業指導，技術教育，高等教育社会教育（校外教育）

（6）労働計画——就業および失業対策，職業補導，職業教育，生産性向上とその誘因，労働条件（賃金計画・産業安全・産業衛生・労働時間・青少年婦人労働保護・労働者福祉など），産業関係 industrial relations（労働組合）

（7）社会保障計画——社会保障，老令年金，家族手当，医療保障，社会扶助，社会サービス

（8）保護，リハビリティション計画——家族生活の強化支援（特殊世帯保護・特殊世帯児童保護），老人福祉，リハビリティション，社会福祉要員の養成

（9）農村計画——農地改革，農家負債整理計画，所得扶助，農民保険，自力更生支援計画（ことに農村協同組合計画，地域社会開発計画 community development project）

（10）難民保護と支援等

館氏の見解によれば，社会開発は専ら経済開発と対立する形がとらえられている。これに関連して思い出されるのは，ちょうど国連が〝開発の10年の決議〟をした直後，国連で開催された〝住宅と計画に関する専門家会議〟—今は亡き加納久朗氏が議長として大活躍された—の報告書である。ワイズマン氏を中心とする事務局の労作と思われるが，このなかで，planning を physical, social, economical な3つの断面と，local, regional, national の3つの段階に分類し，regional planning において，これらの諸要因を統合した具体的な integrated plan（総合計画）が作成されるべきことを強調している。

1955年，筆者が国連のフェローとしてヨーロッパに学んだとき，住宅問題や都市計画が，social affairs として分類されていることを最初は奇異に感じたが，ヨーロッパ，特に英国におけるこれらの問題，歴史的発展を知って，今更，social という言葉のもつ意味の重大性に気付いたものだった。国連そのものの3本柱の一つを構成している経済・社会理事会という言葉は，何も国連が〝開発の10年の決議〟ではじめて社会開発の重要性を認

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事
アスファルト専門工事
アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事
大阪耐酸工業所
大阪市北区浮田町82番地　電話大阪(371)1333番

識したものではなかったことを如実に示しているものだろう。

5. 社会開発——その独自の展開

社会開発を，経済開発と，もしくは経済開発・地域開発の両者と対立する形で考えた場合，はたしてその独自の存在理由は何であろうか。われわれが最近，いわゆる〝社会開発〟に期待しているもののかなりの部分が，経済開発における〝福祉的視点〟の強化や，〝効率の原則〟に対する〝必要の原則〟の強調という形で考えられたり，地域開発における住民福祉の尊重という形で十分処理されるものが多いのではなかろうか。

地域開発という言葉もしばしば混乱して使われている。たとえば，ある地域における総合的な計画として，physical な面ばかりでなく，social な面も economical な面も含む場合があるが，筆者はここではこのようなものを地域〝総合〟開発と呼んで区別したい。

ここでいう地域開発は，地域計画，すなわち都市計画や地方計画や国土計画というような physical planning に対応し，土地利用計画とその実現のための施策や施設を主要内容とするものに限定したい。

このような physical development としての地域開発に限定しても，社会開発や経済開発が要望するところを，physical な断面に投影したものとしては，総合的でなければならないはずであり，たとえば公害問題や通勤難などの問題の大部分は，地域開発における〝社会開発的〟問題点の認識を深めれば事足りるものであり，そのために社会開発独自の土地利用計画や都市計画が必要だというのはナンセンスというべきであろう。

これと同様なことが，経済開発についてもいえるだろう。たとえば，消費者物価や生活環境施設関係予算の問題も，経済開発における〝社会開発的〟側面からの圧力を強化すればよいのであって，社会開発自体が独自の物価体系や投資配分を提案することは難かしい。

それでは一体，社会開発自体としては何をなすべきか，何を取上げるべきか。前述の「社会開発の基本構想について」や国連の資料にみられるような内容のなかで，残りそうなものは，たとえば，保健衛生，教育，労働，社会福祉という，いわば人間の資質に関するものがまず考えられる。この他にもたとえば，文化，芸術，宗教というようなものも考えられるだろう。しかし，問題は個々の人間の問題に止まらず，人間の集団，社会そのものの体制の問題に遡らなければならないのではなかろうか。

人種，国籍，職業，収入などによる社会的分離 social segregation を排除しながら，個人から家族，community から国家，そして世界へと結ばれる人間社会の体制の問題，これこそ〝社会開発〟の正に当面すべき問題ではなかろうか。特に，個人と家族と，そして国家しかない community 不在のわが国には，近代的な意味での〝社会〟そのものが不在だったともいえるだろう。

このような意味から，ワイズマンが統合の場として強調した regional planning の他に，筆者は，わが国における〝社会開発〟と地域開発の統合の場として，community planning，住民に密着した都市計画の重要性を特に強調して，結びに代えたいと思う。

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

特許 内外式
電動ベンチレーター

屋上強制換気装置のパイオニヤ
ご信頼におこたえできる
行届いた設計施工

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL (962)1149

内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式 連続採光換気装置
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

社会開発批判

京都大学建築学教室　広原盛明

はじめに

1964年6月，佐藤栄作氏は自民党総裁選挙立候補の席上において，次のような所信表明を行なった。「経済開発は大きな社会的摩擦と変動をおこす。これは一面で経済発展そのものの障害となり，また経済発展が国民の福祉につながらない原因ともなる。今日問題となっている物価の上昇，高年令者の就職難，公害，過大都市，交通戦争，中小企業の混乱，農山漁村の変容，青少年の不健全化，住宅難などがこの具体的な例である。このような社会的課題を解決し，調和のとれた経済社会の発展を実現するのが〝社会開発〟の計画である。(1)」以後，この社会開発ということばがマスコミによって盛んにとりあげられるようになり，各種のジャーナリズムもまた，「社会開発特集」なるものを企画することによってその宣伝に一役を買うようになった。

一方今年の1月，佐藤首相の〝私的諮問機関〟である社会開発懇談会が各界の名士を集めて発足し，厚生省からもより具体的な内容が提示された。それによると，「社会開発とは，日本国憲法に示されている『健康にして文化的な生活』を国民が営むことのできるよう，経済開発と調和のとれた諸政策を積極的に推進することをいう。(2)」と定義され，その目的は，「健康体の人間をつくる。健全な精神をもつ日本人をつくる。社会的物的環境を美しく，能率的で安全なものにする。(3)」ことであり，その目的を達するための具体的な方針として，「住宅の整備，生活環境施設の充実，公害の防除，社会保障の充実，労働条件の改善，人的能力の向上，消費者の保護」の他に「農山村の近代化，自然景観の保全，芸術の振興。(4)」までが含まれることとなった。

以上が佐藤首相の語る「社会開発」なるものの概略であるが，あまりにもその定義が抽象的であり，またその具体的方針も単なる政治的スローガンが羅列されているだけで，それが経済的にいかなる裏付けがあるのかは明らかにされていない。

しかしながら，佐藤首相がその表看板としてかかげた社会開発を〝寛容と調和〟〝人間尊重の政治〟などの一連のキャッチフレーズと等しく，単に一内閣の政治理念として片づけてしまうことはできない。池田内閣の高度経済成長政策のあとに，佐藤内閣が「社会開発」をうちださねばならなかった必然性が，日本の〝開発〟の歴史のなかには流れているからである。したがって，本稿の主題である「社会開発批判」は，すでに実体として存在する「社会開発」が，その運動の過程のなかで惹きおこすさまざまな矛盾の指摘を意味するものではなく「社会開発」なるものがはたして存在しているのかどうか，また今後存在し得るのかどうか，ということを佐藤内閣に「社会開発」が登場してきた背景とかみあわせながら，考えることをその主眼としたい。

1. 国連における社会開発

社会開発の契機

「社会開発」という言葉が，最初に用いられたのは，1955年出版の国連社会局の資料，「UN International Survey of Programmes of Social Development」においてである。日本では，上記の資料の他に1959，1961年の2つの「社会開発」に関する国連資料をまとめて，「社会開発に関する諸問題―国連資料による分析―(5)」というレポートが，1963年6月厚生省人口問題研究所によってまとめられてから，そのことばが一部で知られるようになった。

「社会開発」が国連において生みだされた背景は，大体次の2点と考えられている。1つは，資本主義経済の先進国である欧米諸国における「福祉国家」思想の開発面における反映である。すなわち，「第2次世界大戦の直接の原因である不況と失業，およびこれらに起因する貧困を，国の計画的努力によって解決するため生まれてきた福祉国家の目標は，これらの諸国においては，社会経済構造の根本的な改編なしに達成される。技術の進歩とともに経済も順調に発展し，経済の安定成長によって完全雇用が達成される。そして残された問題は，稼得能力を中断または失った者，適応に遅れた者に対する社会保障，社会福祉，教育，労働政策となるこれらの一連の対策―社会開発―は，有効需要を維持し，労働力を改善することにより，経済の安定成長につながる。(6)」というものである。

他の1つは，いわゆる「南北問題」に求められる。これは，北の先進工業諸国と，南の低開発諸国との間の生産力，国民所得，生活水準などの驚くべき格差の存在と，しかもこの格差が拡大しつつあるという事態に対して，北が南を援助することによりその格差の是正を行なおうとするものである。しかしながら，「北の先進国からの多くの財政的援助，技術的援助にもかかわらず，南

の後進諸国は必ずしも目ざましい進歩はみせず，その停滞は国際不安の源泉となっているのである。そこで，後進国がめざましい進歩を遂げるためには，伝統的社会の政治，社会すべてにわたる根本的変化が起ることが必要であり，そのために経済開発だけでは駄目で，社会開発が行なわれねばならない。(7)」とされた。

「社会開発」は，このようにしていわゆる南北問題を契機とし，福祉国家思想をその背景として生みだされた。しかし，なぜ国連で「社会開発」が生みだされ，それを佐藤内閣が取りあげたのかを知るために，この南北問題と福祉国家論の本質をぜひ明らかにする必要がある。

福祉国家思想の本質

福祉国家論は，イギリス労働党の政治理論に始まる。イギリス労働党は，1918年漸新的改良主義を標榜するフェビアン協会の「土地と資本を社会的所有にすることにより，公衆の福祉を図る。」という項目を党の綱領として採択した。その後，労働党の1924，1929，1945年の3回にわたり「福祉国家建設」を公約として政権を担当した。この福祉国家建設の基礎となったのが，社会保健委員会の委員長ビバリッジの1943年の報告書に基いてつくられた有名な「ゆりかごから墓場まで」というイギリスの社会保障制度である。しかし，ビバリッジ案の指導原理の1つは「欠乏の根絶は，生産物の合理的分配を無視した単なる生産の増大ということのみでもたらされるものではない。しかし，ここに合理的分配とは，生産における各種の要因間の，土地，資本，経営および労働間の分配を意味しない。われわれが要請するのは賃労働者自身の間における，すなわち収入のある時期と収入のない時期との，また家族の負担の大なる時期と負担が少ないかあるいはそれがない時期との間における，購売力のよりよき分配なのである。(8)」といった資本主義枠内における改良にすぎなかった。また社会保障制度が保障する最低限度の生活は，「ビバリッジ案では最低生活水準は一応生計費基準主義をとって算出されたが，政府は44年の白書でこれを不可能なことであるとして否定した。また，45年の予算演説では，物価が50%上昇していることを認めながら，ビバリッジ案で予定された25%の上昇率をそのまま踏襲した。45年以降の実施に当っては，ごく僅かの修正を行なったにすぎず，遂に絶対的な生理的最低生活水準以上のものをいでず，生計費主義に立つことも認めなかったのである。(9)」ようなものであり，健康にして文化的な最低生活水準を保障するものでなかったことも周知の事実である。

一方アメリカでも，1950年頃から福祉国家論が盛んにとりあげられるようになった。ハンセンのいう，私的資本主義経済と社会主義経済の混種である二重生産制度は，福祉国家の経済的基礎であり，アメリカ経済は，福祉国家を可能とする混合経済にあるとした。また，ロストウは「経済成長の諸段階―1つの非共産主義宣言」のなかで，すべての社会は「伝統的社会」「離陸のための先行条件期」「離陸」「成熟への前進」そして「高度大衆消費時代」の5つの経済的成長段階にあり，この最後の段階をもって福祉国家の出現とよんだ。そして社会主義化は，この「高度大衆消費時代に至る1つの歪められた方向であり，アメリカをもって「成熟」の典型的福祉国家の出現と見なしたのであった。

だが，ロストウにあっては，アメリカの労働者がどれだけの物を生産し，どれほどの分配にあずかるのか，また，どのように消費されているのかといったことは全く無視されている。「偉大な繁栄の国―アメリカ」において，1963年10月現在，460万人近くの失業者が存在することが労働省自らの手によって発表され，実質的な失業者数は650万人にのぼるといわれることも，ケンタッキー州の炭坑地帯において，食うや食わずの労働者があふれていることも無視されている。

また，イギリスにおける歴史的検証によって明らかにされたごとく，労働党が公約した「平和的な社会主義への移行」は全くの虚構であり，「資本と土地の社会的所有」も空虚な宣伝文句にすぎなかった。そして現在のイギリスは，高度に発達した帝国主義国家であり，貴族階級が人民の上に君臨する立憲君主国でもある。

以上の例にもみられるごとく，要するに，福祉国家論は，資本主義における恐慌と経済の停滞による慢性的な大量失業者の存在を，国家的公共事業や官営事業を振興することによって吸収することをねらうと同時に，資本主義への不信，搾取と貧困と抑圧の制度への不満が社会主義への要求に軟化し，革命的労働運動となって高揚するのをおそれて，部分的な修正を行ないながら，そのエネルギーを結局は支配階級の上からの改善政策に移行させるという本質的な性格を有しているのである。

南北問題の本質

「社会開発」はその背景として，このような福祉国家思想をもっているが，国連での直接の契機となったのは，やはり南北問題といわれる，低開発諸国の開発問題である。

戦後，帝国主義の植民地体制が崩壊して，従来の植民地国，半植民地国のほとんどが独立した。そしてこれらの新興諸国は，植民地体制の残滓を払拭して，経済の自立化をめざしての開発計画をすすめだした。この過程で，旧体制における益権を温存しようとする先進国の意図と後進国の民族主義的要求が対立し，武力的抗争も数多く行なわれた。なかでも，反共政権であれば軍事独裁政権をも支持するという，中ソ封じこめ政策を強行するアメリカの対外援助政策は，独裁政権に弾圧された民衆から反米斗争を惹きおこす結果となった。このような事態に

対処して，50年末から60年初にアメリカの対外援助政策は，「新興諸国の変革の過程はすでに必然的，非可逆的に進行しているし，その経済的，政治的，社会的革命はすでに容赦なく始まっている。これに対して直接に政治的影響を及ぼそうとすると，袋小路につき当るが，経済援助はそれを迂回する方法であり，もしも巧妙な経済，技術援助計画を十分に遂行するなら，反植民地主義のシンボルから大半のダイナマイトを除去できると確信する。(10)」とするロストウ・ミリカン・プランによってその重点が軍事援助から経済援助へ，対象地域が西欧諸国からアジア，アフリカ，ラテンアメリカへと転換する。（もっとも，アメリカの軍事拠点である韓国，南ヴェトナム，台湾へは軍事援助が主であることはいうまでもない。）

国連，特に国連の対外援助機関の主導権がアメリカに握られていることにより，南北問題の本質―「南と北という地理的な色わけによる単純化と，南と北の経済的格差という純経済的問題への矮小化とによって，この経済的格差が前世紀以来の植民地支配の帰結であることも，さらにこの格差の拡大傾向が，旧植民地，従属諸国の政治的独立にもかかわらず，依然として北によって維持されている植民地型経済構造と帝国主義的国際分業のせいであることをも隠蔽しようとすること。(11)」―が明らかにされず，「さらに，ソ連がその平和共存と完全軍縮，および非資本主義的発展の路線と南北問題を結合したことによって，国連版南北問題観は社会主義の市民権さえ付与されたごとくになった。(12)」のである。

国連において，「社会開発」が50年中端から60年初めにかけて出現するのは，まさにアメリカの対外援助政策の転換期と軌を一にするものであり，ロストウ・ミリカン・プランの国連版ともいえるであろう。アメリカ国務省政策企画委員長であり，ヴェトナム侵略の立役者であるロストウが，後進国の経済離陸のための伝統的社会の根本的変革の必要を説き，そのアプローチとして経済開発のみならず「社会開発」を強調するのは，次から次への崩壊する東南アジアの中国封じこめ政策において，安定した反共政権を樹立するための，アメリカ帝国主義の新植民地主義政策の展開以外の何物でもないのである。

2. 日本における地域開発の推移

社会開発と地域開発

国際的には，すでにのべたような背景をもつ「社会開発」がなぜ佐藤内閣によって取上げられたのかということは，佐藤首相の個人的な政治理念もさることながら，大きくは，やはり「社会開発のアプローチがもっとも可能となる，地域社会の開発(13)」の日本における歴史的発展方向によって規定されている。したがって，ここでは，前項の国際的背景とあわせて「社会開発」がいかなる国内的背景の下に出現してきたかを，その具体的あらわれとされる地域社会の開発の歴史を追うことによって明らかにしよう。しかし地域開発の歴史については，すでに田原音知の「地域開発と社会変動(14)」において詳しくのべられているので，ここでは簡単にその要旨を紹介しながら，島恭彦編「日本の財政構造(15)」によって若干の補足をつけ加えることとする。

経済復興期の地域開発（1945～1949）

この時期は，なによりも戦争による荒廃からの復興政策が中心であり，特に食糧の確保，都市の越冬住宅の建設，軍事産業の平和産業への転換等が緊急の課題として山積していた。1946年の「復興国土計画要綱」はこれらの政策をその中心としていたが，実質的には緊急開拓と石炭を主とするエネルギー資源の開発にとどまった。だが，1947年の「地方自治法」制定を頂点とする地方自治民主化の高揚期にあっては，食糧増産，地場産業振興による雇用の安定化，災害対策を主とした地域開発計画は，経済事情の好転がそのまま地域住民の生活権の擁護に結びつくという積極的な意味を有していた。したがってそれはまた，住民の下からの運動に支えられて，1950年の「国土総合開発法」制定の起動力ともなり得た。

「国土総合開発法」においては，電源開発，治山治水，農林水産資源開発を目的として，河川およびその流域にわたる広域的，総合的開発がその中心であった。それは「多目的ダム」に端的に表わされるごとく，地場産業の振興という各地方の要請をはたすはずのものであった。

経済自立期の地域開発（1950～1959）

1948，49年，朝鮮民主々義人民共和国，中華人民共和国のあいつぐ成立により，アメリカの対日占領政策が一変し，それは1950年の朝鮮侵略戦争の開始によって決定的なものとなった。

サンフランシスコ「平和」条約，日米安全保障条約の締結などにはじまる外資導入，技術援助を背景に，朝鮮戦争の特需を主とする日米経済協力体制は，対米従属を深めるなかで重化学工業中心の独占資本復活強化をはかった。かくて総合的開発計画は，エネルギー源としての電源開発にその重点が移されることとなり，これと呼応して「道路法」，「港湾整備促進法」などが制定されることにより，一連の産業基盤整備が強行されていった。

一方地方自治においても，「行きすぎた民主化是正」の名の下に，次第に中央集権への方向で再編成が始められた。緊縮財政，シャウプ勧告を契機とした町村合併が1953年の「町村合併促進法」によって推進され，中央の地方に対する行政的把握はますます高まった。やがて，1955年から始まる「生産性向上運動」は，一般行政の企業化傾向，独立採算制の強化にみられる一連の措置によ

図1　中央一般会計，地方一般会計，財政投融資の規模

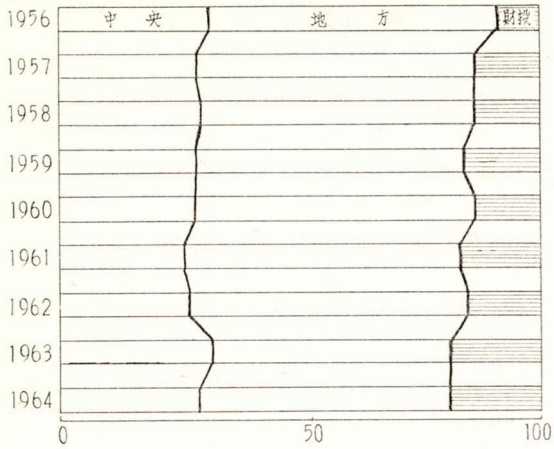


図2　行政投資の推移

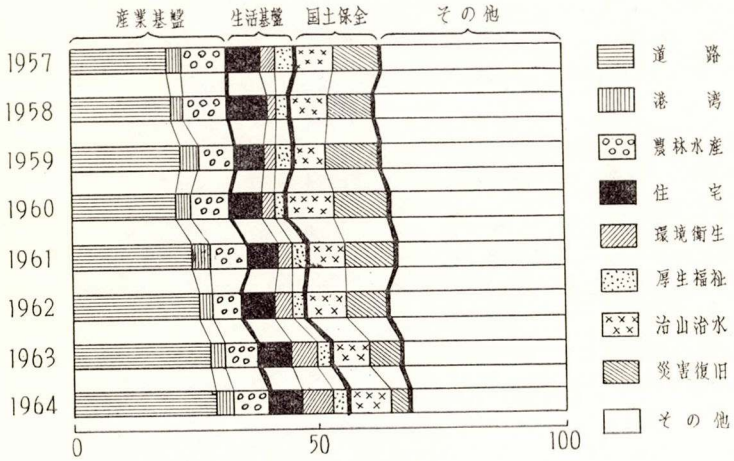
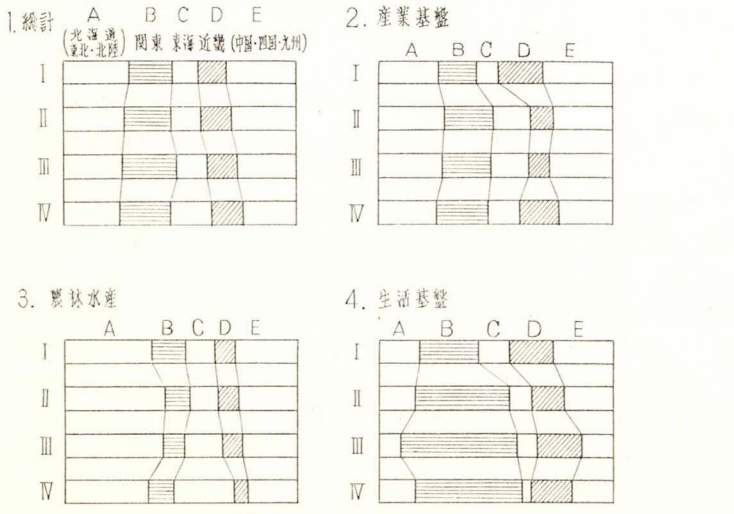


図3　公共投資の時期的，事業性質別の地域別構成比



I期（1947～50年），II期（1951～54年），III期（1955～57年），IV期（1958～60年）

って，地方自治体の合理化を強行し，やがてくる高度成長経済に対する態勢をととのえたのである。

だが，既成大工業地帯においては，重化学工業を中心とする設備の新設置が活発化し，これらの地域への産業および人口の集中がはげしく，過密の弊害が進行しつつあった。

経済成長期の地域開発（1960～）

1960年に発表された「所得倍増計画」は，経済の高度成長を推進し，企業の経済的合理性を尊重する観点に立って，その重点は産業基盤整備のための社会資本の充実と，産業の適正配置とにあった。つまり過大都市の発生を防ぎ，既成4大工業地帯を結ぶ「太平洋ベルト地帯」の形成と再開発がその中心的課題であった。そしてこの所得倍増計画に基いて，「全国総合開発計画案」が1961年に公表され，1962年に決定された。

すでに1958年頃より，高度成長段階に入った日本経済は，この「全国総合開発計画」を生みだすいくつかの注目すべき傾向を有していた。まず第1点は財政規模において，一般会計に対する財政投融資の比率がいちじるしく高められたことである（図1）。その結果，行政が民間企業のごとく収益事業化され，独立採算制や受益者負担制によって，住民に対する行政サービス水準は低下し，住民の財政負担は増加した。また，公団公社の乱立により，地方自治体の比重が低下し，地方自治の形骸化が進んでいる。

第2点は，財政支出構成において資本形成，なかでも公共投資のいちじるしい増大である。公共投資のなかでも，道路，港湾などの産業基盤強化の投資，住宅・環境衛生・厚生福祉のような民生安定のための投資，治山・治水などの国土保全投資などは，行政投資といわれるが，この行政投資にあって産業基盤投資の比重が飛躍的に増大した（図2）。つまりここでいえることは，公共投

資の増大とその高水準にもかかわらず，国民生活に密着した生活基盤の投資は相変らず停滞し，この分野での社会資本の不足からくる矛盾はますます深刻さを加えつつあるということである。

第3点は，公共投資の地域配分が著しく「太平洋ベルト地帯」に偏在していることである（**図3**）。財政貧困の後進地方において，農業基盤や生活基盤の整備が求められていたとしても，「開発効果の低い地域」には投資が行なわれにくいのが事実である。かくて，「地域格差解消」の方向とは反対に，公共投資はますます格差を助長することになる。

これらの特徴の根本的原因はいわずとしれた「高度経済成長」そのものにある。1955年頃から高度成長段階に達した日本経済はその規模を急激に拡大し，特に民間の大企業―重化学工業―を中心にして，大規模な設備投資が強行された。このため，民間企業活動とその産業基盤となる「社会資本」との間に大きなギャップが生じ，これが企業の生産活動の障害となった。そしてこの障害となった「社会資本の不足」の解決のため，公共投資が産業基盤整備を重点として行なわれてきたのである。さらに，その財政資金が，租税に基く一般会計で賄うだけでは足りず，厚生年金や国民年金などの社会保険や，郵便貯金までをも調達しなければならなくなったところに，財政投融資増大の原因をみることができよう。

「全国総合開発計画」は，まさにこのような高度成長経済の地域的表現であり，したがってそこには「資本の論理」がきびしく貫かれている。大河川を中心とした広域的・総合的開発から，開発効果の高い重化学工業をもつ地方都市の拠点開発へ，自然資源の開発から直接生産の隘路となっている産業基盤の整備・開発へ，「地域」の総合的な開発から地域格差是正のための開発へ，といったこのような地域開発の性格の変容は，まさしく日本経済の底流の変化の反映そのものに他ならない。

3. 日本における社会開発

社会開発の登場

「高度経済成長」およびそれに基く「全国総合開発計画」は，佐藤首相が池田内閣を批判して冒頭で指摘したごとく，多くの矛盾を一挙に顕在化させた。とりわけ，農工間の生産性格差，また工業間のなかにおける生産性格差に起因する所得水準の地域間および地域内格差の拡大は，大都市へのはげしい人口集中をもたらし，また都市内での階層分化を強めその結果一連の都市問題といわれる過密の弊害を惹きおこした。また都市外延部の臨海コンビナートにおいて発生した「工場害」ならぬ「公害」は，その規模と程度において社会問題となるまでに至った。

四日市の「『くさい魚』とよばれる汚水現象や，『四日市ぜんそく』という煙害などの型どおりの公害のほかに，新型の有機臭までも38年頃から登場してきている。しかも最近では状況は悪化するばかりで，悪臭になやむ地域はさらに拡がり，桑名市から鈴鹿市まで，南北30キロの広範囲になっている。この4月には消防士が望楼でたおれ，6月には乳児が窒息しかけるというひどさである。(16)」といった実情は，すでに全国の周知の事実となった。そして，この地域開発の進行，とりわけコンビナート建設と公害の発生との関連に気付いた住民から，「公害防止＝地域開発，コンビナート建設反対」の運動が各地に起りはじめた。

沼津・三島石油コンビナート建設計画は，東駿河湾の工業開発と沼津・三島を中心とする百万都市の建設を推進するというはなやかなＰＲの下に始まった。しかし注目すべきことは，すでに3年前の石油コンビナート建設反対を基礎として，市民の間で公害に対する強い反対運動が発生したことである。しかもこれらの反対運動は，しばしば開発の進行時にみられる「ゴネ得」的なものではなく，沼津高校の教師や医師を中心とした公害問題に関する科学的学習に基き，四日市の公害の現地視察をした体験に裏づけられた生活防衛的なものであった。そして，沼津・三島・清水の二市一町連絡協議会は，各階層にわたる支持を背景として結成され，また，松村調査団の科学的報告書に基いて反対運動を発展させた。そして64年9月13日，地域はじまっていらいの市民大集会を成功させることにより，遂にコンビナート建設計画は撤回されるに至った。「美しい郷土，沼津を公害から守ろう。(17)」というプラカードは，まさに「社会開発」の「住民の生活水準をできるだけ住民自身の発意にもとづいて上昇させる努力に，住民自身を参加させ，また，かれらの発意や自立や相互援助を助長し，それらがよりいっそう効果を発揮するような方法において技術的なサービスやその他のサービスを準備すること。(18)」という意図を，まさしく実現していたのである。

また一方，〝地域開発の典型〟といわれる岡山水島工業地帯建設においては，岡山県南部七市二十町六村の行財政力を統一して強化し，独占資本のための産業基礎と広域的建設を図ることを目的とした「広域都市」建設が「緑と太陽と空間のまち」というキャッチフレーズの下に進められた。市民の間では，広域都市の本質は必ずしも公害問題のように理解されておらず，したがってその反対運動も強力ではなかった。しかし，倉敷市市議会における暴力団を導入してまでの合併強行は，市民の間に本能的な警戒心をよびさまし，やがてそれは「百万都市対策連絡会議」から，「一月合併阻止岡山県民会議」へと成長するなかで，各地の議会に対する猛烈なリコール運動へと発展した(19)。高度経済成長に対応する地域開発

は，まさに四日市のような「タレナガシ」の発展をつづけてきたが，しかし地域住民が次第にその本質を理解するにつれ，もはや従来のごとく，「資本の論理」そのものを直接に反映した地域開発をすすめることが不可能となってきた。つまり，経済開発の地域的表現である地域開発上，社会開発という道徳的色彩をもって粉飾する必要が生じてきたのである。

だがそのメッキは，はやくも1965年度の予算においてはげつつある。昨年の7月，佐藤氏が総裁立候補したときの公約である「34億減税」ははやくも800億に減った。また税金のかからない人間の最低生活費は7万円引きあげられたが，物価騰貴はそれをはるかに上まわることが人事院の手によって明らかにされている(20)。また表面的な減税のうらには，社会保健制度の医療費負担が千億円近くも増額するというカラクリも設けられていた。「総花的」とか「大盤振舞」と称される今年の予算は，こうした含みをもちながら，社会開発を具体化する項目をふやし，そして極めて小額の予算で裏打して，国民に社会開発の具体的イメージをうえつけようとしたのである。

社会開発の本質

国連における社会開発が，福祉国家思想を背景とし，直接には南北問題を契機として出現したことはすでにのべた。だが，わが国の社会開発は，この国連における国際的な社会開発と驚くべき共通点を有している。すなわち，「現行憲法第三章は国民の権利と自由の保障を偏重し，義務と責任を軽視しており，十八・九世紀的自由国家，個人主義に立つもので，二十世紀社会国家，福祉国家の原理に立つべき現代憲法の動向と反する。一憲法第三章の『国民の権利及び義務』の表題を，『国民の福祉と義務』にあらため，権利・自由が公共の福祉を全うするため制約をうけることを明確にする必要がある。(21)」という，憲法調査会の改憲論の基礎となった福祉国家論を背景として，「地域格差の是正」のための「地域開発」が行なわれ，そしてそれらを包括したものとして「社会開発」がでてきたのである。

しかしこれを言い換えるならば，「資本の論理＝利潤の追求」に基き，開発効果の高い拠点，あるいは太平洋ベルト地帯に産業基盤整備のための公共投資を集中するため，公共の福祉の美名の下に住民の権利の抑圧を行ないながら，しかも後進地域の発展への意欲や政治的運動を緩和する目的を，社会開発はその本質としてもっているということである。

その意味で国連における社会開発も，日本における社会開発も，現代資本主義の必然的な歴史的産物であり，低廉で豊富な労働力をもつ後進国において消費産業をおこすことにより，先進資本主義国の重化学工業の市場を拡大しようとする新植民地政策の国際的，国内的反映に他ならないといえよう。

おわりに

話しは，「建築」から大きくはなれて，「社会」の側に片よってしまった。だが「社会開発」そのものが，とらえどころのない，まさに政治的，社会的なものなのであるからこれも止むを得ない。ただ本文を書くにあたって，最後まで筆者の頭にこびりついていたことは，「社会開発」なるものは歴史的な背景をもっているものとはいえ，当初，佐藤首相にとっては，「社会開発の一環として『教育開発』を考えたい。この中心は〝金のかからない教育〟にするため，まず義務教育費の国庫負担をできるだけ完全負担に近づける。また児童手当制度による義務教育児童の最低生活費保障，育英制度の拡充を行なう。(22)」という所信表明にもみられるごとく，「期待される人間像」や「国定教科書の復活」をめざす自民党の文教政策程度の，矮少化されたイメージでしかなかったのではないかということである。であるとすれば，大まじめでこの問題と取りくんだ筆者などは，まさにそのPRに一役をかったということになるであろう。

〔註〕

(1) 日経，1964.6.28
(2)(3)(4) 日経，1965.1.27
(5) 厚生省大臣官房企画室編「住民の生活と新産業都市」に付されている。
(6)(7) 伊部英男「社会開発について」，都市問題，1964年12月号
(8)(9) 坂寄俊雄「社会保障」，岩波新書
(10)(11)(12) 岡倉古志郎「南北問題とは何か」，エコノミスト，1965年4月号別冊
(13) 厚生省人口問題研究所編「社会開発に関する諸問題―国連資料による分析―」，(5)の資料に付されている。
(14) 現代社会学構座，中野卓編「地域生活の社会学」，有斐閣におさめられている。
(15) 財政学講座，島恭彦，林栄夫編「日本財政の構造」，有斐閣
(16) 野口雄一郎「公害に悩む地域社会―市民よ，もっとおこれ―」，エコノミスト，1963年10月号別冊
(17) 井手敏彦「沼津の公害斗争」「住民と自治」，1964年12月号
(18) (13)の前掲書
(19) 藤岡幹恭「くずれさった岡山広域都市づくり」，エコノミスト，1963年2月5日号
(20) 大内兵衛「日本の財政―ことしの予算」，世界，1965年5月号
(21) 内閣憲法調査会編「憲法調査会報告書」，P529～533
(22) 日経，1964.6.28

開発の態度 —保存と開発に関連して—

奈良女子大学
扇田　信

まえがき

2～3年来，社会開発ということがいわれるようになってきた。とくに，佐藤現内閣が政策目標の1ツとして発表して以来，急にこのことばが，方々できかれるようになった。

前池田内閣の経済成長政策にしたがって，経済的開発，産業面での開発がさかんにおこなわれた。それによって，経済は大いに発展したか，その結果，国民生活の他の面で種々のアンバランスや歪みが生じてきた。社会開発は，それを手直しするものだとする。

たしかに，都市，臨海等の公害問題，交通問題，児童の福祉対策，農村斜陽化の問題等々，とりあげられなければならぬ問題は山積してしいる。また，これらの問題は，当然，論義の焦点となって，多くの人々によってもちだされている。

しかし，ここで1ツ問題にしたいことは，文化的遺産の保全に関することがらである。これも，社会開発の対象となるべき重要課題ではなかろうか。

奈良に住む私は，この問題につよい関心を抱いている。また，昨年来，保存と開発の問題に関連する一連の調査や仕事に席を連ねてきた。この話題を中心に，開発の態度という問題を，私なりに考えてみよう。

保存=開発という見方

文化財を守る結果は，必然的に町がさびれ活気がなくなる。こういう気分が，一般にある。つまり，保存することと，開発することとは，相容れない概念として考えられがちである。

文化財関係の人は，自ら発掘調査をしたり，学術的評価を下したり，学術的関心も深いだけに，何を措いてもこれを守らずんばと考える。

ところが，開発側の人たちは，同じような関心度はもたない。むしろ，新らしい開発計画の実現に，理想をもりこもうとする意欲をもち，ある都市や地域をきりひらいて活気あるものにしようと考える。なかには，それによって大きな利益を得ようとする当事者もいる。開発を勇気づける大義名分は，現実により豊かに生きるための発展ということである。

したがって，古いものをやたらに残そうとすることより，現在の生活を創る——これも歴史的事実ではないか，それに，スピードが大切な開発にとって，保存のための渋滞はかなわないという気持がある。

地元の住民にも，この考え方が，むしろつよい。文化財があると面倒なことが多い。開発は，何か土地に利益をもたらしてくれるだろう。文化財も大切かもしれないが，生活の方もがっと大事だ。

この2ツの考え方は，保存と開発とをあくまで対立するものとして考えている。文化財対開発である。しかし私は，これを文化財保全=開発という線にもっていくべきであるとおもう。

両者の利害は相反しない，また，相反しない方向に開発をもっていくべきである。

考えてみると，開発の立役者のようなものは，工場誘致策である。ひところ，どんな小都市もが，工場誘致に強奔した。だが，その結果はたして，市民は平等の得をえたであろうか。もちろん巨額にもうけた人もある。税収のあがった市町村もある。だが，全国の諸都市で，公害が，おおいかくせない問題になってきたではないか。それに目をつぶってもよいほど，各々市民は利益を得たであろうか。

一方，文化財は，生活にとってそれほど歩にあわぬものであろうか。卑俗な例だが，かりに大仏を持ち去られた奈良を考えてみるとよい，斑鳩に法隆寺が残っていなかったとすればどうだろうか。

奈良には，年間1,000万の観光客が訪れる。彼らのすべてが，御仏や古建築に惹かれてくるのではないが，一介の小都市奈良に，何ゆえかくもあつまるのか，それは奈良が，文化的遺産の集積地であり，すなわち日本人の歴史に由緒ある土地柄だからである。

もちろん，いくら人が訪れても，寺が観光税を出ししぶったり，観光客が素通りで案外金を落さなかったりということはある。しかし，それはやり方がわるいのであって，どこでもそうだというわけではない。

私は，文化財を，観光資源としての面からのみ評価しているのでは，もとよりない。当然それは，利害得失をこえて守るべき国民的遺産ではある。

しかし，開発と保存との調整，あるいは，あえて社会開発という立場から考えるとき，文化財の保全＝開発という観点のあるべきことを，いおうとしているのである。

このことを，重ねて奈良に例をひくならば，保全とは東大寺や法隆寺など既存顕在のものにかぎられない。

たとえば，発掘されつつある平城宮趾，あるいは飛鳥宮趾にしても，限りない学術的価値とともに，大いなる国民の遺産である。これらを生かしながら守ること，これが奈良における開発の姿であるともいえる。もし，現状のままで放っておけば，俗悪な開発の餌食になるか，さもなければ，幸にして国家買収の対象となった平城宮趾のごときは，宝のもちぐされになる。遺産は，等しく国民の眼にふれ，世界の人たちに誇りうるものとする必要がある。この事業は，もとより1地方自治体の力だけでなしうるところではない。まさに，国家的事業としてなすべき社会開発ではあるまいか。

この事業が，立派な社会開発であるべき理由は，単に，文化財の保存ということのみにかかるものではない。

奈良，またとくに，かつてはうらさびれた斑鳥の町が年間800万，200万という訪問客をもつにいたったのは，戦後のことである。

この現象は，単に日本の人口増による自然増というようなものではない。日本人の生活構造のなかで，リクリエーションのもつ比重，その仕方が変貌してきたからである。それは，とくに集中をみせている大都市人口の生活構造の変化に関係がふかい。都市は，ビジネスセンターとしての集約性をつよめ，居住の場，リクリエーションの場は，都市外周辺に，あるいは遠距離地点に，特殊地帯化されつつある。とくに京都，奈良のような地域は大都市周辺としてだけではなく，日本全体の特定地域としての特色をつよくもっている。

都市形態ひいては生活構造の発展が，以上のような方向をたどること，これが，歴史的必然であるとするならば，奈良に代表されるような性格の地域の重要性が，今後ますます増大することは，論をまたない。

現に，この4月下旬の好天の行楽日には，1日15万，あるいは20万とも数えられる人間が，旧市街地わずか7～8万の奈良に訪れた。その結果，現在の奈良公園は，人波と自動車の列であふれ，1ツの飽和段階に達したと，私は見た。この現象は，文化財地域の破壊に通じている。

これを見ても，リクリエーション空間対策の重要性は読みとれるであろう。さらに魅力ある場をつくり出すべきである。他所で真似ることのできない魅力をそなえた場を，奈良は，いたるところに潜在させている。それを掘りだすこと，つくりだすことは，とりもなおさず，開発であり，これこそまさに社会開発ではないか。

総合的な開発の姿勢

計画を総合的な立場からたてなければならぬということは，誰もがいう通り文句になっている。しかし，そういっておけば間違いないというていどのものでは，なくなってきている。それは，ぜひ必要である。都市地域への集中現象，都市と都市との連鎖地帯の形成などは，もはや，一都市のための開発計画ではなく，広域地域，さらに国土全体の計画を必要とする段階をもたらしている。全体の太い骨格におりこまれた，各自の細かい計画でなければ，だめである。

過日，大阪府下の工場適地分布図なるものをみた。それによると，小さな適地が，府下一円にばらまかれている。結局それは，大阪市周辺の各中小都市が，それぞれの都市計画上で，適地と位置づけしたものを，サムアップしたようなものであった。もし，この通りに，工場適地が開発されるなら，大阪府全体は，網の目のような工場網で，はりめぐらされることになるだろう。そういうシステムの都市形態，そのシステムの上で考えられた工業種別の配置ということが，あらかじめ考えられての計画ならともかく，そうでなければ，小都市単位の都市計画の集積は，大きな地域圏を整備することにはならない，むしろその逆となることすらある。

文化財地域の景観破壊に関連して，奈良地区でも同じことが，現実に生じている。過日，奈良の景観破壊状況を調査した際に，法隆寺への主要な観光ルート沿いに立地された工場地域をみた。工場は，すでに建設され操業を開始している。法隆寺を訪れる客は，工場の建物によって，美しい寺と，その背景の丘陵の景観を，さえぎら

れる。工場地帯を通って，法隆寺へおもむく——これは何とも味気ない気分である。

法隆寺は，斑鳥町にある。工場地域は，同町と境を接する大和郡山市のものである。開発されるべき都市として，低開発都市の指定をうけている郡山市は，市の南端に，その適地をとっている。郡山市にとって，この開発は，プラスかもしれないが，斑鳥町，あるいは，法隆寺を訪れる全国の訪問客にとって，それはマイナスである。

この1ツの事例をとっても，総合的な計画にたつ開発の必要性がしれる。このような現象は，さらに切実な生活をはらむ各種の面で，全国各地におこっていることであろう。このような矛盾は，相互の連関性がつよくなり，またその地域の拡がりが大きくなるほど，激化するであろう。

このような立場から，近畿圏整備対策なり，首都圏整備対策は，提出されるにいたったわけだろう。しかし，それも，実施段階になると，はなはだ非力である。

たとえば，奈良一帯は，当然のことながら，近畿圏内で，保全地域と考えられてきた。しかし，それは，種々の圧力におかされてか，近郊整備地域にかえられ，さらには，開発地域への働らきかけもさかんに出ている。

広域な整備計画の方針をたてるためには，充分な考慮が必要であろうが，たてたからには，それを通すだけの明確な態度，そのうらづけ対策が必要である。それが，通せるということは，計画に対する国民の信頼度による。真実，地元民—国民の生活の利益を保障する計画でなければならぬ。

大国の態度

日本は，明治以来，つまさきだった発展の仕方を続けてきた。目前焦眉のものを，ともかく間に合わせ，先進諸国とくつわをならべるという性急な仕事を累積してきた。そういう仕事ぶりが，日本人の性格を，幾分，間にあわせ的なもの，つまり長期計画にむかないものに，したてあげてきたようである。

戦後も20年，世界が目をみはるような復興と躍進ぶりをみせたといわれるが，それも，この手でやってきた面が多分にある。そして，昨今は，それに加えて大国意識が，ある種の人士にはめばえてきた。日本は，何といっても大国である，いやそうでないなどということが，言あげされる。

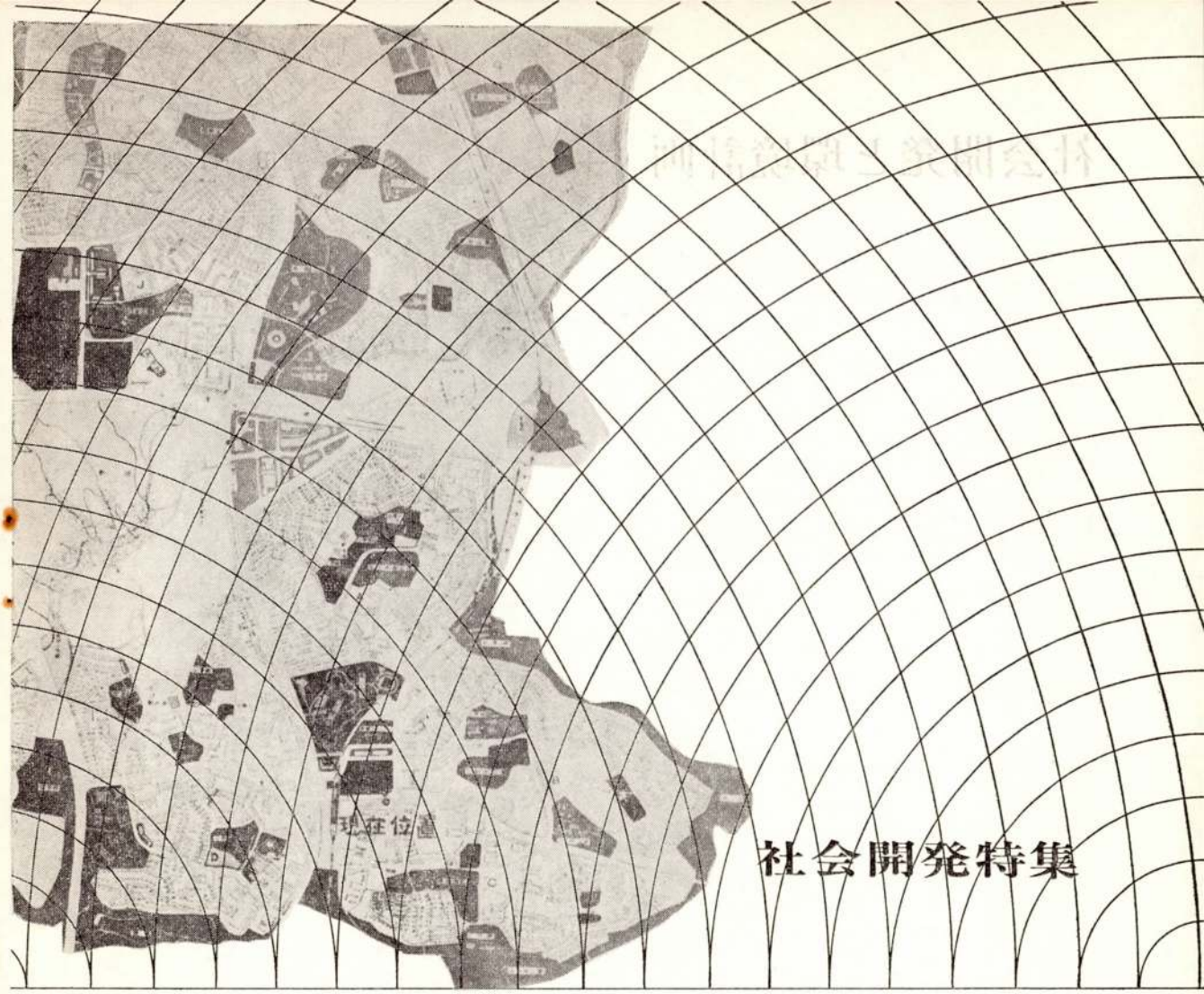
私は，どちらでもよいが，ただ，大国には大国の資格がいる。家でも，大家というものは，鷹揚なものである。国でも，大国の国づくりは，鷹揚さがなければならない。都市づくりの面でも，いわゆる大国のそれをみると，地上の上物だけではなく，その地面の下から，じっくりと都市施設が，整備されている。地上には，豊富な緑地が，われわれの目からすれば，ゆったりととられ，それでもなお少ないといっている。旧い，よいものは，意識的に保存され，悠然とした都市の風格をもっている。猫のひたいのような空地にも，こせこせと利潤追求の建物で埋めつくすというようなことはしない。保存するべきものがあっても，それに金をかける惜しさに，あたら，ほったらかすということは少ない。

大国とは，一見無駄な投資のようにみえるが，経済外の意義という点では，かけがえない重要性をもつ文化的遺産に，必要な経費を投ずる，そういう鷹揚さである。それゆえに大国の風貌がでてくるというものである。大国たらんとするならば，そのような開発の態度が必要であろう。

(1965.4.30)







社会開発特集

2 各論

1 社会開発と環境計画……田村　明
2 地方計画と社会開発……加藤修吉
3 コンビナート開発……谷沢文男
4 社会開発と住宅問題……西山卯三
5 社会開発と厚生施設……三輪泰司
6 都市近郊住宅地と通勤交通……天野光三
7 開発と文化財……浅野　清

社会開発と環境計画

環境開発センター　田村　明

1. 社会開発と環境計画の関連

昨年以降，わが国においても経済開発偏重によるヒズミの是正，人間尊重の政治を標榜する佐藤内閣の施策の一環として，社会開発の推進が大きくとり上げられてきた。その範囲は，公衆衛生，国民体位，住宅，都市計画児童問題，社会保障，教育等々，極めて広範にわたり，概念規定は必ずしも明確ではないが，いずれにせよ，経済開発の進行に伴う国民生活への有害な影響を除去または緩和するために，一層広範な国民福祉の向上を計り，開発の効果をより広い視野から高めようとするものである。

一方環境計画という言葉も，社会開発と同様に充分に慣熟した概念ではない。ここで環境とは，人間が自然に対して自ら創りあげてきた物的世界の総体であると考える。環境計画が問題とされてきたのは，それら個々の物的手段の開発，計画では充分人間にとって効果を発揮するどころか，かえってマイナスを生ずることもある点が認識されてきたため，これら物的計画が総体としての効果をあげるよう，総合性と一貫性が要求されてきたためである。その広さに応じて，国土計画，地域計画，都市計画，農村計画等がある。しかし，もっと狭く，街区の計画や，1区画の計画であっても，それが単なる建築設計や造園設計，道路設計などにとどまらず，総体としての環境計画を立てた上に，個々の施設設計を行なってゆく必要が生じている。

このように社会開発は経済開発によるヒズミをより広い視点から是正するために生れた概念であり，環境計画も，個別の計画，設計による矛盾をより広い視野から一層高度の効果をあげようとするものである。両者ともに，ともすればおちいりやすい一面的な開発や計画を広げて，全体として調和ある発展を計ろうとするものである。したがって社会開発を物的手段として定着させるためには，環境計画の技術がどうしても必要になる。

2. 社会開発への道程

社会開発の概念は周知のように国連における低開発国援助の際，一部に富が偏在することなく，均衡のとれた総合的開発を行うために，社会開発の重視が取上げられてきたのである。しかし欧米先進諸国ではすでに総合施策としての社会開発を具体的に実行しており，とくに新しく取上げられる問題ではない。こうしてみると日本の現時点で社会開発が施策として打出されているのは，その取上げ方に相異があるとはいえ，わが国の後進性を示すものであろう。

明治以来のわが国の開発を大きく次の三つの段階に分けて考えることができる。

第一は，明治以来から今次終戦後にいたるまでの時代で，個別資本の開発の時代である。この時代はあくまでも個々の資本が，それぞれの域内での資本投下，設備の拡充を行なってきた。このため足尾鉱毒事件にみるような典型的な社会的事件をひきおこしたし，一方都市生活においても横山源之助の「日本の下層社会」にみるような種々の矛盾を生じてきたが，それらの解決は恩恵的社会政策として処理されるにとどまってしまった。

この時代において政府の援助により産業資本の成立をみるのであるが，個別資本の効率のみが問題にされ，道路，港湾，用水等の社会資本については，最小必要限にとどまっている。これは資本規模が小さいこと，技術的にも後にみるコンビナートのように相互連繋を要する生産手段の開発が不充分で，個別資本の枠内のみで一応の完結をみていたことにもよる。

第二の段階は，終戦後10年ほど以降今日までの時代である。この時代では個別資本のみの充実によっては総体的な産業の進展が行なわれないとの認識が行なわれてきたためである。海外原材料との積極的利用，用水型大規模産業の膨興，全国的な結合の強化に対応して，港湾，工業用水，道路等が積極的に開発される。この時代に入ると，個別資本の開発のみでは充分な経済進展が行なわれないことが明らかになってきた。個別資本の進展を進めるには，これを支える骨格になる公共投資の必要性とこれの合理的な計画が要求されてきた。この時代は高度経済開発時代と言うことができよう。

第三の時代はこの一，二年のいわゆる社会開発の時代である。単純な資本の利益増加のみを計っているのでは，社会的矛盾が激化してきたため，地域格差の是正，



ソ連ハバロフスク市レーニン広場。美しい広場が町の中央部にあり，広場の伝統はよく生かされている。

住生活の向上，公害防止，社会福祉の増進などが取上げられるようになった。

社会開発は始めヒズミ是正という，経済開発の有害面の除去という消極的な姿勢としてとられるものが，より積極的に社会開発が行なわれなければ，国民福祉の向上や，より高度の経済発展もできないことが理解されてきたからである。高度の経済成長は，質の高い労働力を必要とする。第二の時代において，個別資本による経済開発を，社会資本も含めたより高度の総資本の効率性を上げるべく計画されたように，第三の時代では，資本と労働とを，さらに総体としてむすびつけ，全体としての福祉を向上させることにより，より広義のいみの高度な経済発展を行なわしめるものである。

3. 物的計画の進展——環境計画への道程

このような社会開発にいたる三つの時代に対応した物的計画の世界を考えてみると，第一の時代においては計画，設計は全く個別的であり，与えられた用地の内部での合理性のみが要求される。この時代には一方に大工場や華美な市街地が存在してもその隣にスラムが発生するといった矛盾の多い形態をとる。都市計画法のような総合計画を行なう法律ができながらも，個別的な街路計画程度に終ってしまったのもこの時代である。

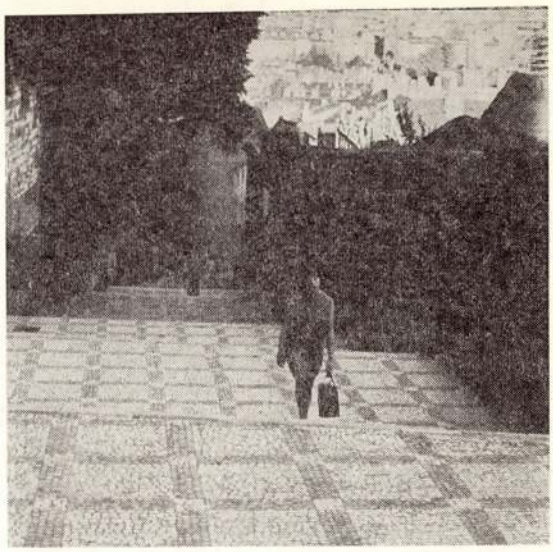
第二の時代には，国土総合開発法の制定のほか，各種の開発計画が，欠陥はあるにせよ，一応総合性を基軸にして生れてきた。道路，鉄道，埋立などの技術は飛躍的に発展する。工業計画を中心に生産環境整備，都市再開発も行なわれ始める。

第三の社会開発の時代は，より総合的な環境計画の要求が生ずる。この時代は個別資本の利益や，単なる経済開発のみでは足らず，よりよい生活環境の造成のための広汎な総合的計画性を必要とする。環境計画は通常，生活環境計画にウエイトをおいて考えられるが，それは環境計画の取りあげられた時代に対応するもので，本来環境計画は，生産生活面を明確に区分することができず，これらを統一した人間生活の充実のためのすべての環境を総合的に計画されねばならないだろう。

ややティピカルに極言することがゆるされるならば，この三つの時代の第一は建築技術の時代であり，第二は土木技術の時代であり，第三は環境計画の時代である。

4. 環境計画のあり方

環境計画を考えるに当って，物的計画と社会生活とは相互にふれあい，影響しあうもので，社会計画，経済計画との関係も考慮する必要があるが，具体的には安全的環境，技能的環境，景観的環境の三つの面から考えられる。安全はおよそ存在にかかわり，技能は繁栄につながる。景観はより人間としての豊さにかかわるものであろう。これら三つを効果的に実現することが環境計画の技術である。



プラハ（チェッコ）の町の一角。モザイック模様の舗石は市民の愛情を感じさせる。

現在までの文明はとかく機能的環境に重きをおきすぎた。繁栄をほこったインダス文明は，多量の煉瓦造成のために周辺の樹木を伐採し，遂に環境の砂漠化をまねいて滅亡した。現代の繁栄が国民所得計算や工業生産高だけで計られるとき，スモッグや水質汚濁，地盤沈下等，遂にはインダス文明と同じ道をたどり，人間の生存を拒否するかもしれないのである。

環境計画の時代には生産や消費の量だけで生活を計ることなく，今まで計量されなかった生活の質を織込み，人間生活の豊さをいずれに求めるかを考えなおしてみる必要がある。真に人間生活を充実させるものが何であるかは今後の重要な課題であり，それなくしてはすべての計画はその目標を失ってしまうであろう。

ヨーロッパの諸都市は教会と広場によって代表されているが，それは人間生活に一つの方向を与え，また人々自らの手で環境を作りあげてゆく場を所有していた。町のすみずみまで，市民の手と愛情がこめられ，花壇や舗石の一つにいたるまで生活の豊さを築こうとする意欲が表われている。そのようなこまやかな配慮は現在までも大きな遺産となって残っているのである。このような伝統と蓄積を欠いた日本では，今始めて環境計画の必要性をむしろ他動的に強制されたのである。

環境計画は社会開発の時代に対応するといった。しかし社会開発が人間を生産の道具として見るのみである場合は，環境計画も充分満足には進められないだろう。人間それ自体の価値の再認識を行なう人間革命の時代に，環境計画はさらに新たな意義を加えてくると考えられる。

地方計画と社会開発

大阪府企画部参事
加　藤　修　吉

地方計画は，経済計画と，社会計画とを，二本の柱とする。しかしその重点が経済計画におかれ，優秀企業の誘致による生産所得の上昇を目的として，経済成長さえ達成できれば，社会は自ら進歩するとする思想がリードしたことは否むことができない。日本経済の高度成長政策の地方的な投影であり，企業の積極的な経営意欲と，各地方の受入態勢が今日の繁栄をもたらしたのである。しかし大企業を中心とする成長政策は，反面に種々の弊害を生じさせ，地域住民の生活をかえって圧迫する。企業の利益が優先して，住民の福祉がその犠牲になる現象が諸所におこるにおよんで，「ひずみ是正」「社会開発」の語が，にわかにクローズアップしてきた。

地方計画が府県の行政を組織的，計画的に推進するためのマスタープランであるとするならば，地方計画は当然社会開発政策を大巾にとり入れた社会計画を持たなければならない。現在，社会開発の定義として，「経済開発の進行に併行して，国民生活への有害な障害を除去，または緩和するために全国的規模において，保健衛生，住宅，労働，または雇用問題，教育，社会保障に関する社会的サービスを発展させること」があり，しかも社会の病理的現象に対する治療から予防へ，施策の対象も特定社会層から，一国全人口への傾向が明らかであるといわれている。ここで問題は経済開発はぜひ強力に進行しなければ，社会開発自体がなりたたないということと，高度成長政策が，国家的政策であったように，社会開発もまた，全国的規模でとりあげられる要があると，いうことである。それから社会開発は直接人間の能力と福祉の向上をはかろうとするものであり，従来の人間観の変革を要求するものであることである。

1. 低所得者対策は従来，母子対策，身体障害者対策，精神薄弱者対策，老人対策などの，個人の対策の中で考えられてきたが，低所得者全体に対して総合的施策が考えられなければならない。

2. 年々増加の一途をたどっている成人病について，その予防や治療態勢を，早急に整備する要がある。

3. し尿，ごみ処理施設，下水道の不足が著しい。生活環境施設の整備は非常にたちおくれている。

4. 交通事故，産業事故の増大にもかかわらず，救急医療施設の整備は遅々としている。

5. 若年労働力，技能労働力の適正な配置，中高年令層の就業対策をどうすべきか。

6. 中小企業の近代化は順調に進んでいるか。脱落企業に対する基本的政策をどう整備するか。

7. 農業の後継者は急減している。明日の農業の基本的方向如何。

8. 一世帯一住宅から質の向上への転換期にどう処したらよいか。

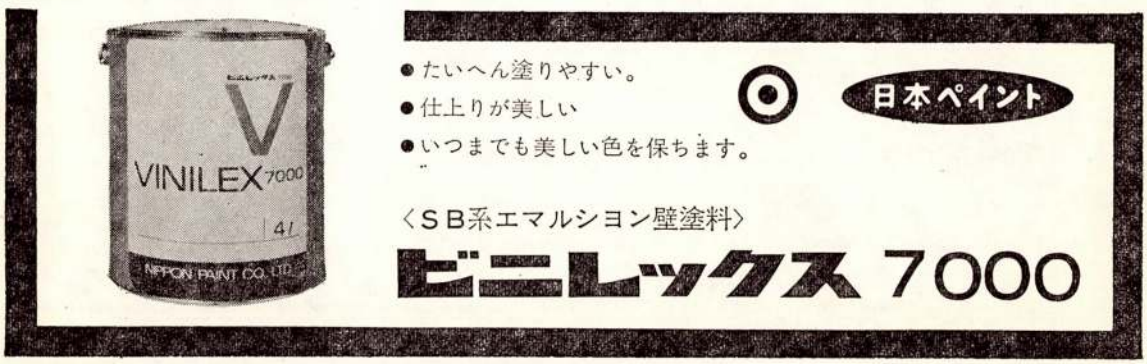
9. 土地利用計画が，計画通り実行される担保をどのような手段に求めればよいか。

以上あまり体系的でない単なる列記に終っているが，何れも，社会開発に密接に関連した問題である。それぞれ問題意識をもって，その解決策を早急に見出す要がある。しかしこれが政策の成否如何はかかって国の態度にあることが多い。

1. 低所得階層の定義をきめて，その対策は全国一率に行ない，府県単独の附加的な給付はなるべく避けるのが妥当であろう。

2. がんの予防と発見に，優秀な施設を全国網ら的に設置するには，国の強力な指導を要する。

3. 生活環境処理施設の整備は火急を要する。要は国の



補助率や，地方債の割合が，地方団体の事業意欲に水をさす結果にならないことである。

4. 救急病院に指定されることを必ずしも喜ばない地方病院の実態をよく調査し，必要最少限度の救急病院を早急に整備する要がある。

5. 若年労働力や技能労働力の争奪を傍観することなく，実行性のある労働力需給計画を，国が樹立すべきである。

6. 中小企業の転廃業対策もまた火急に迫られている問題ということができる。中小企業近代化促進法第10条だけでは隔靴掻痒である。

7. 農業構造改善事業だけでは農業の変質過程に処することはできない。

8. 土地の値上りで，与えられた公営住宅戸数の建設枠がこなせない団体がある。他面，いわゆる文化住宅はおそるべき勢いで建っている。

9. 各府県の地方計画に，土地利用現況図はあっても，土地利用計画図は，画くこと自体無意味な部分が，徐々にふえている。計画を実効ある計画たらしめるために，土地制度の抜本的な改正を要する。

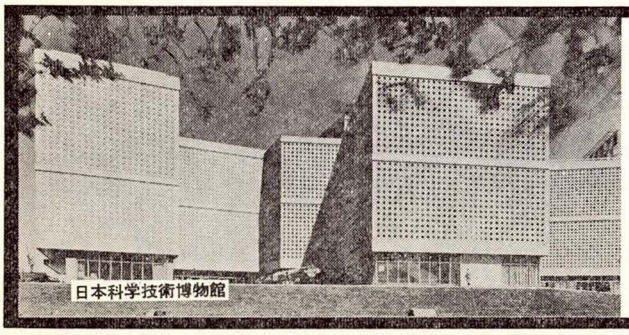
「ひずみ是正」も，「社会開発」も，日本経済の高度成長の所産であり，生産第一主義の反省でもある。日本経済の高度成長は過密の弊害と，地域差の拡大とをもたらしたが，さらに戦後の年令構造の変化が，これに拍車をかけている。その解決策として，まず，新産業都市の建設に手がそめられ，ついで大都市の再開発が検討されている。新産業都市の建設によって民間企業が，進んで定地するに至るまでは，地元当事者の並ならぬ苦労と，多額の公共投資が，投入されなければならないが，そのような努力の成果は，地元から大都市への人口流出を抑制する作用よりも，むしろ，その拠点と，拠点をとりまく周辺との格差を，一層明確にする可能性が多いと思われる。地方の地域差醸成の拠点となることは，少なくとも新産業都市建設の当初の意図に反するかも知れないが結果はおそらくそのようになるであろう。大都市の再開発も，法制の抜本的な整備とともに，莫大な公共投資，それと長い時間が前提となる。法制の整備が遅れ，公共投資が縮減されれば，一層長い時間を要することになるであろう。それが成功したとしても，大都市の人口吸引力は，さらに強力なものとなりかねない。日本経済の高度成長を維持するために，過密の是正や，地域差の縮少は必要な条件であるが，その処方箋として，新産業都市の建設や，大都市の再開発は十分なものであるとはいい難い。

日本経済の高度成長が，もたらした社会変動の主なものは，人口の地域間移動をはじめとして，職業間の移動，就業構造や，家族構成の変化となってあらわれており，変動の原因とその態様を的確に把握することは，容易ではないが，その中から，過密や，地域差に対する，より有効な施策が樹立されるのではないかと思われる。

以上を簡単に要約すれば，次の二点になるであろう。

1. 地方計画の中に占める社会計画の位置は，ますます重要性を加えるであろうが，社会開発はその本質上全国的な性格が強いから，その立案や，立案に至るまでのアイディア段階はともかく，その実施は全国的に行なわなければ，著しい不公平を生ずる。

2. 大都市の過密の是正や地域間の格差の縮少に対する施策として，大都市兼開発や新産業都市の建設は，同時に別な施策が講ぜられなければ，所期の目的達成は困難となるかも知れない。



●特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
●建造物の外壁面に!!陶器の壁紙
セラクロス
山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL (322)4851～4
東京出張所・東京都中野区朝日ケ丘12　TEL (372) 7667
工　　場・瀬戸市大字山口字南山138　TEL 瀬戸 8847

コンビナート開発

三重県四日市市役所・市長公室長　谷沢文男

1. はじめに

戦後，わが国産業経済の発展はめざましく，太平洋ベルト地帯には幾多の新しい臨海工業地帯が誕生してきたが，これらの工業地帯に共通していえることは，それぞれがコンビナートとしての形態をとって発展していることである。

工場規模の巨大化と，新しい技術の導入はコンビナートの形成に拍車をかけた。千葉，川崎、名古屋南部，四日市，堺，水島，徳山，鶴崎等々には，石油化学，製鉄，電力等のコンビナートが建設され，ますます大きく成長発展をつづける一方，新産都市あるいは工業整備特別地域に指定された地区等でもその多くは，コンビナート立地のための土地造成が盛んである。

しかし，こうした華々しい経済成長のかげに暗い面を投げかけたのは，深刻な社会問題となってきた産業公害の被害である。

石油化学による大規模コンビナートの先端をきった四日市市は，また公害の町としても有名になり，工業開発を進めてきたわが国の産業に新たな波紋を投じたのである。ここでは四日市市がどのようにしてかくも深刻な事態に直面したのかを概説したい。

2. 四日市石油化学コンビナートの形成

四日市市の産業発展の経緯を考えるとき，それを三つの大きな時代に分けて論ずるのが便利である。

第１の時期は，昭和初期までの商港を中心とした交通上の都市であった時期であり，第２は，昭和20年までの工業誘致による工業化の進展と臨海部に旧海軍燃料廠が建設され，10年を出ずして工業都市として成長し，戦災によって一夜にして壊滅するまでの時期である。

第３は，昭和30年８月，燃料廠跡地が民間会社へ払下げられ，石油化学工業都市としての第一歩を踏み出し，今日の一大工業都市に発展して来た時期である。焦土と化したまま，10年間放置されていた60万坪におよぶ燃料廠跡地には，昭和石油がイギリスのシェル石油，三菱グループと提携して設立した昭和四日市石油をはじめ，三菱油化，三菱化成，三菱モンサント化成，東海瓦斯化成等の工場が相次いで進出し，広大な敷地を有した燃料廠跡地周辺は，わずか数年にして埋めつくされたのである。当時は，おりしも神武景気はなやかな頃でもあり，四日市への企業進出は激しく，昭和35年，塩浜の市街地を挟んで西方の田園地帯に政府出資による日本合成ゴム工場が立地するや，これに端を発したかのごとく，三菱油化がそれに隣接して第二工場としての川尻分工場を建設し，北側には味の素，松下電工，三菱江戸川化学，油化バーディッシェ，日本ブタノール等，各種の化学工場が進出してきた。

さらにこれら市南部一帯のコンビナートに対して，市北部の午起(うまおこし)地区20万坪の埋立造成地には，旧来からの大協石油と，大協和石油化学および重油専焼による最新設備を誇る中部電力四日市火力発電所の３社が進出し，いわゆる北部コンビナートを形成し，名実共にわが国随一の石油化学工業都市として，名古屋市と共に中京工業地帯の中核にまで発展したのである。

企業誘致条例等の誘致策を講ずることなく，これ程までに企業進出を促進させた直接のキッカケは燃料廠跡地の活用であるが，間接的な要因として忘れることのできないのは立地条件の優位性であろう。

特定重要港湾四日市港を有し，臨海部にはまったく平坦な伊勢平野が展開され，名古屋市という大消費地を背後に控えた四日市市は，すでにそれだけで工場進出を誘発するに十分な要素を備えていたのである。

3. 産業公害の発生

すばらしい勢いで発展をはじめた四日市石油化学コンビナートは，それまで絶対的な地位を保っていた繊維工業にとってかわり，昭和39年度においては，工業生産出荷額等総額2,274億円のうち，その57%にあたる1,301億円を石油化学工業で占めるまでに成長した。

それにつれて名四国道をはじめとする一連の産業道路も次第に建設され，大阪と名古屋を最短距離で結び，四日市の内陸部を名神高速道路なみの高速道路で縦貫する名阪国道の建設も具体化してきた。また工場進出に伴って人口も漸増し，大住宅団地が続々造成され，市街地には高層建築が建ち並び次第に活気があふれてきた。

ところがここに一つの落し穴があったのである。すなわち，新しい技術が導入され、近代工業が展開されるにつれて公害問題が台頭し，いわゆる「四日市ぜんそく」の汚名と共に、ますますその様相が複雑になってきたからである。

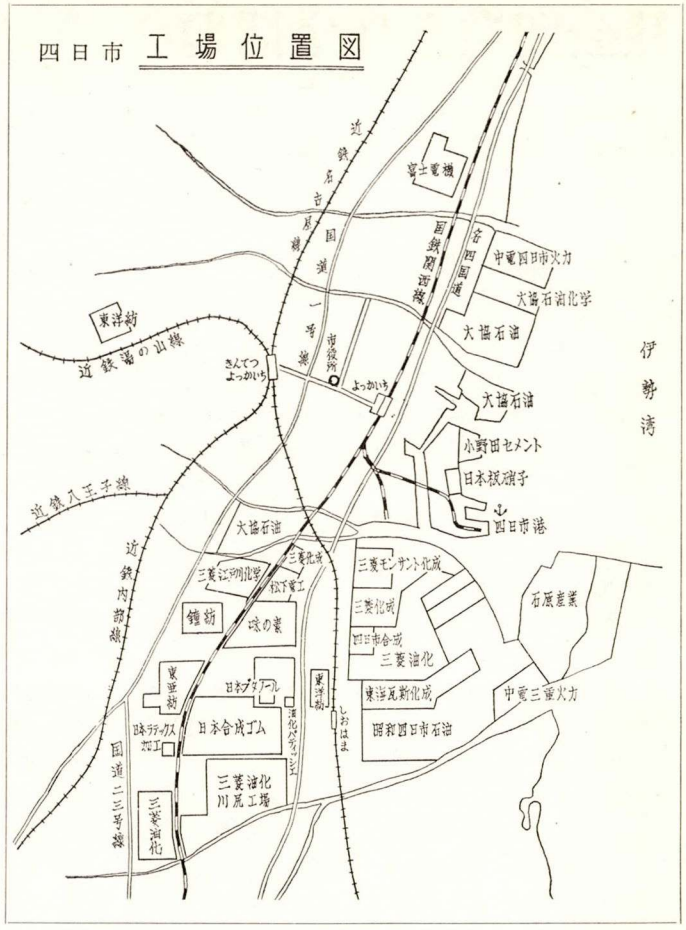
なぜ四日市市がこのような問題に直面しなければならなかったかについては，いろいろと論じられているところであるが要約すれば次の３点をあげることができる。

第１は，消費燃料の中で，石油系燃料の占める割合が

他の工業地帯に比して非常に高い上，硫黄含有率の高い中近東原油を用いるため，燃焼によって大量の亜硫酸ガスが発生するからである。

第2は，合理的な都市計画がなされなかった点である。相次いで建設されたコンビナート関連工場は，立地条件の優位性と安価な土地を求めて臨海部から周辺農地にまで進出し，従来の田園都市は急激に工業都市へと容相を変ぼうしたため，工場と工場の間に住宅，学校が取残され，公園緑地等の施設整備が十分でないままに，次々に操業に入り，都市計画は工場進出の後を追う格好になってしまったからである。

第3は，地形と気象条件によるものである。わが国では一般に，冬季は北西風，夏季には南東風の季節風が吹くが，本市においては，市の南東部にコンビナートが立地したため，夏には市街地に向って汚染ガスが吹きつけられ，冬にはコンビナートの南東方にある磯津という漁村が風下になり，多大の被害をこうむるのである。



4. 公害・災害防止対策

石油コンビナートがこのように発展してくると，公害だけでなく，工場災害の際には，近接した民家もそれに巻き込まれる危険が出てきた。4～5万トンを収容する巨大なタンクが林立し，フレアスタックから真紅の炎がたえず無気味な音をたてて燃えつづけ，地下には民家の軒先を通って可燃性のガス等を送るパイプが埋められているのである。

これに対して各工場では，公害や災害から住民を守るため，多額の費用を投入して亜硫酸ガスの除去装置を取付けたり，煙突を100～120mまで高くして拡散効果を高め，昭和40年度からは，厚生，通産両省の共管により公害防止事業団も発足することになった。

また三重県と共同で行なった産業公害対策調査では，工場と住宅とを分離させるための緩衝緑地を二重に確保するという構想も提案されており，公害防止対策も漸く軌道に乗り始めた。しかしこれらは皆，公害が発生してしまった後の事後処理であり，どうしても付け焼刃的な結果に終りがちである。

現在四日市市では，抜本的な解決策としては，住宅移転を中心とした大規模な都市改造事業の実施以外にないと考え，政府をはじめ関係当局の協力を得て，この前代未聞の大事業の実施方策を検討している。だが，これにはもちろん莫大な費用が投入されなければならないし，一県一市の力ではどうにもならない難事である。

狭い国土に住むわれわれとしては，米国のように広大な土地を獲得することは至難である。しかし，狭いながらも合理的なレイアウトと，近代的な設備改善を事前に実施すれば，公・災害の防止は決して不可能ではないであろう。その意味で，四日市が直面したこの問題は，日本の新しい工業発展のための一つのエポックとなり，生きた教訓となったといえよう。

5. むすび

先ごろ，三島市では公害を理由にした住民の反対で，石油化学コンビナートの建設計画を放棄した。これの是非はともかくとして，現代の日本の工業の前近代性を暴露した典在的な例である。

佐藤首相により，力強く提唱された「社会開発」政策を推進していくためには，政府あるいは自治体一人の力ではとうてい実現することはできないのであり，企業，住民のそれにしっかりと結びついた相互協力があってはじめて可能となるのである。産業公害は，経済成長のために避けられ難い現象であるというあきらめムードは，決して介入させてはならないのである。

社会開発と住宅問題

工博・京大教授
西山　卯三

1

私は，最近，「社会開発」というコトバが政治家のキャッチ・フレーズとしてしばしば用いられるのをにがにがしく思っている。特にそれに「住宅問題」が結びつけられ，「社会開発と住宅問題」などという文脈でつかわれるとなると，やる気がないのにただ言葉の面（ツラ）だけで人をだましこむのではないかと思われて，それを論ずることさえ彼らの手にのるような感じで，イヤなのである。だから編集からの原稿依頼はおことわりした。にもかかわらず催促をうけたので，この問題の周辺で考えていることを一筆ものした。

無論私は「社会開発」そのものにケチをつけようなどとは思っていない。国連あたりで最初につかわれだしたこのコトバは，最少の手段で最大の効果を追求する経済的合理性，生産の向上といったことに主眼をおく「経済開発」に対して「福祉」という人間的な論理を軸におくものだといわれる。その内容は，国際的には人口・住宅・生活環境・保健・教育・労働と雇傭・社会保障・社会福祉と社会防衛といったものがあげられている。もっとも，そういったものを無視した「経済」の発展が果して本当の「経済的開発」であるかどうかという点は問題であるが，ここにいう経済とは現実には利潤を追求することでうごかされている資本主義的な経済であるから，そういう社会的なものの充足がとりのこされてしまうことになるのであろう。国際的には後進国の問題として多くとりあげられるのも，資本主義的搾取の国際的なあらわれである植民地搾取の矛盾がそれらの国に多くあらわれてくるからで，資本による労働者の抑圧だとか，帝国主義による植民地支配といった根本の問題をややボヤかした「国連」的ニュアンスのもとにとりあげられる問題といってもいいのではなかろうか。

生産第一，経済の合理性追求一点ばりの——実は，国民の生活を犠牲にした内外独占資本の利潤追求一点ばりの——高度経済成長がようやく明らかにしてきたさまざまな矛盾，道路や水といった産業の直接的基盤のたちおくれはもとより，住宅や下水といった生活環境整備のたちおくれ，その結果生じている公害や生活環境の悪化といったものが，「経済」そのものをおびやかすようになった最近，この問題がわが国でも大きく意識されるようになってきた。産業基盤，さらに社会的基盤の整備といったことがどうにもほっておけなくなってきたのである。これを何か派手な，積極的な仕事のように描き出してみるのが「社会開発」というコトバのように思える。そのなかには「住宅」も入っている。そこで「社会開発」に結びつけて「住宅」を論じてみては——ということになるのかもしれないが，果してそのような発想で現在の住宅問題はとらえられるものなのだろうか。

2

「住宅」の問題は，道路その他の産業基盤と同じく，いやそれ以上に，戦前においては富国強兵政策のもとに現在ではいわゆる開放経済に向う高度経済成長政策によって，低賃金と収奪，国民生活の極度の切つめという形で発展させられてきたわが国の経済的・社会的構造のなかで，しいたげられなおざりにされてきたものであり，いまそれが急にいろいろな形であらわになってきたというにすぎない。住宅問題は，その過去の放置の蓄積が，爆発的に公害や交通マヒ，災害，生活環境と都市構造のすくいがたい悪化とゆきづまりとでオーバーラップした形であらわれてきているのである。それは決して後進国的ニュアンスの「社会開発」などといった調子で解決できるものではなく，まず何よりも資本主義社会体制に必然的につきものである「住宅問題」をどういうふうに処理するのか，第2に高度の工業化されたわが国で，その国づくり・都市づくりのなかでそれをどう位置づけて解決していくのか——という問題として，意識されねばならない。

元来「住宅問題」とは，資本が労働者をやっと生存をつづける最低の生活条件において，搾取することで発展してきたこの社会で，彼らの生活のまづしさのために，彼らの住宅が資本主義社会の入れものである都市の構成物としてゆるすことのできないほど，風紀上・保安上，そして労働力保持上，劣悪なものになってきたことに対して，彼らの生活全体をよくすることはさておいて，住宅だけに限った金のかからないテコ入れをするために取あげられてきたものだといってよい。

不良住宅地区の改良は，本当はその居住者たちが喜んでいい住宅のために金を出せるよう，その所得や教育の水準をあげればいいのであるが，そうするとたくさん金がいるので，もっと割安の方法として，ほっておけば彼

ら自信がえらぶであろうものよりよい住宅をつくってすまわせる——という住宅の質的対策の典型であった。現在おこなわれている住宅不足に対するいろいろな住宅供給対策も，勤労大衆に健康にして文化的な住宅をつくれるだけの所得を保障すればいいのだが，それは資本にとって面白くないので，相対的に低賃金におさえておいて住宅だけを何か特殊な援助をあたえて割安で得やすくさせようという所を出発点としている。もっとも，その供給量が需要量に見あっておれば，一応まっとうな「住宅対策」ともいえるのだが，日本の現状はその点は全く駄目である。階層別対策とかいって，自分で家をたてられるものには金を貸す，収入階層に対応して公団，公営第1種，第2種といった補助率，したがって家賃の料率がちがう住宅が供給されているが，総体としてその数が雀の涙ほどで，そのためこの恩典（？）に浴する人は「宝くじ」的幸運者であり，一旦入居すると条件がかわってもしがみつかねばならない状況，しかも相対的に低収入層対策は需要に比して著しく不足し，しかも立地条件の制約から最も住宅難に苦しめられている都市の下層住民の救いとなっていない。現行の住宅政策は本当の住宅政策ではなくて，住宅政策をやっていますという「看板の住宅政策」にすぎない。

3

このような，当然行なうべき対策に手をぬいてきたことの蓄積が，住宅難・住宅問題の現状をつくりだしているのである。

今日，日本の勤労者の大部分は，その収入の一割を一生かかって貯蓄しつづけても，自分の住宅はつくれないといわれている。住宅を供給するということは個人の力をこえた，公共の，総資本の責任にかかっている問題である。ところが，住宅供給のための公的援助はさきにのべたように全く焼石に水である。こういう状況のもとにどうしても住宅がほしいという切実な要求にこたえて，住宅供給に大きな役割を果しつつある最近の民間貸家建築をみるがよい。全くヒドイものだ。その典型は2階建木造，外廊下型のアパート。

チョット見は，新建材をつかっているからよいようだが，上下隣どうし音はつつぬけ，低湿地でも崖地でも，環境や立地条件は問題でなく，しかも窓と窓とが手をつなげるくらい建てつまって陽当りなどない。集団ケージと同じ，昔の棟割長屋より2階建になっているだけ悪質である。火事になるとハダカで焼け出される。マゴマゴしてると一命をおとす。いや，下階のガス心中に2階の夫婦がまきぞえという事件（大阪，65年4月25日）もでてくる。新築竣工した瞬間から「住宅難」住宅であるようなせまさ，その上高い家賃，敷金，お礼金。こういったものが都市の周辺をうずめて建ちならんでいく。これは全く憲法にいう「健康にして文化的な」生活とは全く縁もゆかりもない国土の汚損的開発であり，無効投資である。

そういうものがドンドンひろがっていくことを制禦できずに，一体どのような「開発」をわれわれがやれるというのか。「社会開発」などといって，何かすばらしい「開発」ができそうな幻想をもたせ，1回選挙につかったらしまいというようなしろものは，御免こうむりたいと思う。

4

私は，キャッチフレーズ的「開発」よりも，地道に手をうたねばならぬことが，住宅問題にも山ほどあるといいたい。それを忘れたスタンドプレー的演技はもう結構である。

20世紀の最後の⅓期に突入しようとしている人類文明は，「都市」をどうつくるかという大きな課題に直面している。なかでも日本は，せまい全国土をほとんど都市のように「精巧」につくっていかなければならぬ国だ。その日本人が，日本を人間らしく住む国にする問題を現在本当に自覚しているのかと，私は特に政治家や権力をもっている人たちにききたい。もっとも，東洋人を虫ケラのように殺リクすることが「自由」のためだとかいっている連中にシッポをふったり，日本を核戦争の危機にみちびくことに平気な政策をすすめているような人たちとすれば，こんなことをいっても通じないかもしれないが，日本国民の大多数はそうは考えていないだろう。とすれば，もう少し真面目に，日本の国を，住宅問題をどうするか，「開発」を考える前に問題にしてみたい。

資本主義の発展の過程で19世紀に住宅問題がおきてきたとき，それは労働者階級の悲惨な住居状態という形で最初注目されてきた。そのひどい住宅をよくするため最

初に考えられた方法は，悪い建築を建てさせないようにする「建築法」であった。住宅を慈善的に建てたり，あるいはのちに公共団体や国が住宅供給をはじめるようになったが，それよりも前にまず悪いものがつくられることの息の根をとめることが第一着手であった。これは当然のことである。それによって建築の質，住宅の質の最低限度が確保され，それ以上わるいものの出現がくいとめられた。もっとも，何がわるいか，その制限の条件は簡単ではない。社会の発展，情勢の変化によってもかわってくる。生命財産の安全をおびやかす最低の保安的構造条件，生命と生活をおびやかす保健的条件が最初とりあげられた。それは個々の住宅・建物の条件・いわゆる単体規定のほかに，環境条件を形づくる集団規定をもふくんでいた。1919年につくられたわが国の市街地建築物法，そのながれをくんで戦後制定された建築基準法は，このような意義をもつ法律である。

建築・住宅に最低の条件をつくることによって，それは住宅の質的向上を結集し，それが労働力の再生産費，資金の上昇にはねかえってくる。しかしこれは社会を維持していくための必要な出費である。むしろ資本家にとっては，労働力の再生産がおびやかされないような最低の必要条件を互にせりあうことなく保護されるのであるから，有利である。この意味で建築法は能率のよい資本家的法律であり，また住宅政策の基本的な一環である。もっともこの最低限の決定にはつねに対立論争が存在した。わが国の建築物法が，かつて富国強兵的・民族耐乏論理で「低い民度」に適合するため，たとえば防火構造の採用，居住制限といった点できわめて無策であったのは人もしる通りである。それはまた生活技術と社会構造の発展によってその内容の変改を要求される。将来，国土と生活の都市化に対応して，都市づくりのヴィジョンと関連した規制がますます重要な位置をしめてくることは，たやすく予想されるであろう。

5

ところで戦前は，この建築法が，強大な天皇制的警察権力と結びついて施行されていたが，戦後はそのような権力との結びつきを失った。「その結果……」といわれるが，戦後の建築基準法の建築規制力がいちぢるしくよわめられた。国民に強要されている貧しさはそれを無視することを促し，ここにも二重構造的矛盾が発展した。国民の生活に直結する，「経済」からもっともみはなされた所に，つまり住宅に，基準を割った，建築とはいえぬ建築，住宅とはいえぬ住宅がドンドン建てられるようになった。今日，地価の値上りした都市で，法律に規定されている建蔽率の制限をまもるなどということはバカバカしいことだとされている。その結果地価はますますあがり，それがまた一層法規を無視した建てつまりをひきおこしている。建蔽率ばかりではない。危険構造物，道や下水のない所にも建築はたっていく。いずれも人間の住むに適しないものである。建てられた以上，その環境整備が結局公共の負担となり，国民大衆の税金の非効率的な出費で修正がなされる場合もあるが，しかし修正のきかないものは結局のところ住み手に日常的不便・不利や，破滅的な災害をあたえ，社会にもはかりしれぬ損害をもたらし，その解決を将来に大きな負債として蓄積しつつあるのである。

役人がたりなくて監視ができない。みつけても責任の所在がハッキリしない。処罰しにくい。たまたま処罰できても，はじめからその気でいれば，それは経済的に苦にならない。まして処罰したからといって建物がなくなるわけではない。その使用がとめられるわけでもない。結局，建物の最低条件を確保するということが現実にできなくなっている。これでは，都市がスラム街でおおいつくされていくことを手をこまぬいてみているより他はない。

この事態をストップさせること，これが最初の出発点ではないか。

建築基準法を根本的に再検討し，高度の都市づくりの手段として質を高めることも必要だが，それが現実に実施されるよう，パトロールを強化し，違反を摘発するだけでなく，その使用を防止し，取こわしをふくむ適正建築への改造を必らず実施させるものまでにせねばならない。また，たとえば住宅については，全国共通の合格確認証を定めてあらゆる点から質の保証されたものを確認して表示し，事情のわからない国民大衆の住生活を保護する方法が講ぜられるべきである。

以上のべたことは，ほんの一項にすぎないが，「社会開発」といったスローガンだけでキレイごとをいうのではなく，この辺から，国民の生活を守る手をうっていってもらいたい。こうした基礎的な対策を実行する能力もなくて「開発」などとはおこがましい——と，私はいいたい。

—65.5.1.—

社会開発と厚生施設

京都建築事務所　三輪泰司

はじめに

地域開発の構想は地域経済と住民生活の発展を目標に掲げて，新産業都市建設，近畿圏基本整備計画などの形で，具体的に国民の前に表われてまいりました。ここでも「経済開発とバランスのとれた社会開発」が強調されています。

地域住民の福祉厚生の増進とそのための諸施設の充実整備といったことが注目されるようになったのは，まことにけっこうなことです。

福祉厚生施設の構想は何も目新しいものではなく，何世紀も昔，すでに平城平安京の時代からあります。ただ歴史はこのような施設に２つの意味があることを教えています。ひとつは人間社会の発展のために民衆が要求しつくり出したもの，他のひとつはその時代の矛盾を糊塗するための政策の手段としての意味です。

福祉厚生施設は，やはり文字通り，地域住民のための施設です。「社会開発」に福祉厚生施設の充実が期待できるのでしょうか。あるいはどういうふうに構想したらよいのでしょうか。そうした観点から「社会開発」の政策と福祉厚生施設の現実とあり方を考えてみたいと思います。

1. 福祉厚生施設のための施策とその現実

1. まず，すでに実行されている「社会開発」の施策が実際に国民の必要にうまくこたえているか，一例を，厚生年金の還元融資を中心とした建設資金への政策的な援助といった面からみてゆきたいと思います。

2. 国民の福祉厚生のための施設への国や地方の融資制度としては，「年金福祉事業団」の他に「雇用促進事業団」，「医療金融公庫」，「社会福祉事業振興会」，「中小企業高度化融資」等々いろいろ行われており，その融資枠は年々ふえています。（表１）

表1　年度別融資枠

	年金福祉事業団	雇用促進事業団
昭和37年度	１５０億円	２０億円
38	２００〃	４０〃
39	２６６〃	６０〃
40	３７０〃	８０〃

3.「年金福祉事業団」は第39国会の立法でつくられた特別法人で，大蔵省資金運用部に組入れられている厚生年金保険や国民年金の積立金の一部を被保険者，つまり国民のための福祉厚生施設の建設や整備のために還元融資するための機関です。（表２参照）

表2　昭和39年度年金福祉事業団，融資内訳

対象施設		金額
住宅	社宅，寄宿舎	１５２億円
療養施設	病院，診療所，医員宿舎，看護婦宿舎，看護婦養成所	８０〃
厚生施設	保養所，休養所，体育館，運動場，教養文化施設，給食施設，老人施設，身体障害者施設，母子，児童施設	３４〃
合計		２６６億円

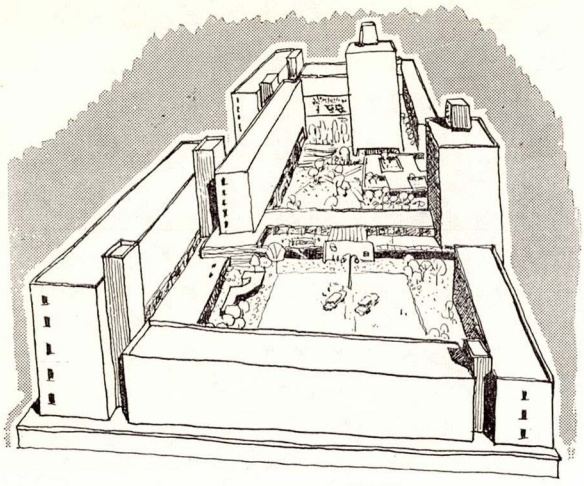
4. 厚生年金保険は昭和17年に創設されてから20年以上になります。国民年金は昭和36年から保険料の徴収が始まっています。ともにまだ本格的な給付は行なわれていません。昭和37年の決算結果によりますと，保険料収入は各種保険，共済組合あわせて2,174億円になっています。まだ支給が本格的でないので，剰余金はたまる一方で，積立額は昭和37年末で9,372億円に達しています。

5. このぼう大な積立金をどのようにつかうかということは創設以来の問題でしたが，戦争目的の遂行ということで大蔵省預金部に入り国民生活と全くはなれたつかわれ方をしていたことは，周知の通りです。昭和21年預金部は資金運用部と名前をかえましたが，この積立金は開発銀行，輸出入銀行，地方債などを通じてやはり国民の「厚生」とははなれたところへいっていました。

6. 政府の財政投融資計画の源資のうち，資金運用部資金は半分を占めています。この資金には厚生年金の他，郵便貯金など90%までが国民大衆からのお金です。これらのお金が大企業にふり向けられて，戦後の経済復興，経済開発，高度成長をもたらす財政的な支えのひとつであったわけです。その結果，国民生活と社会環境に「ひずみ」をもたらしたというわけです。

7. こうして昭和36年にはじめて拠出者大衆の福祉厚生のためにも還元するということで，毎年度，積立金増加額の25%が還元額として定められました。「社会開発」の構想が本格的にとりあげられ物的資本と人的資本のソーシャルバランス，産業基盤と生活環境基盤のバランスの回復といったことが，問題意識に上ってきた頃と一致します。

8. はじめは年金福祉公庫の構想があったのですが，結



医療従業員のための住宅団地（京都建築事務所案）

局，事業団という小型のものでしかも資金はすべて政府の計画によってきまり自己資金もなく，民間資金の導入もできない形になっています。大体国民の積立金を政府が国会のうち外で自由につかえるようにしておくというのも妙なことですが，百歩ゆづって，全体的な施策の立場から政府が福祉厚生施設のコントロールをしようとするのはそれ自体けっこうなことですが，それなら実際に全国民的な立場からみてうまくコントロールされているかが問題となります。

9. 融資対象者には中小企業主，各種の協同組合，健保組合の他，社会福祉法人，労働組合などまであげられています。貸付業務は金融機関に委託されていますが，それら代理店としてはみずからの危険をおかしてまで「必要」に応ずるわけにはゆきません。むしろ貸倒れの心配のない確実な貸付対象者をえらび，代理業務の幅を拡げ，預金高の増加をはかった方がよいわけです。いきおい融資にあたっては選別が行なわれます。

10. その結果，もっとも要求のある，また格差是正の必要な企業や福祉法人は，そこに働く人やそれを利用する人々ごと，この資金の恩恵にあづかれないわけです。小規模事業主や，福祉法人への貸付条件の優遇も役立ちませんし，これでは「社会開発」の施策が逆に格差を大きくし，零細企業や，貧しい福祉施設をきびしい経済条件の中で分解，零落させ，「社会開発」をみずから裏切ってゆくことになります。

11. 同じようなことは，医療施設に対する「医療金融公庫」の場合でもみられます。ここでは医療技術の内容や，診療活動の努力よりも病院経営の安定成長性，利益率の度合が問題となり，まじめな医師や，国民の健康の問題は不在となります。医療の場合は医療制度の面からも「社会開発」は困難な立場にあります。

12. 医療保障と医療制度で大事なことは，底辺の人々を重点として国民全体の健康を守るということです。そのために社会は医療保障と，そのための施設の整備に全力をあげているわけです。イギリスでは全医療費の78%を国家予算から出しています。スウェーデンでは52%を国費から，20%を県費から出しています。わが国では，昭和37年の保険給付の総額1,400億円のうち，国庫補助はわずか5億円です。

13. 病人，けが人はふえる傾向にあります。厚生省の統計によりますと，昭和39年に国民1人当り1年間28.5円の病気休養がありますがこれは昭和30年から比べて，約3.5円の増加です。ここに「社会開発」の待たれるゆえんがあるのですが，医療施設への建設資金は収益性の高いところへしかゆきません。実際，医療金融公庫の80億の貸付によって大体その3倍の民間資金の投入が建設費の自己資金や運転資金といった形で誘発されるといいます。もちろん民間資金は政府の「社会開発」の立場からあるいは国民の健康を守るという精神から動いているのではないと思います。

14. 収益性のひくい社会福祉法人となるとこういうわけにもゆかないはずですが，近ごろ，1カ月1万2千円の保育料の超デラックス「保育園」が出現し繁盛しています。

そうするとお母さんがたが保母さんとともに努力し，地方自治体の施策にのせて，やっと保育所をつくり認可をとると「基準保育」というものでしばられ，わずかな予算で発育ざかりの子供の健康を守るために身をすりへらして働き，つぎこんでいるといったようなことは一体間違ったことでもやっているのでしょうか。

15. 国土総合開発といい，地域開発といい，すべてその主な内容は地域経済の発展でありますが，その究極のねらいは住民福祉の向上にあります。しかし現実には前述のように経済進歩と社会福祉との間には対立があり，経済的合理性の追求が社会的合理性のそれより優先されています。経済成長を犠牲にしてまで，社会開発への投資がなされることは期待できません。逆説的にいえば経済発展にとってソーシヤルアンバランスが労働需給の変化とか，交通輸送の障害とか具体的な耐えがたいものとなり，国民生活の向上を実現しなければより以上の発展ができなくなればこそ社会開発への投資がなされ，またその範囲内のものでしかないということです。

16. このあたりの目的と手段をとりちがえたような理解のしかたによる開発指導がつづき，保健，住宅，社会福祉，教育といった社会的サービスすらが経済発展への手段として使われている限り，ひずみや格差は是正どこ

ろか逆に促進され，ひへいする一方です。

2. 福祉厚生施設の将来像

1. 科学の進歩は人間の生活にはかりしれない影響を与えてきました。人間の社会は人間の生産活動による生産力の増大を基礎として発展をつづけてきました。

医療の問題をとりあげてみましてもたとえばアイソトープによるガンの治療といったことは，今日では実用の段階になり必要とあればたいていの人が治療をうけることができるようになりました。将来どのようなすばらしい診断と治療の技術が開発され人間のいのちに光を与えるか想像もできません。こうしたことは科学と技術の進歩とそれに支えられた生産力の発展とともに，健康保険といった社会制度によって，「社会」的な道がつけられてはじめて可能でした。

2. 人類の未来は，現在のわれわれには，想像もできないような無限の可能性が開かれています。少くとも核戦争による人類の絶滅を人間の力によって阻止できると信じている人々にとっては，未来は無限の広がりとして信じられています。

建築家のデザインするべき対象はますます多様に，ますます広範に拡がっています。

3. この文章の中でいままで，「厚生」という言葉の概念をごくあいまいにつかってきました。それは広くも狭くも理解されています。理解のしかたによっては人間の社会的な生活のすべての面に福祉，厚生があります。したがって人間の社会生活の発展に応じて多様になり，広がるものであります。ここでは言葉の規定が目的でありませんが，厚生の概念を次の２つの段階にわけて，それぞれに対応する施設として次のようなものを思いうかべていただきたいと思います。

①精神的，物質的生活の未熟，欠陥を保護し，育だて治療し回復させるための社会的な活動のための施設

ⅰ）保健――保健所，診療所，病院……

ⅱ）保護――乳児院，保育所，養護施設，老人ホーム……

ⅲ）復帰――リハビリテイション施設……

②精神的，物質的生活を健全に維持，発展させるための社会的な活動とそのための施設

ⅰ）生活――住宅，宿舎……

ⅱ）文化教養――社会教育施設，レクリエーション施設……

ⅲ）体育――スポーツ施設……

4. 福祉厚生施設の構想で大事なことは次の２点です。第１は，産業の発展による生活環境と生活構造の変化に対応して配置，建設されることです。産業構造の地域での変化によって引おこされる人口構造の変化に対応していち早く医療施設，保育施設，保護施設，あるいは準社会福祉施設（公衆浴場，理髪，薬局，墓地など）が適確に配置されること。また，生活構造の変化に対応して質の高度化にたえず注目しなければなりません。

第２に，地域社会の生活集団の空間的構成に対応して系統的組織的に配置されるとともに，個々の施設自体は新しい生活構造，生活要求に対応した新しいパターンをつくり出さねばなりません。

こうしてつくりあげられていったフィジカルなプランニングを地域から始って，全国民的な規模の討議によって建設のプログラムとしてくみあげることになります。

すでにこうしたしごとは全国で無数に始っていると思います。

例えば，下からの住民，医療従事者，建築技術者の実際のしごとの中での協力によって，地域診療所―地区病院とそれらの間と周辺の専門的医療機関の配置という構想が，京都でもここ数年がかりでようやく空間的なイメージを与えるまでにうかびあがってきましたし，またそれらの活動を理論的に体系づける努力も，地方病院学会といった形でなされています。

また，公民館建築のパターンは直列型の上意下達型から，ロビー中心のコミュニティ・クラブ型にかわってきております。そうしたところでは，地域住民のコミュニケイションも広く深くなり，それが家庭と社会の活動に活力を与えています。このような活動の上に立って建築家も生々としたフィジカルなプランをつくり出すことができると思います。

むすび

建設は環境の破壊ではないかといわれるほど，建築家は，人間の社会的生活環境の造形という本来のしごとを忘れ，人間の豊かな美しい精神と肉体の発揚の場を形づくるという精神から遠ざかり，「経済開発」の波にのって，みずからの「経済高度成長」にすすむか，あたりかまわぬ「自己主張」にすすむか，その間をはげしくゆれ動いていたのではないでしょうか。

私たちは本来の建築の精神に立ちかえり，身近な民衆の生活とその意志をどのように形ちづくってゆかねばならないかを考えさせられたのが，この「社会開発」でした。それは，環境の破壊に対してと，ともに生活の破壊に対しても斗わなければと，そしてそれを通じてのみ，私たちのフィジカルなプランも生命あるものとすることができるのであることを考えさせられました。今後，ますます，ふかく，人々の生活の中で，そこから，保健，保育，休養，体育といった人間の福祉向上のための空間をつくるために努めたいと思います。

（650418）

都市近郊住宅地と通勤交通

京都大学助教授
天野　光三

つい最近の4月13日朝，大阪環状線の鶴橋駅でダイヤの乱れから乗客がホームにあふれて9人の負傷者を出した。その翌日の4月14日朝には東京の池袋駅で，電車がわずか4分遅れたためにホームが大混乱，これまた怪我人が出た。

このように大都市の通勤者は毎日命がけ……という実情は決して今にはじまったことではなく，それを解決する課題の緊急性についてここにのべる必要もないほど市民の身近かな実感となっている。

私に与えられたテーマは〝社会開発と交通〟である。社会開発の言葉の内容はまだ必ずしも明確ではないが，少なくともこのテーマには人間性の尊重を基礎として，高度成長のひずみ是正，さらには国民生活構造の変化にも対応した近代的で能率的な交通体系の形成というはなはだ広い内容が含まれている。

たとえば国民の質的能力の向上や，快適な旅行への欲求という面からみれば，東海道新幹線や名神高速道路の開通には大きな意義を認めねばならないし，格差是正のためには未開発地域の山奥の道路工事も社会開発にとって重要な施策であるとせねばならない。

こうして鉄道，道路，港湾，空港など，交通に関する一切の公共施設の量的，質的改良計画は，車両，船，航空機の機能向上の努力をも含め，大なり小なりすべて社会開発そのものを目的としていると言えるかも知れない。

本文ではこういう巾の広い目標のもとに交通に関する課題や解決の方法をのべるのはさておき，建築技術者とくに密接な関係があり，しかも冒頭に掲げたように大きな社会問題となっている都市近郊住宅地と通勤交通に問題を限定して考えることにする。

大都市における通勤ラッシュの殺人的混雑が今や慢性的になるほどの事態をもたらした，その原因は何か。簡単にいえば住宅地域から都心への通勤輸送需要の増加に対して輸送力の供給が追いつかないからである。

東京，大阪，名古屋などの大都市では既設鉄道各路線の車両増結，増発など線路施設の効率向上の努力はもちろんのこと，線路増設や地下鉄新線建設も近年急テンポで推進されつつある。しかし戦後のわが国経済のめざましい発展につれて，第1次産業の分野の減退と同時に第2次，第3次産業の比重が増大し，それにともない人口と産業の都市集中が行なわれて都市は急激な膨張をつづけている。そのうえ都市近郊の住宅地需要の増大は必然的に地価を騰貴させ，新たな人口は都市周辺部および外縁部に順次集積して職場と住宅を遠隔化させ，通勤輸送の需要増加に拍車をかけている。

こうして朝の通勤ラッシュ時に都心に向う通勤者の増加傾向のはげしさは，東京，大阪市内では今やいたるところに地下鉄工事があるといえるほどの交通手段整備のテンポをもってしてもとても追いつけないほどである。

たとえば昭和36年からの3年間に人口は東京，大阪ともそれぞれ約70万人も増加し，大阪の通勤人口は毎年約1割ずつふえて現在約100万人に達し，そのほとんどが国電，私鉄，地下鉄のいわゆる都市高速鉄道によって都心事業所地域に流入してくる。

とくに貧弱なわが国の都市街路とその改良可能性の経済的，社会的限界，都市近郊住宅地の遠隔化の傾向などを考えると，通勤輸送に占める高速鉄道の比重は今後においてむしろますます高まってゆくといわざるを得ず，通勤交通難すなわち国電，私鉄，地下鉄のラッシュのピンチは，将来にわたってこれらの強化によってのみ救えるともいえよう。

さてここで将来の大阪周辺の通勤輸送事情がどうなるかについて考えてみよう。阪神都市圏の土地利用計画によれば，昭和55年を目標として，千里，枚方，羽曳野，和泉

や明石，印南野などの丘陵地帯を大規模な住宅地開発の対象としている。これから阪神都市圏内各ブロック毎の夜間人口，したがって労働供給人口が想定される。次にそれぞれのブロックの労働需要人口を，土地利用計画や業種別構成の動向，労働力原単位にもとづいて予測し，たとえばFratar法などによって将来におけるそれぞれのブロック間通勤流動の基本的なパターンを求めることができる。

昭和55年度の阪神都市圏夜間人口1,180万人，第2・3次産業の労働需要人口588万人の場合の各ブロック間通勤流動から，それに対応する各高速鉄道のラッシュ1時間の輸送需要を試算し，大阪市内に入る断面において，昭和37年度の輸送人員に対する増加率のとくに顕著な路線のみをあげると下の表となった。

このほか現在の通過交通量がほとんど増加しない路線もいくつかあり，さきの土地利用計画がそのまま実現するとすれば，大阪市を中心とする求心的な多くの鉄道網の今後の輸送量にはかなり大きな不均衡を生ずることとなる。そうして増加率の小さい路線の輸送力増強は，現在の混雑や過密ダイヤを緩和させ，社会開発すなわち人間尊重の効果を期待できようが，問題はこの表に示すように，(B)/(A)が3を超えると予想される各路線がどうなるかということである。東京の中央線のピーク輸送量が1時間約12万人であり，(B)の値はそれとほぼ等しい輸送量となることを意味している。

昭和55年度におけるラッシュ1時間の輸送量　（単位 千人）

	輸送人員 昭37年 (A)	輸送人員 昭55年 (B)	(B)/(A)	輸送力 昭37年 (C)	輸送力 昭55年 (D)	(D)/(C)	(B)/(D)
近鉄南大阪線	34.1	123.9	3.64	15.5	23.1	1.49	5.36
阪急宝塚線	41.2	134.8	3.27	18.9	31.0	1.94	4.34
阪急神戸線 33.5 阪神本線 22.6 国鉄東海道線 25.2 計	81.3	258.2	3.18	16.5 12.9 9.8 計 39.2	65.2	1.66	3.96

一方これに対する昭和55年度の輸送力はどうなるだろうか。昭和38年の都市交通審議会答申には，下表の各路線を救済しうる線路増設や地下鉄新線計画がどこにも見当らないから，編成両数の増加や運転時間隔の短縮など，現在の線路施設で可能な限りの輸送力増強がすべて実現したと仮定しても，(D)の値となって乗車効率$\frac{(B)}{(D)}$つまり定員に対する輸送人員の比率は現在のさらに2倍という信じられないほどの数字がでてくる。

この輸送力の不足に対しては，さらに地下鉄を新設すればよいし，需要にはおのずから供給が行なわれるという考え方は都市鉄道と近郊住宅の場合はむしろ逆で，鉄道沿線のなるべく安い土地を求めてより遠くへ住宅地が造成され，近郊地域の発展は線路網の形に支配されているという現状をよく考えなければならないと思う。

たとえば，ここにごく一例を指摘したように，住宅地としての大きい前提である通勤手段の検討を忘れた住宅地計画は絵にかいたモチともいえるとも思う。

> 都市の通勤問題を将来にわたって解決する方策は，現在のように著しい人口の都市集中が続く限り，輸送需要に追随する都市鉄道網の線路増設の推進のみによって期待することはできない。

根本的な解決のためには，地域計画の概念にもとずいて都市圏の将来のあるべき姿を描き，それに接近するための総合的な都市開発計画に際しては，都市鉄道の今後の整備の方向を通じて都市構造を望ましい姿に誘導するという施策を含めて，はじめて混まない，快適な通勤の実現が可能となるのではなかろうか。

開発と文化財

工博・大阪市大教授
浅野　清

開発にともなう文化財の危機が問題にされてきたのはここ十数年来のことである。開発の速度が加速度的に早くなって，事態を一変してしまったからである。

文化財としては美術工芸品や建築のような国宝，重要文化財がまず浮び上るであろうが，それらは従来の文化財保護法によって，指定保護されているので，そのもの自体の保存については，一応道がついている。問題の焦点は次のような点にあるのである。

1. 埋蔵文化財の破壊（古墳，住居跡，宮殿，寺院跡など）
2. 文化財群の環境破壊
3. 未調査文化財（民家など）の喪失

以下これらについてのべていこう。

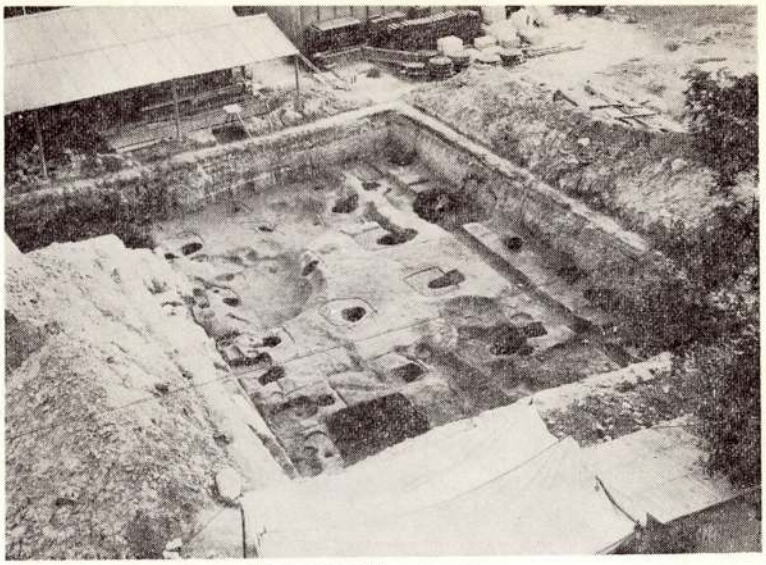
（1）埋蔵文化財の破壊

埋蔵文化財のなかには，古くは無土器時代の遺跡から始まって，縄文時代の遺跡，弥生式時代の遺跡，豪族の発生した時代の古墳，さらに歴史時代に入る宮殿，官衙や寺院跡におよぶ各種のものを含む。このなかには外形から判断できる大古墳や文献によってある程度予想できるものと，その存在の全く予測し難いものとあるのであるが，何れも重要な歴史史料である。文献によって知られる日本の歴史はせいぜい七世紀以後のことで，それ以前のこととなると，断片的に記された中国や朝鮮の文献や古事記，日本書紀などに引用されている古記類によって，多少の目安がつく他は，古墳をはじめとする上記の遺跡の発掘によって知るほかはない。最も大きい関心のもたれる統一国家の成立事情にしても，おびただしい古墳の究明によってその真相が窺えるのであり，歴史時代以後のことにしても，遺跡の発掘によって具体的に解明されつつあることは周知の通りで，最近平城宮跡では多量の木簡の出土があって，文字による資料まで提供されつつあることは全く予想以上の収穫であった。

これらの考古学的遺跡の数は容易に捕捉し難いのであるが，全国でおよそ12万件を超えると推定されている。古墳は数においてその大部分を占めているのであるが，これらの中には，なお多数の宝物類が埋蔵されているのみでなく，その究明によって三，四世紀から七世紀におよぶ，華々しい日本の歴史が明るみに出るのである。この時代は中国の動乱によって朝鮮が動揺しはじめ，それにつれてわが国内も大きくゆれ動いた時代で，強大な豪族が抬頭し，やがて大勢力の抗争の間に統一国家の生れた，激しい動乱の時代であった。そしてその間に大陸のすぐれた技術や文化が移植され，やがて飛鳥奈良文化の輝かしい隆盛をみるに至る基盤の据えられていった時代であった。その面積において世界最大を誇る応仁陵や仁徳陵をはじめ，巨大な古市古墳群や百舌（堺市）古墳群の成立したのは五世紀頃とされ，それらは雄大な国家統一の実を示すのであるが，さらにさかのぼるものとして奈良盆地の周囲をかこむ，東山麓の柳本古墳群，北部丘陵中の佐紀古墳群，西方丘陵中の馬見古墳群なども大和の勢力を知る重要な資料であり，さらに近畿の各地，北九州，中国，四国，中部地方から関東地方に亘って分布する大小古墳の存在も見逃せない貴重な資料である。

これらの古墳の少なからぬ数のものは盗掘その他の災害をうけてきてはいるが，それでも戦前までは大地主の所有に属するものの多かったことなどもあって，急激な破壊をまぬがれて存続してきたのであったが，今や事情は一変し，開発の手の迫ったものは，みるみる間に跡方もなくされてしまう実情で，文化を尊重する時代だなどとは思ってもつかない無惨なことが現に起りつつあるのである。もっとも10万にも達するであろう大小の古墳を悉く保存するということは事実上不可能であろうが，せめて，十分調査をして壊し，特に重要なランクのものは国なり地方なりで買上げても保存する道を講じなければならず，しかも単に一つ二つをサンプルとして残すというのではなく，重要なものはグループとして，その周辺の景観とともに保存することを考えなければなるまい。それにしても開発の速度はあまりにも早い。調査するにしてもその費用は決して僅少なものではないし，第一研究者の数が足りない。おそまきでも考古学の学生を増すことからはじめ，一方そうした研究者を受けいれる研究機関を増強しなくてはならない実情である。こうしたずれから，貴重な遺跡が惜し気もなく破壊されていることは誠に不行届な不祥事といわねばならない。

古墳の問題が長くなったが，最近話題に上っている平城宮跡，難波宮跡，長岡宮跡を始めとして，奈良の寺々，地方の寺院や官衙の跡などの調査保存も重要な課題である。元来木造建築に終始したわが国では，これらの建築遺跡も西洋の石造建築遺跡とは違って，目にみえる物件をあまり残していない。これらの遺跡で発見される



難波宮跡掘立柱遺跡の発掘状況（掘立柱遺跡が重複して出ている）

ものは地表を舗装した石，土壇の周囲をかこう石積み，礎石，散布した古瓦類を除けば，建物を建てた痕跡が地上に残されているというに過ぎない。特に最近多く発掘されている宮殿や官衙跡の柱立柱遺跡などはその著例である。そこには柱の根元が腐り残っている場合もあるが，多くは柱をいけるために掘った掘穴が発見されるのみである。しかしこれらの痕跡は案外克明に追求でき，それらの発見によって，文献では全く窺い知れなかった建築の規模平面が知られるのであって，その収穫は大きい。こうした遺跡は平城宮跡や難波宮跡などで続々究明されているのであるが，なお遺跡として重視しなければならないのは平城宮内の寺院跡，著名邸宅跡，奈良に都が移される前の都の地であった藤原宮跡（畝傍，耳成，香具山の三山にかこまれた地）やその前の都の地飛鳥地方の遺跡などである。飛鳥では昭和29年以来発掘された飛鳥寺，川原寺等の寺院跡と合わせて，宮殿跡の石敷が残されていて，今も細々発掘が続けられているが，この地は飛鳥文化発祥の地であり，七世紀の日本歴史の舞台であった。しかしこれらの遺跡が事のほかはっきり究明されているのと同様に，われわれはさらに六世紀の日本歴史の舞台として，飛鳥の東方「いわれ」の地（桜井市）などもまた究明可能であろうことを見落としてはならないであろう。しかし実情は今や桜井，橿原両市の開発によって，これらの遺跡の保存がおびやかされているのである。しかも今までよく保存されてきたこれらの心のふるさと，日本文化発祥の地の遺跡も，このしばらくの動き如何によっては全く無雑作にくずし去ってしまうかもしれないのである。

（2）文化財群の環境破壊

文化財も，ただ物その物の保存ということであれば，比較的簡単であるが，これを観賞するにあたっては雰囲気が問題である。たとえば法隆寺でも最近雑然とした飲食店，さらには工場の進出によって急激に環境がくずれてきており，西京（薬師寺，唐招提寺）にしても，まわりに民家が建てこみ始めており，奈良公園にしても，山上の旅館や近代的高層建築の出現によって，スカイラインが混乱してきているが，この上工場や大建築で環境がこわされてしまうようになったら，われわれの夢は全く破れてしまい，その美しさも色あせてしまうこととなろう。こうした環境の保全についてはヨーロッパでも早くから問題とされ大きい犠牲を払って努力している。ロンドンの戦後復興にあたって行届いた計画が実施されたことや，パリの街で新建築が極度に制限されていることはよく知られているが，フランスでは地方の小さい古城一つのためにも周囲の環境がきびしく法律で制限されていることは有名である。

（3）未調査文化財の喪失

この他埋蔵文化財にしても埋れて未知なものが沢山あるし，建築にしても民家などになると，未だ調査の手のおよんでいない所があまりにも多い。これらもこの急激な開発，特に都市近郊の拡大や道路，電源の開発，それに伴う産業の進出などによる地方の開発などによって，保存や調査の手もつけられないうちに葬り去られる場合が続出してきているのである。

以上何れの場合をとりあげてみても，開発と保存のテンポが合わず，長年月に亘って保たれてきた貴重な文化財が存亡の危機に立たされているのである。われわれはただ嘆いているだけでは取りかえしのつかぬこととなってしまう。重要な地域を思いきって保全地区として，厳重に破壊の手から守ることを計画し，これをリクリエーションの緑地帯として活かすなどして必要な補償の道を講じ，またすでに環境の破壊されつつあるものも，遠からぬ将来これを回復する方途を講じなければならない。そして，止むを得ない場合でも，遺憾のない調査が行なわれるようにならなくてはならないのである。

社会開発メモ

大阪市市街地改造課
鎌田恭男

去る3月上旬，近畿整備本部が最終的にとりまとめた「近畿圏整備計画」は，「社会開発を打出す」という大きな見出し付で新聞に出ていたが，最近，経済企画庁が発表した39年度「国民生活白書」も，今後の課題として「社会開発の推進」をうたっていた。このように，社会開発ということばは，行政関係やジャーナリズムにおいて一種の流行語となりつつあるが，いったい，社会開発とはどういうもので，いつから言われだしたのだろうか。この疑問を解決するため「社会開発」という字を新聞などで探し求め，整理してみた。

社会開発が有名になったのは

このことばが有名になったのは，国連の1951年（昭和36年）の世界社会情勢報告が，これまでの「生産第一主義」的な経済開発偏重を改め，経済開発と社会開発（Social Development）の均衡が福祉国家の建設には必要であることを説いてからである。そして，わが国で，はじめてこのことばを公的に用いたのは，昭和38年8月，人口問題審議会（厚相の諮問機関）が地域開発についての答申でその必要性を説いたときだが，政治の舞台に乗せたのは佐藤現首相で，去年7月の自民党総裁公選で政見を明かにしたときに用いて以来，流行語となった。(1)

社会開発とは

国連総会で使われて有名になった社会開発も，国連では必ずしもはっきり定義されていないと言われている。当初は経済開発の進行と併行して，経済開発が国民生活に与える有害な衝撃を除いたり，緩和するために，全国的な規模で保健衛生，住宅，労働，雇用，教育，社会保障に関する社会的サービスを発展させることをさすと言われていた社会開発も，その後，その積極面がしだいに強調され，現在では経済開発と社会開発の均衡という形で採りあげられ，保健，教育，住宅，労働，社会保障などの進歩向上がなければ，経済開発ができないという意識に代わってきたといわれる。(2)

社会開発懇談会の発足

他方，社会開発ということばを「政治の舞台に乗せた」佐藤首相は，今年の1月25日衆参院本会議で初の施政演説を行ない，「経済成長の成果が国民の真の福祉と結び付くよう社会開発を積極的に推進することを対策の基本とする。(3)」として，住宅政策，公害対策，過密都市対策，社会保障などについて述べておるが，つづいて27日には，首相の諮問機関である社会開発懇談会を発足させ，学界17人，実業界12人，言論・文化界18人，その他の有識者14人，合計61人の委員を発表している。(4)この懇談会は，社会開発を具体的に推進する構想を練る目的をもつもので，毎月1回会合を開いて7月中に意見を整理し，41年度の予算に具体策を盛込む方針であるとのことである。(5)

社会開発の基本的な考え方

そして政府は，懇談会委員の顔ぶれを決めるとともに，社会開発の基本的な考え方と，諮問する6つの事項を発表した。これは，政府がはじめて社会開発の考え方を明文化したものとして注目されるので，次にその全文を掲載する。(4)

社会開発の基本的な考え方／日本経済は，最近のいちじるしい高度成長によって量的な面で先進国の水準に近づいたが，社会的な面で多くのたち遅れがあり，名実ともに健康で文化的な国家となるためには，経済成長と調和のとれた社会開発を推進する必要がある。社会開発とは憲法に示されている健康で文化的な生活を実現することであり，人間性豊かな社会を創造していくことである。現在の日本経済の発展段階では，ヒズミの是正に重点を置くことは当然だが本来の社会開発は，ヒズミの是正だけでなく，もっと積極的に日本民族の潜在エネルギーを発掘し，これを押進める前向き的なものである。

社会開発は，経済成長を制約的なものと考えるものではなく，わが国の国民一人当りの国民所得が約22万円（年）程度で，先進国の水準とはまだかなりのへだたりがあるところからみて経済成長を通じて社会開発を推進していくことが重要である。経済や技術の進歩にかくれて，ともすれば人間の進歩が見失われがちだという反省は必要だが，経済成長は社会開発に必要な手段を豊かにするものであり，両者はもともと調和的に進められるものである。また経済的な進歩に取残されがちなハンディキャップを負った人々（例えば老人，未亡人，孤児，身体障害者など）に対する配慮はもとより，児童を大切にする政策も含まれなければならない。これまでともすれば生産者中心になりがちだった行政を，消費者中心に向けていくことも社会開発の重要な点であり，農山漁村，中小企業などの低生産者層に対する施策とその近代化を推進することが必要である。

諮問事項／①健康な体をもった人間をつくるため，栄養，体育スポーツ，レクリエーション医療などの施策はいかにあるべきか②健全な精神をもった人間を育てるため，社会教育，育英芸術の振興，農山漁村社会の近代化，歴史的文化財の保護，非行少年対策，犯罪防止などの諸施策をどうすべきか③生活環境改善のため，住宅，上下水道施設，交通対策，交通安全，公害防止，農山漁村の生活施設などの諸施策はどうあるべきか④生産の場の改善のため，職場環境の整備，労働条件の改善，産業災害の防止をどうするか⑤老人，未亡人，孤児，精神薄弱者，身体障害者，児童に対する愛護など福祉政策のあり方⑥消費者保護，合理的な消費態度の奨励消費者物価の安定など消費者保護行政。

問題は

このような政府の考え方に対し，「農業，中小企業の近代化は，経済政策の中で推進すべき問題であり，そのまま社会開発に織りこむことは無用の混乱をまねくという批判があり，また選挙の公約としての社会開発でなく，庶民の立場にたって物を考え，人間生活に根底をすえた社会開発の理念と政策の確立を要望する」(6)声がある。一方，「政府は社会開発をとなえているが，かんじんの政策主体である地方自治体の財政は破産をはじめている。」(7)のも重大な事態である。

資料／

(1) 39.12.20.朝日「ニュースのかぎ」
(2) 39.12.7.日経社説
(3) 40.1.25.朝日夕刊
(4) 40.1.27.朝日夕刊
(5) 40.2.13.朝日夕刊
(6) 40.1.31.朝日社説
(7) 40.4.18.朝日ジャーナル「まちの政治・むらの政治」宮本憲一。

1965年 東・西アス協組 統一年限仕様確立

強力ギルソイド アスタイト防水

■東アス・西アス両協組の連合を契機として全国統一の年限仕様としました。
■防水工事には最も信頼できるアスファルト防水として定評ある本協組仕様をご採用下さい。
■実績を誇る良心的な全国５０社の組合員が、ご用命をお待ちしています。

年限仕様一覧

1　砂利撒屋上防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/㎡	単価 円/㎡	建物の例
GC-210	1/100～1/12	コンクリート	12	砂利撒（屋上支給）	95	840	鉄筋住宅 事務所 工場等
GC-215	1/100～1/12		15		100	1,100	共同住宅 事務所 倉庫工場等

2　露出屋根防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/㎡	単価 円/㎡	建物の例
SC-210	1/25以上	コンクリート 鉄骨造 木毛(片)セメント板 PC版	10	砂付シルバライト吹付又は彩色砂付	11	780	体育館 鉄筋住宅 映画館等
SC-215	1/25以上（面積中小）		15		14	960	共同住宅 学校 工場等
SC-215A	1/25以上（面積大）		15		14	1,240	重要度の高い発電所 貴重倉庫等
SG-12	1/25以上		12	アスファルトシングル	15	1,110	共同住宅 体育館 倉庫工場等
AC-210	1/25以上		10	アルミン	9	980	鉄筋住宅 工場 体育館等

3　歩行用屋上防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/㎡	単価 円/㎡	建物の例
PC-210	1/100～1/12	コンクリート	12	豆砂利コンクリート 90mm厚	249	660	店舗付住宅 車庫 娯楽場等
PC-215	1/100～1/12		15	1:3:6コンクリート 90mm厚	249	920	学校・ホテル 公民館 事務所等
PC-220	1/100～1/12		20	クリンカータイル	164	1,180	事務所 営業倉庫銀行 図書館等
PC-225	1/100～1/12		25	シンダーコンクリート80mm厚 クリンカータイル	274	1,340	発電所・学校 百貨店・病院等

4　室内地下防水

ID-201		コンクリート				700	便所 別房 浴室
BH-201						1,040	地下室床
BV-201						1,280	地下室壁

（注）歩行用屋上防水の単価は防火層のみ

責任施工組合員名簿

（東アス協組員）

地区	組合員名	電話
北海道	（株）浜建	札幌(23)代表1064・0969
	平産業株式会社	札幌(25)代表7181
	（株）亀田建材社	小樽(3)代表2181
東北	（株）山形建材	山形(2)代表8161
	有馬アスファルト商会	仙台(23)2663
	（株）互幸商会	仙台(25)代表7671
中部	八木商事株式会社	新潟(2)3281・4659
	北川漆青工業株式会社	新潟(5)0226
	羽多野産業株式会社	松本(2)4041・4789
	桜井建材産業株式会社	静岡(53)代表0137－9
	協同建材株式会社	浜松(2)2449(3)2807
関東	井上漆青工業株式会社	東京(541)代表1974・0964
	桑原建材株式会社	東京(368)6973
	（株）小島工務店 東京営業所	東京(821)1050
	高山工業株式会社	東京(251)0161～5
	中村漆青工業株式会社	東京(802)代表0131
	（株）三柏商会	東京(251)8867・7517
	（株）山忠	水戸(2)代表9151
	日本ガンツ工業（株）千葉営業所	千葉(2)2981
	田島応用化工株式会社	東京(866)代表6101
東海	岡田建材株式会社	名古屋(57)7461～4
	（株）名建商会	名古屋(26)3671～3
	高橋建材店	名古屋(23)3295
	日東物産株式会社	名古屋(26)2501代表

（西アス協組員）

地区	組合員名	電話
近畿	（株）久保商店	大阪(341)0207～8・4836～7
	（株）木下謹三商店	大阪(443)代表 0115
	（株）井上浄夫商店	大阪(441)8531～5
	（株）大和商会	大阪(631)6221～4
	内外工業株式会社	大阪(641)3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪(371)6555～7
	日本漆青工業（株）大阪支店	大阪(361)5496～8
	石井建材有限会社	神戸(55)2140・2697
	（株）中出商会	神戸(55)4630・4650
	タテバヤシ商店	京都(81)0871～2
	田島応用化工（株）大阪営業所	大阪(441)代表 5951
北陸	北川漆青工業株式会社	金沢(41)1131～5
	北川漆青工業（株）富山出張所	富山(2)2218(4)0391
	北川漆青工業（株）福井出張所	福井(3)1134
	（株）小島工務店	高岡(3)2463
中国・四国	青盛建材株式会社	広島(21)2281～7
	青盛建材（株）岡山営業所	岡山(23)8285～7
	（有）小野萬商店	岡山(22)4272
	（株）浜原豊商店	尾道 2760
	（株）浜原豊商店防府支店	防府(2)3611
	古市断熱工業株式会社	高松(3)5034
	正和商事株式会社	松山(2)8161～5
九州	青盛建材（株）福岡営業所	福岡(28)5566～8
	高稲工業株式会社	長崎(4)1725
	高稲工業（株）北九州営業所	小倉(53)6337
	石素産業株式会社	福岡(53)5761～2

建設省東計65号認可 **東日本アスファルト事業協同組合**
建設省阪建22号認可 **西日本アスファルト事業協同組合**

東京・千代田区神田岩本町13田島応用内 TEL代表(865) 6101
大阪・大阪市西区京町堀1の7 4 TEL代表(441) 5951
札幌・ TEL (25) 1 4 4 6 福岡 TEL (28) 2 8 0 7
仙台・ TEL (22) 6 4 1 3 広島 TEL (21) 2 2 8 1
名古屋・ TEL (57) 6 3 6 1 岡山 TEL (24) 2 6 9 2



クラスメート

1

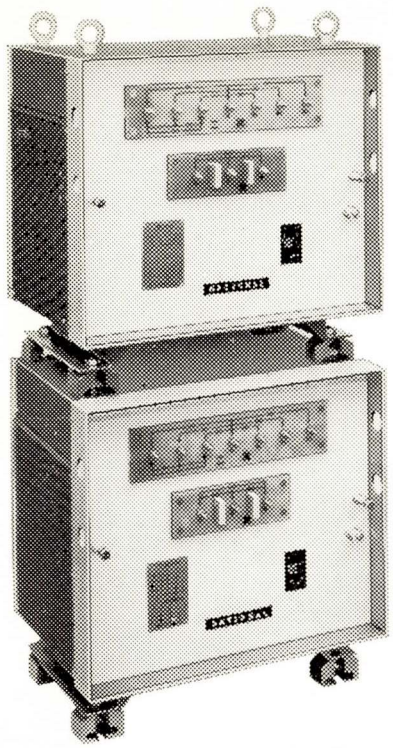
左より（敬称略）

森　　忠一（村野・森建築事務所）
田中 良太郎（大阪市立大学教授）
喜多村 義雄（住友建設株式会社PC部技術部長）
小笠原　昳（アキラ）（小笠原・浜田建築事務所）
政岡　基次（政岡土地株式会社社長）
背景は大阪・中之島中央公会堂

昭和6年京大建築学科卒。第9回なので建九会（けんきゅう）という。16名卒業して，5人が亡くなった。入るときは学内最高の入学難で，4人を除き皆浪人組だったが，出るときは震災復興院が解散し，まともに就職するまでに2年かかった。青田刈りの今と比べて感無量。

学生時代の**森**はいつも仮綴のフランス本を持ち歩いていた。これ位好き放題なことをした幸せ者はなかろう。**小笠原**は建築史へ進むとみえたが，浜松で陸軍の大格納庫に取組み，2週間で現在のような構造の大家に見事転向した。**田中**は請負向きだった。先生になるなど，誰も考えなかった。**喜多村**は真面目で，構造に進むとみえたが，役人を振り出しに転々とした。途中満州へも渡ったが，建九会員は6人までが満州で職に就いている。**政岡**はコツコツ図をひくかたわら，実業家ふうにみえた。

こまどり（喫茶），なべ茶屋（おでん），かぎ屋（喫茶），フランスバーなど，皆よくかよった。妙にゴルフ族がいないのは，不況に巣立ったのがしみこんでいるせいか？　（政岡記）



400V級分岐式配電方式の合理化に……

技術面、経済面をプラスし
用途に適した独自の設計!!

ナショナル
電源分岐室用
乾式トランス

TC—HST 三相5・10KVA乾式(H種絶縁)積重ね式変圧器
一次電圧 400V級 二次電圧 210V—105 結線方式 △—人(二次側三相線式)

■最近、建築物が高層化し、大型化すると共に単位面積当りの電力使用量が増大し、従来の100V 200V配電が技術的にも、経済的にも妥当性がない事が実証されて以来、その打開策として関係各方面のご研究により、400V級配電がいよいよ完全な実用化の段階に入ってまいりました。

■しかし乍ら、コンセント回路及び各種照明等に単相100V、200Vはどうしても必要でありますので、400Vより降圧する変圧器が必要となります

■こゝで当社は建築業者殿、電気工事業者殿を始め各ご需要家殿より広くご指導を仰ぎ種々の点でご満足いただける三相H種絶縁乾式、二巻線変圧器(一次△形、400V級、二次人形、二次側電圧は線間121V、105V同時使用可能)を開発いたしました

■標準定格仕様

定格		連続
絶縁階級		B種又はH種
相数		三相
周波数		50~ 又は 60~
容量		5, 10KVA
結線方式		一次、△二次側結線(中性点引出形)
電圧	一次側	50~・415V / 60~・460V (但し、従来の製作例としては 50~ 420V、60~ 440Vが多い)
	二次側	線間・210V—(182)V 相間・(121)V—105V

■構造上の特長

(イ)並列運転が出来るようインピーダンス電圧をそろえています。

(ロ)増設の場合据付面積を少なくするため積重ねが可能な設計としています。

(ハ)このため5KVAと10KVAの2機種を標準化し、大量生産による価格の合理化を計っております。

(ニ)必要に応じて防震ゴムも取付けられるよう特別なベースを設けております。

(ホ)並列運転をした場合の変圧器の保護を考慮して、ノーヒューズ・ブレーカーが取付けられる構造としております。

ナショナル 松下電器

お問合せは…大阪守口局区内・松下電器・変圧器事業部

北海道特機営業所…TEL 札 幌 (24) 9271
仙台特機営業所…TEL 仙 台 (25) 8111
東京特機営業所…TEL 東 京 (561) 8461
横浜特機出張所…TEL 横 浜 (68) 0743
静岡特機出張所…TEL 静 岡 (54) 1241
北陸特機営業所…TEL 富 山 (2) 8561
新潟特機出張所…TEL 新 潟 (5) 0171
名古屋特機営業所…TEL 名古屋 (95) 6211
大阪特機営業所…TEL 大 阪 (362) 5151
広島特機営業所…TEL 広 島 (41) 5111
四国特機営業所…TEL 高 松 (2) 1194
九州特機営業所…TEL 福 岡 (2) 3331
北九州特機出張所…TEL 小 倉 (53) 5121
南九州特機営業所…TEL 熊 本 (4) 1101



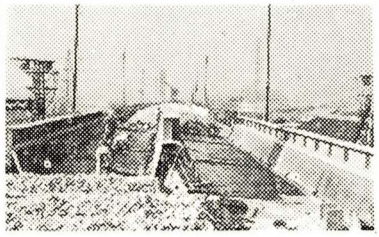
超高層建築にも使われた完全防水材（ブチルゴムシート）

三ツ星ベルト株式会社の

ホホ・ルーフィング

三ツ星ベルト

本社／神戸市長田区浜添通り４丁目
ＴＥＬ(67)5071(大代表)
支店／東京・神戸・名古屋・福岡・
大阪・札幌



東海道新幹線の橋梁防水工事。
その他長軀軽量建築、変形建築の屋上、厨房室、地下室、プール、トンネル、貯蔵庫等の防水にその威力を発揮しています。

●三ツ星ベルトの技術陣が独創開発。伸縮性、耐キレツ性、耐候性、耐薬品性にすぐれ、いままで難問題だった完全防水処理もこれで解決。

●北海道立寒地建築研究所において材質のご検討ずみ。

●お問合わせは本社・支店へ。

都市環境の水準と計画：Town Planning Institnte の50周年記念会議について——Journal of the Town planning Institute 1964年 Vol. 50 No. 7より紹介——

昨年ロンドンで行なわれたこの会議は，すでに発表されている「ブキャナン報告書」H.M.S.O, Traffic in Town. 1964 を問題提起の材料として，都市交通と，環境の水準について討議反省されたようである。これに関して，一般的な都市問題についての反省，とくに都市環境の質を問題としたコリン・ブキャナン教授 Colin Buchanan の講演，これに対して行政，計画技術上の問題を示唆したマッケンジー教授 W.T.M. Mackenzie の講演，および，大ロンドン地域計画事業について述べたリチヤード・ナジェント卿Richard Nugent の講演を中心にして，とくに英国で問題となっている諸点と，殊にわれわれにとって注目すべき点を要約的に紹介してみたいと思う。

問題の中心は，大体3つの焦点にしぼられるようである。まず第一に自動車交通，都市の膨張，産業の発展に対して，現在与えられている計画の技術的対策に対して行なわれた反省である。現在われわれが都市計画の原理にしたがって仕事をし，このため最大の努力を払っているにもかかわらず，将来において，結局人間環境を作り営んで行くのに失敗するかも知れないという。そしてこのことは環境の「質」の問題であるという。このようにフィジカルな都市環境とその内容としての質を採り上げたことが一つの点である。次に，ではこの質の問題を考慮しながら，どのような計画の方法を採らねばならないかということと同時に都市環境を作って行く主体性はどこにあるかということが第二の点である。そして最後に現在の英国における行政組織や都市計画の組織の不合理な点と，これに代って提案されるべき方向が討議されている。考え方の一貫性として，いやむしろ生活態度の表われとして，公衆の力，デモクラシーがしばしば云々され，また問題の究極点がいつも個人個人のモラルの問題に帰されるのは，英国的精神といわねばならない。

(1) 都市環境における「質」

科学技術的なことのみに目をうばわれた英国の一般公衆の低い水準の理想と好みの結果，まことに少い例を除いて，いわゆるニュー・タウンにおいても環境の質は低いといわれる。ブキャナン教授のあげる「質」の指標は次の4つの点にしぼられている。

i）安全性　Safety

ii）便利性　Convenience——建築の次元ですでにみとめられている「用」が都市の次元でも認められねばならない。

iii）視覚性　Visually interesting and stimulating——都市におけるさまざまな様態の空間の問題。

iv）多様性　Varaiety —— あらゆる意味での都市生活の多様性が強調され，歴史的伝統もこのうちの重要な要素でありニー・タウンにおける歴史的蓄積の欠除が，この多様性を減ずる因になることが多い。

このような指標で示される環境の質は，現在行なわれている法令による都市計画のみによっては決して得られるものではない。そこで都市，環境形成について責任のある部門が問題となるのである。

(2) 計画の「方法」とその「主体」

上ですでにふれたように，法令で調整する従来の都市計画では，現代の重要な諸点が，ざるを抜ける水のように無視放任されることになる。ロンドン地域計画にたづさわったR．ナジェント卿の指摘はこのことを意味している。すなわち，従来の消極的な計画よりも，むしろ，積極的計画に進まねばならないことである。このような計画の主体性は，したがってもっと明確にその居所を明らかにされねばならない。これについては次の4つの部門が上げられている。

i）公衆——そしてこの公衆の理想を好みの水準を常に高めるため，公衆に様々の刺戟を与えるべき市民団体が組織されること，教育が行なわれることなどが強調されている。

ii）中央政府——諸々の出費内容支払について再検討されるべきである。

iii）地方政府——地方自治体の議員の教養と指導性を向上させること，再開発計画における質の向上が問題である。

iv）土地所有者と私的開発業者—個々の建物における質の向上と，常に総合的開発の見地で計画が進めら

れるべきであり，土地所有者と私的開発業者との共同協力が望まれる。このため例えば，利益を共同計算し再配分する程に協同する用意が必要である。計画の方法としては次の諸要点が反省されている。

i）経済性の意味についての再検討。計画についての費用の基準が，実に目前の目標に限られ，また「質」の問題はほとんど考慮されていないことを突いたものである。われわれの行なう仕事の多くは，未来の世代に役立つという観点から，環境に対する視点をもっと高く設定しなければならない。

ii）計画の内容についての反省。都市内で「行なわれること」そのものが計画されねばならない。交通の道具としてではなく自動車にまたはオートバイに乗ることに楽しみを見出す若い人々に対する問題も，この意味で考えられることであり，もっと広く，環境と余暇の問題にもなるであろう。

iii）計画，開発の迅速化。一つには新しい技術の発展が条件であり，他方では行政上の手続の合理的な簡略化が条件である。必然的に生ずる個人の利益権利に関する何らかの犠牲に対する補償条件を寛大にすることも必要な条件であろう。

iv）サバーブとサバービアの問題。英国人が伝統的にサバーブ（郊外）を好み，これを建設してきたとしても，結果的現状はサバービアであり，大都市の周りに窒息するように集中してくる近郊の無秩序な拡大である。都市と田園に調和した相互関係を作り上げるには，まずこのサバービアの現状を直視し，これに大切開手術を行なう勇気が必要である。

v）計画的発展　planned expansion と連続的発展 continuous expansion。ある一定時間の未来を想定して15年，25年計画を立案，実施する方法は現在行なわれているものであるが，都市の現状は連続的に発展してきたものである。この二つの発展の可能な確率は，現在の時点では五分五分であろうけれども，15年，25年計画などのうち，その15年，25年経過したあとはどうなるだろうか。ここで計画そのものに対する基本的仮定の再検討が必要となるのである。すでに実施されているニュー・タウンの第一世代はすでに予見された計画的発展にしたがうことの困難さを認めている。連続的発展に対する再検討がこの意味で重要である。

vi）feasibility study と decision-making のモデル。feasibility study とは，例えば現在の状況Aから，科学的に可能な未来の状況Bへの変化の可能性に対する研究である。すなわち，この未来Bへの計画決定および実施に移る前に，その間に必要な経費，時間（年月）そうして更に実際にBの状況に到達するときには，計画上でのBの状況がいかなる程度に「時代おくれ」になっているかを研究しなければならない。実際的には，この研究検討は，実施要求度や科学的操作の間で明確にとりだして考えられないものであるが少くとも次のような要素を考慮しなければならない。すなわち計画のオプチマムな完成年月，またある一定年月の後には，計画が無用になってしまう年月（一般的にオプチマムの年月より長い）が検討されねばならない。これはとりもなおさず，計画決定 decision-making の過程そのものであろう。実施計画 working-plan の他に計画決定のモデルの作成の有用性が議論されている。計画と地域研究調査は総合的でなければならない。また政府から地方政府，更に大衆に到るまでの段階相互間での作用，調整のためにこの計画決定のモデルは大いに力となると考えられている。この意味で決定過程の内に次の4つの要素が上げられた。

1）共同の利益とそのための公衆の組織化（これには，国家的地方的ないわゆる公共利益の他に，利他的，美的などというように把え難い利益も当然含まれている）。2）市民の個人個人が選択に常に向上する水準を保持しなければならない。自動車住宅，休暇，道路，仕事などの撰択が問題なのである。この個々の要素が加算され，全体として，一つの社会としてある方向に向った撰択が行なわれることになる。なぜなら撰択が合理的に行なわれることは，緊密性 coherence と総合 integration が要求されるからであり，そこで社会的「好みの移行性 transitivity of preference」があらわれるのである。3）職業団体が決定に大きな影響力をもつ。けれども決定そのものについては力をもっていない。4）議員などのように選挙され大衆を代表する人々。計画は固定したものではなく，常にいくつかの可能性をもった計画がなされるべきである。そして計画当時者の各個人が可能な方向への計画 alternative を選択し得，また計画組織全体として各々の可能な計画 alternative の結果を前もって分析，吟味することができねばならない。

vii）公衆。議論を通じて，公衆に向けられている注目は非常に大きいものがある。環境の質的損失に対しても，民主々義社会では政治的にも経済的にもまた技術的にも解決の道はみつけることができない。ただし公衆がもっとこの問題について心をくばるようにならなければならない。結局自由社会における指導精神が一番問題となるといわれている。前述した計画決定の過程においても公衆の理想と好みによる選択が社会の意志を構成すると考えられているのも，公衆の力を重要な要素と考えていることを示している。したがって公衆に，中央政府もまた地方政府も最大限の情報を提供することが大切である。このような公衆に対する信頼と責任感の期待はよく英国的社会精神を表わしているのであろう。

(3)　行政組織と都市計画

現在の英国における行政組織が都市計画の現状と将来の英国発展の枠と相入れないものをもっていること

が指摘されている。ロンドンを含むイングランド東南部が他の地域に対して異常に，集約的に膨脹発展をしているのである。また，各地方政府が従来より独立的な機能を果しており，中央政府の力が，かなり制限され局限されているのは，19世紀よりの英国の伝統である。現在，都市の形と質が根本的に変りつつある時に際して，当然現行の行政組織が検討されなければならない。「クローザー報告書 Crowther」による新しい行政組織の提案は次の4段階を示している。

i）国家目標を明確に表明すること——中央政府の段階。

ii）各地域の1つ1つに対する全般的計画——地域（レジオン）の段階。

iii）再開発のための詳細プラン——地域（レジオン）または地方（ローカル）政府の段階。

iv）計画の実施。

このような階梯的組織における提案について述べてみよう。まずブキャナン教授は，地方都市も含めた，国全体としての環境に特別の責任をもつ中央組織が作られるべきではなかろうかと論じている。中央政府およびその他の組織から選ばれた人で作られるこの組織は，あるいは本質的には創造的でなく，冒険をあえて試みようとせず，単に政策の草稿を描くに過ぎないと批難されるようになるかも知れないが，この一貫した組織は，財政的には国家に支持され公衆の要求を代表することになる。またこの中央的組織は「クローザー報告書」でも強調されている所である。また国全体として強力な政策力がない場合，このような組織の力もうたがわれようし，国家的規模での国土利用開発についても，地方の単位で決定されるものでなく，少くとも中央政府の段階で検討されるべきものである。しかし行政組織が改革されるとしても現行の組織を外的に修正したり，附加することは無意味でありまた不可能であろう。行政組織やその方法は行政組織内部から漸次に変って行き，これは次の新しい世代の中に目芽えるものであると期待されている。

現在のいわば地方政府主義に対する上のような反省と並んで，更に地方政府より大きな範囲を含む地域開発について，地域開発団体が提案されている。これは「クローザー報告書」によるもので，ニュー・タウン協同体にならって地域的な規模で新しい計画団体が作られることも望んでいる。この団体は固有の財源により，公的に指定された団体で調査研究計画のスタッフを備えて，中央政府の調整の枠内で活動する。地方政府，自治体を互に協同させ，地域計画プランを作成すると同時に既存の公共の計画組織に，その経済的条件に基いて，詳細プランを作成する。そして場合により，地方政府に変って計画を速く，有効に実施することを仕事とするものである。ロンドンを中心とする地域では，州議会が地域常任委員会をアーバー・クロンビー連合の上に設立し，次いで，東南部ほとんど全地域の州に互に拡大し協同して開発計画が検討された。この新しい地域的アプローチはリチャード・ナジェント卿によって講演されたことの内容であるが，人口問題を始めとして，やはり国家的見地での検討，計画の問題に帰す困難な点に引きあたりつつあることを述べている。これは，すでに上で論じられた中央組織の問題となるのである。そして最後にマッケンジー教授は，上にあげた階梯的段階づけによることが，結果的に各段階での独立的作用と化し，全体的な統一が失なわれる恐れについて次のように述べている。このような図式の内で，彼が強調しようというのは，必ずしもその構造ではなくて，その機能である。各々の組織や機関が，その限られた狭い枠の責任収拾に終始するとすれば，やはりこれは一般，および公衆のモラルの問題であろう。彼の強調する機能は次の4つの点に要約されている。

i）緊密な関係 liaison——中央政府と地方政府，その他の団体との間での，迅速で有効なコミュニケーション。

ii）審議 consultation——地方政府，その他の団体が一つの場で意見を交し議論できる開放的フォラムの必要性。

iii）知性 intelligence——公衆も含めて，全ての団体，機関に収集され，検討された権威ある情報が提供されること。

iv）公報 publicity——地域的なレベルにおける公衆の関心と議論が行なわねばならない。このためには一般報道紙，ラジオ，テレビジョンなどを通じて地方公衆のこの問題に対する教養が高められねばならない。そして大衆の間でのコミュニケーションの必要が要求される。

これらの4点に加えて，計画実施について新しい形の組織が要求されねばならないことがいわれている。それは地方政府，自治体と一般の公衆との協同体への期待である。

× × ×

会議の議論は「ブキャナン報告書」のとりあげた急激に悪化する自動車交通の問題を契機とし，現代の都市が緊急事態に陥入っていることを出発点として行なわれたのであった。けれども一般的な観点は，それが絶望的であると深刻に考えるのではなく，むしろ，それが個人個人のモラルにかかっているものとし，かなり楽観的観点が支配しているように見受けられたし閉会の講演でも言及されている。ここで取り上げられた問題が皆それぞれに示唆する所が多いのであるが，都市計画も含めて社会政策において，情報（インフォーメーション）が重要視されていること，いわゆるコミュニケーションの問題，都市環境の質への反省，また年次段階的な計画的発展と連続的発展に関する都市計画の基本的な仮定に対する反省は，都市計画の技術的面においても，まことに重要な反省であろう。

（京大都市計画研究グループ
文責 加藤邦男）

第3回・吹付工



出張久夫氏
（合同特許建材㈱
大阪市東住吉区駒川町3-54）

公営または公団のアパートのお化粧といえば，ほとんど色モルタルの吹付だ。タイルとか石とか値段の高い化粧代は払えない。設計者は，現代の城，アパート団地の色彩を少しでも豊かにしようと思って吹付の色彩決定に苦心する。

色彩設計の良し悪しは設計者によるが，お化粧の出来，不出来は，吹付工の双肩にかかってくる。ここに紹介する出張さんは，その吹付工の1人である。昭和2年生れというから，現在働き盛りの38才。建物の吹付を始めてから足かけ10年ほど，油ののりきった時期である。戦時中は航空機や自動車のスプレーをやっていたから建築工事にスプレーが行なわれるようになると，スムーズにこの仕事に入れたという。

吹付工事では，大体5人または3人でチームを組んで仕事をする。関東では5人が普通だが，関西ではほとんど3人である。3人のそれぞれの作業分担は，養生，手元，吹付とわかれている。すなわち，養生は窓枠にハトロン紙をはったり，ベニヤ板をもって吹分け，または他の仕上材の部分と区分したり，仕上ったところから掃除を行なったりすることであり，手元は，材料の調合，煉りあわせを行ない，そして吹付は，スプレー・ガンをもって吹付を行なう。1人前の吹付工になるには，大体，手元に2年，吹付に3年，5年かかるという。

吹付では，材料の煉り方，コンプレッサーの使用気圧，およびノズルの口径によって調節を行なう。このへんのコツを覚えれば，1人前である。材料の煉り方を硬くするか軟かくするか，また砂を入れるか入れないかによって表面の仕上りは変ってくる。コンプレッサーの気圧は大体3～5気圧のところで吹くが，仕上の程度，場所，好みによって調節しやわらかい感じで仕上げるには低い気圧で吹く。すなわち気圧が変ればモルタルなどの付着量が違ってくるからだ。ノズルの口径は3mm～5mmを使用するが，下地の場合は3mm，仕上げだと5mm位のものを使用する。

もう一つに色彩がある。吹付工は指定の色彩を出すのに苦心する。見本板できめた色と実際建物に吹いて同じ色で仕上げるには面積効果を考えて若干薄くするとか，同じ色でも，北面と南面とでは違った色彩にみえるとか，水効性の強い材料は吹くと色が濃くでがちであるとか，さらに下地の乾き具合，外的条件の天候など充分考慮に入れて吹付工程を組み，材料，機械の調節をして作業をしなければならない。

現在，吹付で難点とされているのは，気温が低く湿度の高いときに濃い色モルタルを吹付けると，白化現象といって白いムラムラが表面にでてきて薄ぎたなくなることである。原因はまだはっきりつかめていないようだが，気温が比較的高く，湿度の少ないときだとこんな現象をおこさないことからみて，気温，湿度に関係があるとされて，目下その対策を研究中だそうである。モルタルより樹脂系統のものを使えば，この白化現象は少ないということである。

設計者も，諸々のことをよく知っておかねばならないことはもちろんだが，工事管理者としても養生，手直しなどの生じないよう合理的に工程を組んでほしいと，出張さんは注文する。左官，ペンキのすんだあとだと，どうしても養生が大変だし，手直しも多くなる。また凹凸の多い小さい面で色違いを多くすると，強い圧力で吹付けるものだから色モルタルが壁に当ってとび散ってきれいに仕上らないことが多い。せっかく，効果を狙ったものが逆に色が混ってしまって中途半端になりかねない。またほとんどが他の仕上材を用いているのに，ごく一部だけ吹付けを使うのも考えものだという。

この職種も，いままでの職人シリーズのなかでとり上げてきたように一般の建設業界の下請け的存在とあまり変らない。職人は技能工的色彩を帯びているにしても，会社とは雇



傭関係になく独立した下請的存在で不安定な状態におかれている。ご多分にもれず，この業界にも若い人の希望は少ないと出張さんは歎く。しかし，出張さんはその仕事を愛し楽しみながらやっている。その上，なかなかの研究熱心だ。新しい材料，機械がでたとなるとすぐそれと取組み何とか新しい面を開発しようと努力する。セメントモルタルに変えて樹脂ととり組んだり，また今はオートドラゴンをうまく使いこなそうと研究している。一方業界の合理化などにも熱心で，ある夜間大学の経営学部に籍をおいてその勉強にはげんでいる。こういう人たちの層が厚くなってくれば，この業界の合理化も進み，近代化されるのもそう遠くはあるまい。　（簸内幸雄記）

熱環境とオリエンテーション

大阪工業大学　建築学教室
金　谷　英　一

V. Olgyay「Design With Climate」Princeton Univ. Press 1963 から住居建築のオリエンテーションに関して Chap.VI Sol-Air Orientation をとりあげて紹介する。原著には，関連部分として Chap. II The Bioclimatic Approach に熱環境の要素と快適帯について，Chap. IX Wind Effects and Air Flow Patterns で風向とそのオリエンテーションとの関係を論じている。

1. 太陽への拘束

古くから人々は太陽の運行やその日の出に注目して，重要な建物を夜明けの光の方向—東方—に向けることによって多くの集団の儀式で尊ばれた。太陽の運行はエジプトで研究され，寺院や墓が永い時代にわたって，正確に4方位またはその小分割方位に定められていた。しかし，のちになってシンボルとしての太陽に関心がなくなり，その興味は病気治療のためかあるいは心理的な効果に転じた。ウイトルウィーウスは彼の論文「建築書」の中で，健康によい配置を都市の原則的要素と認め種々の提案を示している。（注　建築書の成立は BC 25年頃といわれる）

建築のオリエンテーションに関する問題は多くの要素からなり，それらは局地的地形，プライバシーの要求，眺望の快適さ，騒音の減少そして風と日照の気候要素である。建築家の仕事の大きな部分として，熱環境，衛生および心理的効果に対し，太陽の価値を最も良く利用できるように建物の位置を定めることがある。

地軸の太陽の方向に対する傾斜のために著るしい季節の変化を生じ，建築のオリエンテーションは各壁面に投射する日射量に影響される。北緯42°では，冬季南面の日射量は東，西面に比してはるかに多く，ほぼ3倍に達する。一方，夏季には南面と北面の両方に投射する日射量は，東と西の面でうけるものの半分にしかならない。もっと緯度の低い地方では，この比率は一層はっきりして，容易に快適さと不快との差異を示すことができる。

2. 最近の理論

日射の測定技術の発達とデータの蓄積により，オリエンテーションのアプローチは計算にもとづいて行なわれ，その測定は多くのソラーオリエンテーションの理論の基礎となった。

A. Rey, J. Pidoux, C. Bardetは，オリエンテーションの基礎として「helio-thermic」value を考案した。この値は日射の継続時間とその時間内の優勢な中央の温度との積である。この積を用いて，種々のオリエンテーションにおける年間の熱量を計算して，北東19°の helio-thermic axis を得た。

F. Marboutin は日射の計算をして，

1）冬暖かく，夏涼しい最良の条件とするには，建物のファサードは原則として南面すべきである。

2）南東と南西に面するファサードは，通常，日射を有利にうけるが，南面に比べて冬はより寒く，夏はより暑くなろう。

3）東と西の面は，南面，南東および南西面よりも，夏暑く冬寒い。

ことを示した。G. Bardet は，これにもとづいて，オリエンテーションチャートをつくり，優先的な方位として南面をとり，南東および南西へ30°までの変化を許している。

J. Lebreton によるチャートは，南から南東25°までのオリエンテーションが好ましいとし，南東までの方位を良い条件とした。また，南から南西までの方位をがまんできる条件として分類した。

「ソラー」ハウスに関する多数の最近の理論は正南のオリエンテーションを優先的なものとした。たしかに，これは冬至に最大の日射量を得て，夏至には最小の日射量となる。しかし，これらの理論は早朝にはより多くの日射を要求し，夕方には，時には，日射が好ましくないようになる気温の日変化を考慮していない。あらゆる室に最大の日照を強いる理論は，暑すぎる地方と季節には適用できない。

3. ソル・エア　アプローチ

オリエンテーションのための「Sol-Air」approach は，気温と日射が人体の温熱感覚に相互に作用することにもとづいている。そこで，輻射を利用するには，その熱的衝撃を熱対流とともに考察しなければならない。その総合効果は「快適帯」に近い温度レベルを保つことにより評価される。

太陽熱の重要さは，さらに地域と季節で異なるだろう

寒い条件のもとでは輻射を加えることが歓迎され，建物はできるだけ多くの日射をうけるような位置とすべきであろう。一方，暑い条件のもとでは，同じ建物のオリエンテーションは，不快な日射の衝撃を減じるべきである。この2つの条件は，the bioclimatic chart により，年間のアンダーヒート期間とオーバーヒート期間を限定する。一定の敷地に対して，最適のオリエンテーションは，アンダーヒート期間には最大の日射をあたえ，オーバーヒート期間には日射を最小に減じるだろう。

地域的要求によって生じるオリエンテーションの変化を図—1に示した。高緯度では，一般に空気は冷たく，太陽熱の要求が大きい。したがって，建物は年中日射の最大量をうけるようにオリエンテーションを定めるべきである。しかし，低緯度では，空気は熱せられているから，太陽の不快な輻射をさけるために，その軸をかえて微風をとり入れるべきである。

日射の種々のオリエンテーションに対する効果を，鉛直面を各方位に回転し，その合成した熱的衝撃を計算して図—2に示した。これは北緯40°に対してあたえたもので，ニューヨーク・ニュージャーシィ地方のデータにもとづいている。これらの図では，

1）アンダーヒート期間にうけた直達日射量の総量 Ru とオーバーヒート期間のそれ Ro とを，単位1,000 Btu で示す。

2）晴天の全日射量の年変化を上図に示す。寒冷期は12月7日—3月7日，暑熱期は6月7日—9月7日とした。

3）代表として，3月21日の時刻別のソル・エア インデックスを気温に日射の衝撃を加えて下図に示した。

東面の方位のごとく，日射を午前中にうけると日変化は平坦に近い分布となり，反対に西に面する場合は，日射を午後にうけ気温のピークと輻射のピークが重なる。このため，午前の低温に比べて，午後は強烈な熱的衝撃をうける。

4. 地域に対する適用

ニューヨーク・ニュージャーシィ地方におけるオリエンテーションの評価は，全日射量（直達日射と天空日射）を用いて，円グラフ（図—3）で示される。第1の円は全年日射量の各方位について示したもので，南面で最大になっている。第2の円はアンダーヒート期間にうけ

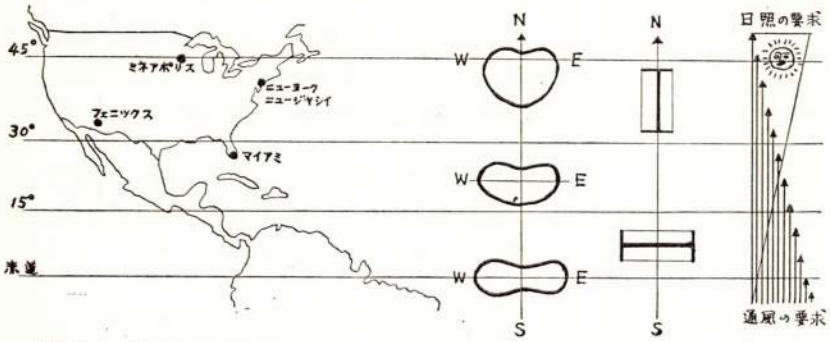


図-1　太陽と風の2要素がオリエンテーションに関係する

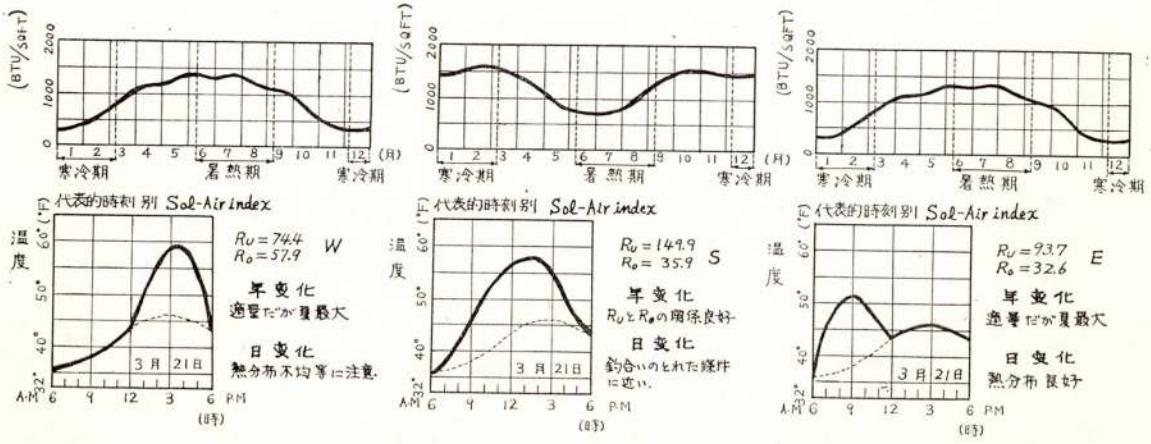


図-2

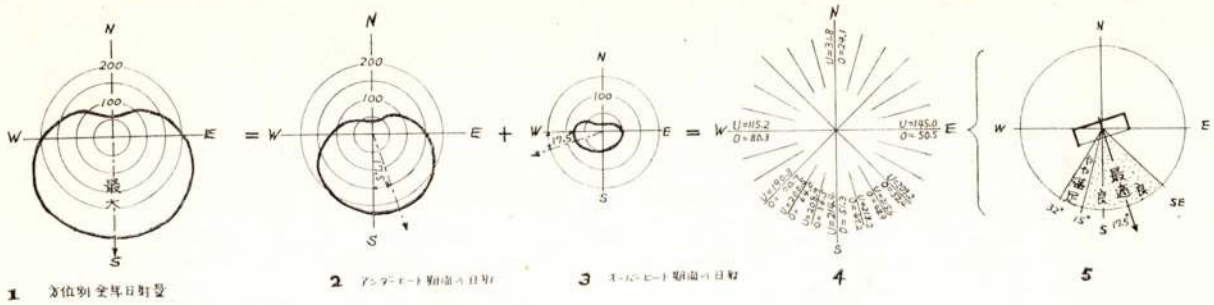


図-3

た日射量を示し，ここでは最大の日射は南東 17.5° である。第3の円はオーバーヒート期間にうけた日射量で，西から南へ 17.5° で最大となる。これは最適なオリエンテーションが南東 17.5° にあるということになる。最後の円の「良」と「やや満足」の方位は，第4の円の2つの期間の日射量—OとU—からみちびかれた。

同じような円グラフでフエニックス（アリゾナ）におけるオリエンテーションの評価をする場合，日射量は緯度の相違のほかに，比較的快晴の多いためにずっと大きい。フエニックスの暖かい気候では，アンダーヒート期間がずっと短くなり，オーバーヒート期間が長くなる。そして，前者の好ましい方位は南東 32°，後者の好ましくない日射の最大は西から南へ 22° になる。この2つの方位は互いに垂直には ならないから，調整が必要になる。寒暑のストレスと持続期間とを考慮して，オーバーヒート期間に有利に⅓—½の比率をとり，フエニックスでは南東 25° の最適オリエンテーションとなる。

オリエンテーションに関する第2の問題は，一日の熱のバランスである。理想としては，快適帯の温度で一日中一定であることを考えるだろう。この要求に近いオリエンエーションは最も変動の少ないものである。

一日のソル・エア　エフエクト（温度と幅射の組合せ）をニューヨーク地方の各方位について，図—4に示す。曲線Aは気温を示し，日射熱の影響を重ね合せて記してある。曲線Bは南東17.5°，曲線C は正南，また曲線D は南西 25° の方位のものを示す。

南東—曲線B—では，各季節に対して，最も平等に分布している。夏季には，曲線Bのみが少なく，他の方位は日射が多い。壁面が南東に面するときが最も重要である。これは気温のピークと日射のピークとがはなれており，軽減されている。南東の方位は，他の気候の土地でも同様な釣合いのとれた日変化を示す。

5. 地域別の応用

ソル・エア　オリエンテーションは，アメリカの4つの代表的な気候帯に適用される。図—5には，ニューヨークの場合を示す。コラム1は，オーバーヒートとアンダーヒートの期間にうけた日射の総量を示し，この地域では最大の方向が直交して評価が容易である。コラム2に最適のオリエンテーションを示してある。

寒冷地域（ミネアポリス，ミネソタ）では，温暖地域（ニューヨーク）と同様にして，最適方位は南東 12° を得た。高温・低湿地域（フエニックス，アリゾナ）では南東 25° を最適とし，高温・多湿地域（マイアミ，フロリダ）では，アンダーヒート期間があまりに短いので，オーパーヒート期間の軸に垂直な方位を最適として，南東 5 °を得た。

多くの場合に，建物の居住域が最適方位に面しないことがある。これは，建物が片側タイプでないときに生じ居住域は種々の方位に面することになる。最も普通のタイプは両側タイプで，この場合には，居住域は反対方向に面するものができる。これらは，背中合せまたは突抜けタイプで，同じアパートに属した2つの側面をもつ形

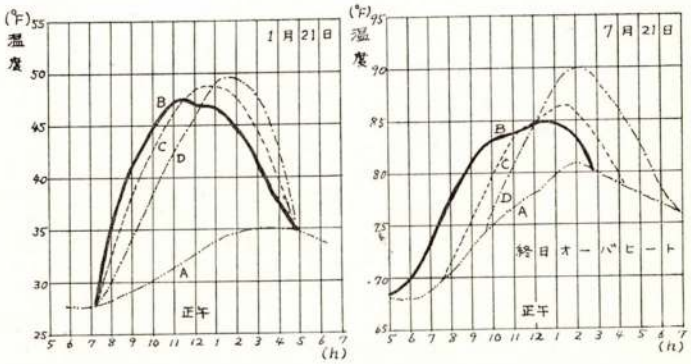


図-4

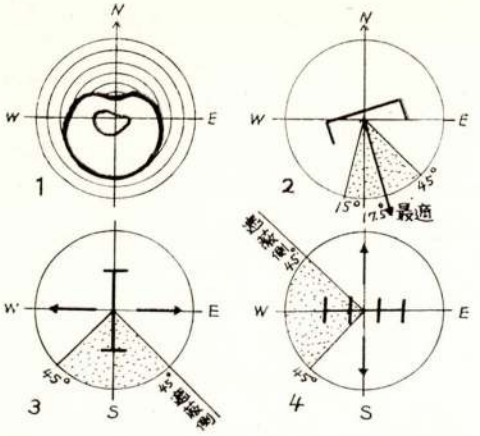


図-5　温暖地域（ニューヨーク，ニュージャーシィ）

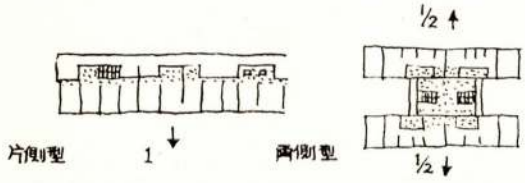


図-6

式とすることができる。（図―6）

コラム3では，温暖地域における両側形式のもので，寒冷地域と同じく，配置の範囲が広いことを示す。その軸が西にうつるにつれて，側面の熱の分布は一様化する。しかし，西面はわずかしか日照をうけないだろう。最も東によった軸の場合は，西面は夏季の日射から防護されなければならない。背中合せのタイプは，もっと南の緯度では不適当で，両側形式の突抜けタイプにかえるべきだ。

もちろん，他の多くのタイプの建物があり，その重要な側面は，容易には明らかにならない。そこで，各壁面に釣合いのとれた重要さが指定されなければならない。その結果，重要な側面に調整された日照を与えるだろう。このことから，同じ形の2つの建物でも，異なる配置の居住域とガラス面をもつ場合には，太陽の衝撃を最も有利にうけるために，ちがったオリエンテーションを要求する場合が生じる。

平面において，室方位に関する多くの推奨が行なわれている。その例として，**表―1**を示した。これは J.E. Aronin によってつくられたもので，北緯35°以上の住居建築の諸室に対する方位を示す。

最も重要なことは，居住域の要求する条件を確実にしその使用時間（たとえば，ディルーム，寝室のごとき）あるいは，特殊の時刻のみの在室時間（たとえば，学校サマーハウス，または事務所建築）がオリエンテーションの評価に考慮されるべきことである。

表-1　室方位の提案

	N	NE	E	SE	S	SW	W	NW
寝室	○	○	○	○	○	○		
居間				○	○	○	○	
食堂			○	○	○	○	○	
台所			○	○	○	○		
書斎	○	○						○
洗濯場	○	○						○
遊戯室				○	○	○	○	
乾燥室				○	○	○	○	
浴室	○	○	○	○	○	○	○	○
ユーティリティ	○	○						○
ガレージ	○	○	○	○	○	○	○	○
作業場	○	○						○
テラス			○	○	○	○	○	
サン・ポーチ				○	○	○	○	

オリエンテーションに関連する他の要素についてのべよう，すなわち日射の殺菌作用である。この理由から，2，3の建築基準は年間少なくとも，毎日2時間で年間250日の日照をうけることを要求している。米国公衆衛生協会住宅衛生委員会では，建築方位と間隔はつぎのような実施標準に合致することをすすめている。「冬至，住居の居室の少なくとも半分は，正午，太陽がその最大強度にあるとき，半時間の直射日光の射入があること」この基準は，たとえ立派なものであるにしろ，いかなるオリエンテーションも定義しない，建物のプランと間隔に関係のあるものである。けれども，それは特殊な場合に，1つの照合する標準として用いられる。

最後に露出表面の取扱いもまた重要である。もし，その立面が適当に防護されるかあるいは日除け（たとえば樹木，バルコニーなど）がもうけられていれば，オーバーヒート期間の日射（Ro）はアンダーヒート期間のそれ（Ru）以下となろう。もし，立面が大きな露出したガラス面であれば，Ro は Ru よりもずっと明確な要素となろう。したがって，Ro と Ru の値の関係は，立面の取扱いにもよるものである。

実施設計では，注意深い適用が個々のデザインに対して，その最も有利なオリエンテーションの条件を見出すのに必要となろう。

注）Olgyay らは，外気温約21°C（70°F）以上となる期間は日照を遮蔽し，これ以下の期間は十分日照をうけることを理想基準としている。下の表でニューヨークは本文図中からとり，大阪北緯35°はその月の平均値を示す。大阪では，7月，9月ともに21°Cをこえる。ニューヨークに比べて，遮蔽期間が長くなり，最適方位もかなりちがった結果になろう。

月／日	ニューヨーク			大阪		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
1／21	1.5	− 2.6	− 0.6	5.5	0.6	4.6
3／21	7.8	2.0	4.9	12.2	2.9	7.6
7／21	26.8	20.0	23.4	30.7	22.9	26.8
9／21	21.4	15.6	18.5	28.1	19.6	23.9

北京科学シンポジウム参加のため訪中して 7

ある衛星都市と居住区

松井昭光

▶曹さんという工程師に案内してもらって，上海の黄浦江わきの和平飯店から車で，32粁はなれたところにある閔行(ミンコウ)衛星都市までとばした。途中あるいは帰路，曹楊という新村居住区を訪れ，また数カ所の居住区もかけあしではあったがみた。

曹楊居住区は，51年から59年にわたって建設された大団地である。人口約6万人余，3つの居住小区からなる。マスタープラン作成の時期は，おそらく，中国としては，初期の段階に属するのではないかと推測するが，それにしてはよいように感じた。居住区中心のショッピングの位置も，大通りからひっこめて，多少とも，プレシンクト式（広場式）とモール式（緑地帯を設けた街路式）とを折衷したような配置をしていたり，また河川を生かしたりしている。ただ，2～3階建のアパートが古くなっている点は，初期の段階に属する建設のためか。しかし，植樹などは，広場・道路のいたるところにあり，緑が豊富である。

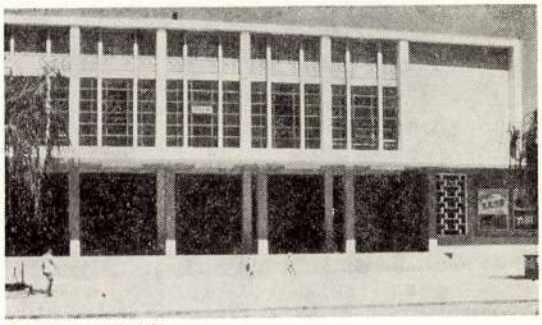
▶閔行では，閔行飯店の事務管理をしているという女性から，いろいろと閔行の発展ぶりについて，話をきいた。彼女は，1959年よりここへ住み，夫は近所の工場で働いているとのこと。

閔行は，上海のひとつの衛星都市である。工業製品，発電設備，機械を重点にし，ベアリングとポンプ製造工場，工作機械工場など，十数の大工場があり（別に小工場がたくさんあるが），これらの大工場ができ，上海からの労働者が増えると同時に，ここに住宅地が計画され，建設されてきているわけである。解放前までは，人口6,000人ぐらいであったが，現在（1964年），人口は7万で，うち2万が労働者，学生生徒が1.2万ということである。この人口は，居住区が建設されていくにつれて，増えていくことであろう。現在四つの新村（東風，汽輪，電機，紅旗の新村）居住区が形成されている。

▶幼稚園，托児所，公共食堂もそろい，商店もそろった。文化生活も発展し，劇場（1460席），映画館（1000席），文化館，図書館，水泳場，体育館もそろった。学校は，現在のところ，2つの中学校，7つの小学校，4つの技術養成学校，1つの中等技術（電気）学校があり別に中学校が建設中ということである。保健については340ベッドを有する綜合病院があり，また衛生保健ステーションが設けられている。これらは都市計画の規準にのっとって計画されたもの。たとえば人口千人あたり，托児所30座位，幼稚園40座位，小学・中学60座位，綜合病院6床，映画館12座位，公共食堂100座位といったぐあいである。

▶工業企業はL型の大**通り**（幹線道路）をへだてて，南側にあり，工業企業と居住区とは平行配置をとっている。労働者は，徒歩で10～15分ぐらいで通勤できるような配置になっており，住居と職場の結合という点がよく生かされている。いってみれば，帯状に発展していく衛星都市のようである。この大通りに面したアパートの一部は，いわゆる併用住宅で，1階は商店であった。

1962年頃の写真をみたが，同じアパート，同じ街路でありながら，私が歩いてみた感じと全然ちがうのである。どこがちがうといえば，一口にいって緑がちがう。いまは大通りも，広場も，アパートも緑で埋っている感じだ。アパートは5階建が多いが，ハコといった感じはなく，階段室，バルコニーの外観の扱い，色彩（暖色系・YR系）の扱いなど，見た目には楽しめるものがある。構造はRC造，ブロック造，煉瓦造，いろいろなタイプがある。サッシはいままで木製であったが，最近はスチール製がみられる。



閔行（ミンコウ）劇場

▶住戸の形式は，日本の2DKといったようなタイプでない。中国建築学会からいただいた「建築設計資料集I」には，単元式（階段式のこと）や内天井式（中庭式のこと），独立単元式（ポイント型のこと），外廊式（片廊下式），短外廊式（階段式と短かい廊下式の組合せ）などの住宅のプランが沢山でてくるが，一般に単元式三室戸の場合，間取は，柔軟性がある。2世帯がすんでも充分やっていけるような間取である。その場合，台所，便所，浴室は共用ということになる。地区によって一度に多世帯に入ってもらわねばならないという現実の段階から，1住戸に2世帯の収容も可能な間取が必要とされたのかも知れない。ある住宅団地の例でみると，1人当り居室面積は，現実に，5m²であるが，近い将来7.2m²とし，目標を9m²ということである。住宅が多く建設されて，一世帯が他の新住戸へ移った場合，一挙に7.2m²となり，あるいは9m²となりうるのであろう。

読者の頁

「会員の頁」を「読者の頁」と改題しました。投稿を歓迎します。ハガキでお寄せ下さい。けいさいの分には粗品進呈。

□中小企業団地に注目を！□

40年5月20日，大阪・谷町の紳士既製服製造卸業者41社で結成している「大阪既製服縫製近代化協同組合」では，枚方市長尾に建設していた〝工場団地〟が第一期工事の完成を挙行したと報じられていました。

総事業費30億円，関西では中小企業近代化資金助成法による団地づくりの第一号，中小企業の体質改善のモデルケースといわれていますが，事業委員会でぜひ見学の対象として取り上げてもらいたいものです。

また編集委員会としても，今皆注目の各地の中小企業団地の特集を考えてほしいと思います。

いかがでしょうか？

（やまもと　しげる）

□今年もぜひ散水車を！□

今年も暑い夏が目前になりました。雨期には道路舗装と排水設備の不備から通行難に閉口させられ，逆にこれからは輻射熱と砂ぼこりで，とくに歩行者の苦痛は大きくなります。そこでこの苦痛を少しでも和らげる手だてとしてですが，ある施工業者がその担当現場付近一帯の散水を続けておられます。これは現場の安全管理対策としても心の通った名案であるとおもわれます。通行人にはまことに嬉しいサービスであり，ぜひ今後も続けていただきたいものです。

（北浜生）



日本建築協会名誉正会員
故 **佐藤正次郎** 氏　83才

明治15年2月15日　香川県香川郡川岡村に生る
明治38年7月　京都高等工芸学校図案科卒業
明治38年　大蔵省印刷局技官を拝命。
大正6年　中央インキ株式会社を設立日本最初のテムペラ絵具を製造。
大正10年以降　建築業界に入り，故水谷政次郎氏等の援助により，政正合資会社を設立。建築材料（ステンドグラス，スチールサッシ，大理石，テラコッタ，耐火煉瓦，銑製鉄錬等）を製造または販売，終戦近くまで継続。
昭和20年6月　戦災のためやむなく帰郷。
昭和21年以降　農地開放，経済の変動等悪条件に対処，上阪に意欲的な面があったが，重病にかかり上阪再起を断念。健康回復後は専ら郷里にあって，時には農業協同組合長に推され，池総代，農協監査役を歴任，当時経営の乱脈を極めた農協再建に努力し，また香川県最初の農村電化事業を完成し，農業近代化の前提となる幹線水路事業を提唱推進するなど率仕的役割を果していた。

故佐藤正次郎君を偲ぶ

松　本　儀　八

名誉正会員，佐藤正次郎君は去る5月4日逝去さる。哀悼の至りである。君は京都工芸繊維大学工芸学部の前身である京都工芸学校の創立第1回（明治38年）の卒業である。

君は卒業後，大蔵省の印刷局に職を奉じたこともあったが，幾何もなくしてそこを辞め，政正合資会社を設立し，伊賀窯業会社と提携し，建築材料としてのテラカッタに着眼し，その生産普及ならびに販路拡張につとめた。またステンドグラス，スチールサッシ等々特殊建材を建設業界に提供することに終始したものの，戦時中，事志とその事業の経営は必ずしも一致しがたく，遂に郷里高松へその居を移して現在におよんでおった。

君は技術畑の育ちには珍らしく外交的手腕に長けておった。昭和8年頃のことである，君の主唱によって，建材業界の団体を作るべく，その有力業者を糾合し，関西建材協会（現日本建材協の前身）が創設されたときのこと，その会長には建築界のトップレベルの方をいただきたいということで，詮議の末，君の恩師にあたる当時京大教授の武田吾一博士を口説いて強引に引張込むなど，彼の外交的手腕のヒラメキの一端とも言えよう。その後，武田博士からとうとう無理矢理に佐藤に引張だされたとの話を直接聞かされたこともあった。

君はまた一言居士といわれ，話術にも巧みで，機智縦横いわゆるアイデアマンで，人に親まれる人柄でもあった。時折議論めいたことで答えが窮したり，行詰ったりして，自分に都合の悪い折など決して参ったとはいわない。君一流の高笑いとユーモア・機智で，その場を切抜ける秘術の持主でもあった。彼が属しておった社交団体の清交社では囲碁の長老として会員に親しまれていたらしく，相対局して戦い利あらずとみるや，高笑戦術の奥の手で相手をのむの気魄があったという逸話もきいておった。

とにかく彼はユーモアに富み，肌さわりのよい，人に親まれる人柄であった。

去る3月始め，余にあてた来信には，夏頃には上阪の心組みと記してあり，面語の機を楽しんでおった，彼としても，まさか幽明界を異にするなどとは予期していなかったろう。私は君のありし日の横顔の一端をものしてその面影を偲び，ご冥福を祈りたい。

日本建築協会

新刊図書案内

■この40年追補版は，建築基準法令の一部改正による早見一覧表の追加修正用として作成したものである。『31m をこえる高層建築物』を特殊用途の一つとして追加，容積地区内の高さ制限図解を追補したほか，消防法関係早見一覧表の改正版等も集録している。

建築物用途別
建築基準法および関係法規早見一覧表・昭和40年追補版

内　容　■昭和38年版改正表　■31mをこえる高層建築物　■規定の図解
■消防法施行令並びに大阪市火災予防条例早見表（40.5.1現在）
■防火材料・防火構造・防火戸認定一覧表（40.2.1現在）
型　　B5版（タテ・182×ヨコ・257㎜）　■40頁　■会員特価 100円 定価 150円 〒 50円
編　集　■日本建築協会出版委員会　■担当・西島勇・三品哲夫・原桂一郎・河村実
刊　行　■昭和40年6月1日

■図書の申込　「電話」または「はがき」で日本建築協会出版係まで願います。電話㊙9648・9640

図書名	会員特価	定　価	送料(円)
38年版	300	350	70
40年版	100	150	50
38年版＋40年版	400	500	120

■38年版と40年追補版を併せてご利用願えれば一層実務に資することと思います。

建築物用途別　建築基準法および関係法規早見一覧表・昭和38年版

■内　容　（1）一般建築物及び工作物に関する法規一覧表　（2）劇場，映画館，演芸場，観覧場，公会堂集会場　（3）病院，診療所　（4）ホテル，旅館　（5）下　宿　（6）共同住宅　（7）寄宿舎　（8）学　校　（9）百貨店　（10）マーケット　（11）自動車車庫　（12）自動車修理工場（13）公衆浴場　（14）長　屋　（15）法規図解　（附録）消防法施行令及び大阪市予防条例早見表
■定　価　¥350　〒¥70　■会員特価　¥300　〒¥70　■刊　行　38年2月1日

工事別建築材料集成(1965年版)　その商品名と材質特徴規格ならびに業者の一覧表

頒価 350円　送料 70円

日本建築協会月間のうごき（4月分）

理　事　会

8日　1時―2時半　於会館集会室
出席者　東畑，塚本正副会長外14理事
新旧役員の会食懇談会を開催した後開会
議　事（1）常務理事更迭の件
（2）理事会務分掌の件
（3）継続事項承認の件
（4）各委員会委員委嘱の件
（5）建築行政協会大阪市支部に入会の件
（6）理事会定例開催日の件
（7）日本建築学会支部主催ゼミナール後援の件
（8）入退会者承認の件
（9）報告事項
国際建築連絡協議会幹事の件その他

主計理事会

19日　4時―5時　於会館会議室
出席者　村石主計理事主幹外2主計理事
事務局職員の昇給案査定

住　宅　委　員　会

委　員　会

7日　6時―8時　於会館集会室
出席者　海上委員長外17委員
議　事（1）委員長，副委員長，選任の件
（2）住宅ガイドブック刊行の件
（3）住宅相談所開設に関する件
（4）住宅展企画小委員会編成の件
（5）委員会定例開催日の件

幹　事　会

20日　6時―9時　於会館会議室
出席者　海上委員長外2副委員長6幹事
26日　6時―9時　於会館会議室
出席者　海上委員長外2副委員長9幹事
28日　5時半―6時半　於会館事務局
出席者　海上委員長外2幹事
住宅展のタイトル，企画案などについて審議

編　集　委　員　会

編集理事会

9日　4時―4時半　於会館会議室
出席者　政岡編集理事主幹，片山海上各理事
編集方針と編集委員長の推せんについて協議

委　員　会

9日　4時半―7時　於会館集会室
出席者　片山委員長外2編集理事，14委員，旧委員2名
議　事（1）委員長の選任
（2）前年度委員会よりの申し送り事項の件
（3）編集の技術的内容の説明と経過報告
（4）8月「施工特集」号幹事会の件
（5）技術の頁シリーズの件
（6）新らしい技能工シリーズの件
（7）表紙デザインの件
（8）投稿原稿に関する件
（9）本年度編集の強調点に関して
（10）9月号以降の特集テーマの件
（11）各小委員の選出
（12）定例委員会開催日の件

幹　事　会

23日　3時―5時半　於会館会議室
出席者　片山委員長外5幹事



8月「施工特集」号の企画について協議

事業委員会

小委員会（若い会員の集い）

7日 6時—9時 於会館会議室

出席者 千葉主査外2委員

本年度の事業企画について協議し分担者決定

委員会

15日 5時半—7時 於会館集会室

出席者 増井委員長外23委員

議 事（1）委員長，副委員長，幹事選任の件

（2）各小委員会構成の件

（3）新しい事業企画について

（4）前年度委員会よりの申し送り事項について

（5）委員会定例開催日の件

小委員会（若い会員の集い）

22日 6時—8時 於会館会議室

出席者 千葉主査外6委員

本年度事業の「人と建築」の企画について協議

小委員会（展示会）

26日 正午—2時半 於会館会議室

出席者 星野主査外5委員

昨年度の経過報告並びに小委員会の使命につき意見の交換

小委員会（見学会）

27日 正午—2時 於会館会議室

出席者 道田主査外4委員

本年度事業企画の大綱について協議

小委員会（懇親会）

27日 5時半—7時 於会館会議室

出席者 谷川，打浪両委員

本年度事業企画について概要懇談

小委員会（各種説明会）

28日 正午—2時 於会館会議室

出席者 渡辺委員外4委員

本年度「建築工事別説明会」の企画について協議

小委員会（講演映画会）

28日 5時半—7時 於会館会議室

出席者 村島主査外4委員

本年度の事業企画について協議

教育委員会

21日 4時—6時 於会館集会室

出席者 岩下委員長外8委員

議 事（1）委員長，副委員長，幹事選任の件

（2）前年度委員会よりの申し送り事項について

（3）各小委員会の構成

（4）新しい事業企画について

（5）委員会定例開催日の件

法規委員会

28日 3時半—5時 於会館会議室

出席者 佐野委員長外8委員

議 事（1）委員長，副委員長選任の件

（2）建築士法改正問題の経過と情勢報告

（3）今後の同問題検討方法の件

（4）委員会定例開催日の件

建材委員会

30日 3時—5時 於会館会議室

出席者 政岡委員長外8委員

議 事（1）委員長，副委員長選任の件

（2）検討テーマに関する件

（3）定例開催日に関する件

出版委員会

電気設備編集幹事会

3日 3時—5時 於京都国際会議場 建設事務所

出席者 羽馬委員長外2幹事

✳特許
小俣式
防火シャッター全般
●設計
●製作
●施工
小俣シャッター工業株式会社
大阪支店
大阪市北区若松町30 電話（341）9004．9016．4825
本社 東京都北区田端町 事務所及本工場 埼玉県与野市

出版工程及特別資料欄依頼先について検討協議

委　員　会

30日　4時—6時　於会館集会室

出席者　田中委員長外17委員

議　事（1）委員長，副委員長，幹事選任の件

（2）前年度委員会よりの申し送り事項について

（3）各部会構成の件

（4）委員会定例開催日の件

請負工事契約約款改正委員会

13日　5時半より　於東京建築学会

27日　3時より　於同　上

出席者　本会より田辺委員

関係4会より委員出席の上改正について逐条審議

欧州建築事情視察団打合会

14日　正午—2時　於会館集会室

出席者　団員14名　日本交通公社吉田氏

吉田氏より種々説明の上準備などについて打合せ

映　画　会

第1回日本建築祭並オリンピック建築施設工事記録映画会

14日　3時—6時　於大阪科学技術センター

関係6団体共催　入場者450人

1. 第1回日本建築祭記録
2. 駒沢競技場　戸田建設提供
3. 屋内総合競技場付属体育館　大林組提供
4. 駒沢体育館　鹿島建設提供
5. 屋内総合競技場（技術編）　清水建設提供
6. 栄光のメインスタジアム　大成建設提供

役員委員懇親と見学の会

10日　1時半—5時半

国鉄京都駅東口に集合して1時半発。川島織物K.K.の新築本社工場を見学の後嵐山の嵐亭において懇親パーティを開催。出席者80名。

東京6会会長午餐会

28日　正午—2時　於東京朝日新聞アラスカ

本会東畑会長出席。

見　学　会

福徳相互銀行本店見学会

設　計　久米建築事務所

施　工　大成建設株式会社

3日　1時半—3時半　参加者50名

伊奈製陶工場と伊賀上野の遺跡見学会

17日　8時半—6時　参加者22名

伊奈製陶三田工場（半磁器タイル製造）を見学し，賀寿園にて中食の接待をうけたのち，緑ケ丘工場（ポリバス製造）を見学した。そのあと，伊奈製陶ご提供のバスで，俳聖芭蕉翁の生家，鍵屋の辻，忍者屋敷，上野公園（上野城）などを訪れた。伊奈製陶のご厚配に深謝。

天理教病院，松下電器奈良工場，奈良県庁舎見学会

天理教よろず相談所（病院）

設　計　教会本部営繕部

施　工　竹中工務店

松下電器奈良工場

設　計　双星社竹腰建築事務所

施　工　竹中工務店

奈良県庁舎

設　計　建設省近畿地方建設局

施　工　奥村組

24日　8時半—6時　参加者60名

竹中工務店より貸切バス，中食などのご厚配をうけて実施。深謝申し上ぐ。

編集後記：総論として，「社会開発」の歴史的流れと，やはり問題点と矛盾を多分にもつこの社会開発の本質をえぐること，そして開発の基本的態度といったことについて焦点をあわした。つぎに，それぞれの専門分野で活躍されている方から社会開発をどう考えるかについて書いてもらった。丹下健三氏にもお願いしたが，だめだったのは残念。公害の問題も執筆者の都合でだめになった。企画にご協力いただいた幹事は，鎌田恭男，広原盛明，足達富士夫，寺内信，水谷頴介，鏡内幸雄の各氏である。次号は青年建築家特集。

杭

株式会社　武智工務所

取締役会長　福留並喜

大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階

電話(202)3233・3234

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢

防錆完全・中空防音

合理的工法・責任施工

株式会社　奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町六〇番地

電話北(36)四一三一～四

屋根浪板
谷樋には 大島化学のひふくてっぱんを
固定式通風器 連続式換気装置にも
耐酸スタンダードメタル
カラースタンダードメタル
PATENT Standard
大島応用化学工業株式会社
本社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931)7071—3
支店 新居浜・東京・名古屋・四日市・広島・富山

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター
TNK 田中工業株式会社大阪出張所
大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2—89
TEL 大阪(411)6341(代表) (411)6342
本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1—25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4—122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3—43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区桜木町308
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2—93・吉田工務店
TEL 東京(623)代表0106—0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118—9
TEL 小倉(52) 2833・2834
TEL 川崎 ②7594—5
TEL 札幌 ③ 6762・0515
TEL 盛岡 ② 7642
TEL 名古屋 (57) 7641
TEL 米子 ② 4683

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事
専業大店
大阪市北区真砂町五番地
電話 大阪(三四一)二〇七~八・四八三六~七
株式会社久保商店

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話 (443) 代表 8161～9
出張所 東京都北区上十条1丁目10 電話 (911) 3941
名古屋市中村区牧野町1の6 電話 (54) 0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話 (34) 1778・4386
広島市袋町6番4号 電話 (21) 7575・7588

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社 大阪市北区富田町16 代表(341)7031
支店 東京都千代田区小川町2丁目1桧ビル 代表(201)7751－3
出張所 福岡市大名1丁目8ノ12 (74)1158
名古屋市中区新栄町2丁目1 (95)6331
福井市西宝永町2丁目113 (2)1596
松江市東本町4丁目147 (2)5098
広島市紙屋町8 (21)4537

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長 城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪321局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 5892

電気・暖冷房
水道・衛生 設計施工

大阪電気暖房株式会社

(旧社名 株式会社 大阪電気商会 大阪暖房商会)

取締役社長 菅谷三郎

本店 大阪市西区江戸堀1－60 電話(441)8231 大代
支店 東京・名古屋・福岡
出張所 京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪 (443) 5041～5番
本店 東京都中央区新冨町3丁目5番地(菊栄ビル)
電話 (551)7450～9番

札幌営業所 札幌市南十条西十三丁目九六四 電話 札幌㉓2959
金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話 金沢㉑2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話 福井②2436
高松出張所 高松南二番丁九 電話 高松②5195
岡山出張所 岡山市大供松ノ木三八〇ノ一 電話 岡山㉔5486

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店 東京駅前丸ビル6階676区
電話 東京 (201) 3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通 大同ビル714号
電話 大阪 (443) 3361～5
札幌店 札幌市北四条西16丁目1番地 高田屋ビル二階
電話 札幌② 0010・0956・③4661
名古屋店 名古屋市中区南大津通一丁目 千代田ビル522号
電話 中局㉔1766 ㉕3042

冷暖房
給排水、衛生水道
電気
厨房

6Sサッシ
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長 山田熊男
取締役支店長 樋口勝栄

大阪市東区北浜2丁目22番地 電話大阪(202) 代表3071
本店 東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店 出張所 名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松、
工場 鶴見、相模、六郷、高槻、中山、古賀

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14 電話 441—5171
支店 — 東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 建材社
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目 (新朝日ビル5階)
電話 大阪㉓3721(代)
本社及東京支店 東京都中央区銀座西6丁目3 (朝日ビル8階)
営業所 名古屋市中区菅原町2丁目 (センタービル)
連絡所 広島・北陸

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地
大阪支店　大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話　大阪（312）4521（代表）

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話大阪(341) 8356
本社　東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店東京・名古屋　出張所九州
工場　埼玉県北足立郡・東京都足立区

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長　中山敏正
本　店　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊾3391～5番
支　店　東京都新宿区荒木町一九番地
電話（351）2177～8番
神戸出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三　電話元町④3035番
仙台出張所　仙台市東四番丁四五　電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 朝日工業社

大阪市東淀川区加島町357　電話㊿2271～9（代）
東京支社　東京都港区芝浜松町2—7 電（434）6171（大代表）
支店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話大阪㊾（代表）0977
0978～9・0970
本社　東京都千代田区丸ノ内3—2（新東京ビル）
電話（211）8511・8561（代）
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話7332
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3－6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄
本　社　京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37（天満橋北詰）
電話㊾8829
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話7503・3665
津営業所　津市栄町2—111　電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長　牛田正郎
本　社　大阪市北区万才町50
大阪事業本部　電話　大代表（312）8671
東京事業本部　東京都新宿区三栄町18
電話（341）7171～5.1622.1624.5315
名古屋事業本部　名古屋市中区城代町7
電話（23）4690・3520
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

給水　衛生　空気調和設備
設計施工

平山工業株式会社

取締役社長　平山京平
大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話　大阪（441）代1994　（443）代0331

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4—7i
電話㊾2808・2809・2800・2134
本社　東京都文京区元町2丁目17番地
電話（811）（代表）6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5－45（興銀ビル別館）
電大阪代（202）7745番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
電東京代（901）3191番
本社・分室　東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電東京代（501）3156番
営業所　名古屋・仙台　連絡所　福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長 西村庄市

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪(313)代表3456
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・北九州

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町1丁目22
電話 大阪(362)8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区永楽町8番地 (日産生命館)
電話 大阪 ㊵ 代表 1234～9
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ケ枝町五六番地
電話 大阪代表 ㊵ 8131～7
支店 東京・名古屋・四日市・神戸・御
営業所 坊・新宮・松山・草津

空調衛生設備用各種自動制御盤
監視盤・グラフィック盤・指示計器盤
端子盤・高低圧受配電盤・分電盤
各種フロートスイッチ・其の他
各種自動装置用電気機器設計製作

森井電業株式会社

取締役社長 森井定勝
専務取締役 佐野春吉

本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)代表9611
支店 大阪市北区常安町十六番地
電話 大阪(443)代表8381・夜間(441)0502
出張所 名古屋・広島・福岡・仙台
工場 東京・大阪・福岡・名古屋

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都港区芝田村町5－29 相馬ビル5階
電話 東京(434)3848・(431)8435
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 **嘉納伝三**

本社 大阪市北区絹笠町五〇 (堂ビル三階)
電話 (312) 1471 (代)
支店 東京都中央区明石町15 (辻孝ビル)
電話 (542) 5641
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (99) 5131～3
出張所 小松市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事・設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三朝日ビル6階
電話 大阪 9531 (大代表)
電話 大阪局 ㉑ 7057 (直通代)
大阪営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話大阪局 ㊵ 5201番 (代表) ㊸ 2367番 (直)
京都営業所 京都市中京区西ノ京中合町二十番地十一
電話 京都局 ㊶ 9296 (代表)

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎

本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716) 4035 (代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪 (931) 代表 7341～5
機器工場 大阪市城東区野江東之町三丁目一一 電話大阪931(7004)
資材倉庫 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三 電話大阪931(2193)

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長 梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話・大阪 ㊿ 6531（代）～8
支店 名古屋
営業所 東京
出張所 岡山・北九州

電気工事設計施工
株式会社 三興社
代表取締役 林 敏夫
本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊸ 3671（代）
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊼ 1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
大阪支社
支社長 姉川正男
大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所 旭川・白河・横浜・静岡・富山

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計 製作
日本エレベータ工業株式會社
本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区上野3丁目10番10号
電話（832）5241代表
名古屋営業所 名古屋市中区宮出町58
電話（24）8416

電気工事設計施工
富士電業株式会社
取締役社長 田中実
本社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪（541）0564～7・7148～9
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

青写真とマイクロフイルム
株式会社 内外写真
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16 TEL ㊸ 9055（代表）

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㊶ 1756—7・東京 ㉑ 1335

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
耐風雨緩勾配用瓦……大和瓦
美術建築内外装用タイル……大仏タイル
株式会社 大佛
本社 京都市東山区今熊野大仏池田町9の9 (56)3555 3725
大阪営業所 大阪市北区空心町1丁目28 (351)0703
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目30 (88)2703
東京営業所 東京都渋谷区上原1丁目29の4 (467)1641

株式会社 矢橋大理石商店
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話 大阪 ㉑ 4257—8番

鉄骨・加工
設計・施工
新鋼建設工業株式会社
取締役社長 吉田信武
本社 大阪市西区立売堀北通1—76
電話（531）0609・6575・7418
（541）8166・8349
夜間専用（531）2053
工場 大阪府大東市三箇425

営業品目
●樹脂防水ゴーレヂン
●樹脂防水ゴーレックス
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
合同特許建材工業株式会社
本社・大阪市東住吉区駒川町3－54 電(791)代7814～6
営業所
代理店・広島市比治山本町1180 電広島(51)4967
・東京都品川区東大崎3の239 電東京(491)9698

木毛セメント板

東邦商会
本社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪(718) 1292～6
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山(2)0298・9435

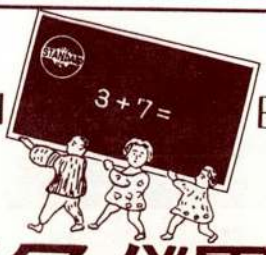

陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話 大阪(358) 4031

雨水浸入剥落防止
耐震耐風
安定軽量

ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目参番地 電話(641)参叁

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店

株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話大阪(341)2403・3904


Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話大阪(717)4561～2

奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器
株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町2丁目98 靱本町電停前
電話大阪・(532)0461～4番


ノトク
ノトクの新建材
プリント合板 ビニオン
プリント合板 リズムウッド
ビニール合板 ビニライト
ポリエステル化粧板 ポリプライ
立体加工合板 ノトクランマー
工芸合板 アジロ合板
合成接着剤 フルータイン
その他 新建材一式
浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通3の20 TEL (561) 2201 (代)
東京出張所 東京都江東区深川平久町1の13 TEL (644) 8432

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話 (532) 1234代表

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto. Barriev
(硬質石綿板)

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室
発電所、配電室、製鋼、ガラス工場
の壁、製糖、製油製薬工場の床スカ
ート壁などに最適

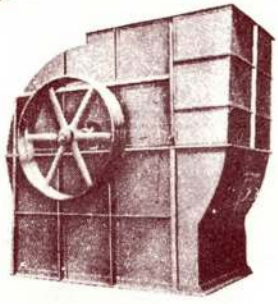
泉石綿工業株式会社

大阪市北区同心町1の11
電話 ㊿3442・4078

(呈カタログ)

KANDAN

煖冷房温湿度調整
設計 施工



各種送排風機
設計 製作

関西煖房工業株式会社

本社 大阪市住吉区万代東6ノ3 電話 大阪(672)1281(大代表)
堺工場 堺市浜寺石津町中2ノ200 電話 堺 (3)7301(代表)
和泉工場 和泉市観音寺町220 電話 和泉 (41)4151(代表)
出張所 名古屋・広島・福岡・徳島

防水には

プルーフテックス
プルーフコートの併用を

何れも合成ゴム、合成樹脂系のエマルジョンで簡単に施工が出来完全防水の目的が果せます。
詳細説明書送呈

耐酸化学工業株式会社 大阪市北区高垣町80 電(361)0178

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

東京カーテンオール工業株式会社

（旧社名東京鋼板工業株式会社）

本社及工場　東京都荒川区尾久町５ノ１０００
電話（891）８１３１～８
大阪支店　大阪市北区富田町１８番地島根ビル
電話（361）９１５４～７
名古屋支店　名古屋市東区久屋町５の９（住商ビル）④ 2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）㉔ ８８２５

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C.インシュライト断熱材製造発売元

N.G.C.式

米国パブコ・コンパウンドアスファルト
米国バイヤライト・コンパウンドアスファルト
販売

内外工業株式会社

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話（641）3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

鈴木式防火シヤタア

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33　電話（371）4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119　電話㉑ 2287



田中のガス風呂

ミリオンポリバス浴槽

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵

大阪ガス会社指定

田中風呂鑵作所

大阪市浪速区元町1丁目742　（641）5313・8128

特約販売・工事店

東洋キヤリア工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
(株)大阪パッキング製造所
大洋産業株式会社

販売　工事

各種保温保冷材料　冷暖房工事
各種冷暖房機器　防熱防音工事
冷凍機・石綿製品　各種配管工事
各種樹脂加工品　設計施工

日本冷熱工産株式会社

取締役社長　石川良興

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1の16（石川ビル）
電話大阪（443）3661～5
九州支社及長崎営業所　長崎市茂里町13番地　電話（4）0092・0308
営業所及出張所　広島・福岡・小倉・大分・徳島・舞鶴・東京

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）長サ965㎜ 1,818㎜

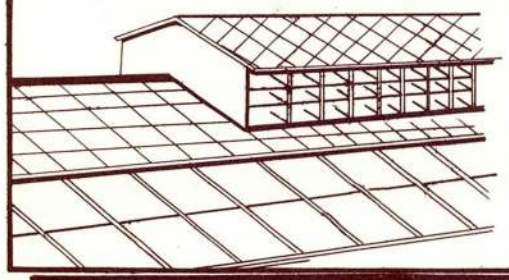
ダイニチ・アーモライト 波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波、寸法（長尺物有）

製造販売 **大日本硝子工業株式会社**

大阪支店 大阪市北区玉江町２ノ４（三菱倉庫ビル） 電話㊊1389・3389・3281
本　社 神奈川県相模原市小山字久保２２４ 電㉒3101～４

岩元式 **スカイライト** 並 固定筒型 コンチニアス **ベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈

岩元工業株式会社
本社 大阪市東成区東今里町４の40
電話(981)０６１６～０６１８



全国で好評の……

新興の繊維壁！

〈新発売〉 和室・洋室にピッタリの 美しい調和です！

龍鳳・桃山壁・昭和壁



- 清　流
- 大和壁
- 新興壁
- ほたる
- 錦上壁
- 錦上壁Ｋ
- 日本壁
- 新日本壁
- 蛍光壁
- いすゞかべ
- パビロン壁
- カセロンウォール
- チエリーウォール
- スーパーウォール

●防錆剤エバコン ●耐湿剤オートン ●化学糊スーパーシンケン糊

（全国有名建材店にあります）

株式会社 **新興建材工業所**

大阪市西区四ツ橋 電話(541)5756～9

東洋シヤッター

甲種、乙種防火シャッター製造施工

●品　種　キングゴールド（特殊チタメート処理）・亜鉛メッキ樹脂塗料焼付仕上

■スプリングシヤッター　■重量スプリングシヤッター　■手動式電動式シヤッター　■特許自動シヤッター

建築業者登録番号（チ）第5807号　甲種・乙種防火戸

東洋シヤッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃町4丁目33番地　電話（代表）471−8331

忠岡工場　大阪府泉北郡忠岡町字北出　電話　泉大津（2）4960

大阪営業所(352)4571代表・東京(771)1171・名古屋(33)6171・京都(35)6591・滋賀(大津2)8409・神戸(22)6591・福岡(3)4103　其の他全国主要都市

オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない●**三高式**

スチールサッシ・ドアー・シヤッター

オペレーター・ドアーハンガー

ステン・アルミサッシ・ドアー



TRADE MARK M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280　電話　大阪（401）6158・6159

9463・7939（491）3200

内　装　資　材
専　門　店

建　材　の　室谷

室谷商事株式会社

本　社　神戸市生田区北長狭通４－１（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支　店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル５階 502号室）
直通電話　大阪（312）2031～4
倉　庫　神戸市葺合区八幡通１－５（電話㉒2923）

陸屋根防水には
特許 絶縁工法を

OKUYAMA-KAKOSYO・WATER・PROOF・OAM

カッパー防水帯
コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西８の３　電話（571）2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町３３　電話（81）３６６０

●御申越次第カタログ進呈



大阪機工
OKKの
アルミサッシ

■サッシ・ドアー
■ルーバ
■カーテンウォール
■プレハブサッシ
■その他　特殊設計と製作

大阪機工株式會社
サッシ事業部

本社　大阪市大淀区豊崎西通1の4
電話　大阪(371)0664　5
工場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所
（福知山線北伊丹駅前）
電話　伊丹（大代表）5121

新しい時代の
燃えない建築資材

切らずにそのまま張り上げられる豊富なサイズのへり折り石膏ボード：
ニュータイガーボード

キレツがでない——あくがでない——施工が早い——塗りよい石膏プラスター：
YNプラスター

TIGER BRAND

吉野石膏株式会社大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
TEL（341）2556～9番
本社　東京都千代田区丸ノ内3－2（新東京ビル）
TEL（216）0951（大代表）
支店　福岡　営業所　札幌・仙台・名古屋・広島
関係会社　菱化吉野石膏・チッソ吉野石膏
宇部吉野石膏・住鉱吉野石膏

（カタログ進呈）

広告目次 (50音順) 建築と社会 昭和40年 Vol. 46 No. 6

ア kk朝日工業社……89
浅海電気kk……90
イ インシナー工業kk…… 7
泉石綿工業kk……93
岩住サッシkk…… 100
岩元工業kk……95
エ kk栄興商会……89
永和工業kk……10
オ オリエンタルメタル製造kk……13
小田正kk……34
小俣シャッター工業kk……85
大阪機工kk……98
kk大阪城口研究所……88
大阪耐酸工業所……40
大阪電気暖房kk……88
大島応用化学工業kk……87
鳳工業kk……11
kk奥村重兵衛商店……86
奥山化工業kk……97
カ 柏原瀝青kk……12
kk川岸窯業商店……92
川口ゴム工業kk……14
関西煖房工業kk……93
関西ペイントkk……20
関西三星タイル会…… 19
キ 近畿工業kk……12
ク 工藤電気kk……90
kk久保商店……87
栗原工業kk……90
ケ kk建材社……88
コ kkゴール…… 9
江東電気kk……90
合同特許建材工業kk……92
サ 斎久工業kk……88
kk斎藤省三商店……88
三栄建材工業kk……11
三機工業kk……88
kk三幸商会……92
kk三晃商会……88
kk三興社……91
三宝電機kk……90
シ 敷島金物kk…… 2
新鋼建設工業kk……91
kk 新興建材工業所……95
ス 須賀工業kk……88
kk鈴木シヤタア商会……94
住友金属工業kk……表 2
タ ダイケンサッシkk…… 100
田島応用化工kk……表 4
田中工業kk……87
kk田中風呂製作所……94
田辺工業kk……50
耐酸化学工業kk……93
第一企業kk……89
第一工業kk……35・89
大日本硝子工業kk……95
kk大　仏……91
高砂熱学工業kk……89
kk武智工務所……86
チ 中央電気工業kk……90
朝陽電気kk……90
ト 東京カーテン
オール工業kk……94
東光電気工事kk……91
東芝商事kk……22
東邦商会……92
東洋キヤリア工業kk……89
東洋シャッターkk……96
東洋陶器kk……14
東洋リノリュームkk…… 1
ナ ナニワ瓦kk……92
内外建材kk……41
内外工業kk……94
kk内外写真…… 91
中本電気kk……90
浪速合板kk……92
ニ kkニッカナ…… 3
日泉化学工業kk……33
日本エレベータ工業kk……91
日本管工業kk……89
日本サッシ協会関西支部…… 19
kk日本シヤッター製作所…表 3
日本スピンドル製造kk……20
kk日本セメント
防水剤製造所……35・表 3
日本電池kk…… 8
日本ドアーチエック製造kk……13
日本熱学工業kk……89
日本ペイントkk……54
日本冷熱工産kk……94
日瀝化学工業kk…… 6
西日本アスファルト
事業協同組合……69
kk西原衛生工業所……88
ハ kk林塗装店……91
ヒ kk日立製作所……表 4
美素工業kk……22
美素建物管理kk……22
kk平川鉄工所…… 2
kk平田タイル……93
平山工業kk……89
フ フジマーブル販売kk…… 5
フタバ黒板……92
富国交易kk…… 4
富士電業kk……91
マ 松下電器産業kk……71
ミ kk三高製作所……96
三ツ星ベルトkk……72
水谷ペイントkk……84
ム 室谷商事kk……97
モ 森井電業kk……90
ヤ kkヤマト電気商会……90
八千代電設工業kk……91
山田工業kk……88
kk山本建材社…… 3
山本窯業化工kk……55
ユ kk油脂化工社……表 3
ヨ kk吉田芳雄商店……92
吉野石膏kk……98
リ 理研鋼機kk……89

Iwazumi

岩住のサッシ・ドア

アルミ
ステンレス
スチール

カーテンウォール
スパンドレル

スチール工場　尼崎市守部字下河原拾五　電話代表(401)6751
岩住サッシ株式会社

アルミ工場　大阪市西淀川区千舟東二丁目三一　電話代表(471)5123
岩住アルミサッシ株式会社


大阪証券会館

モダンな
都市美を
創る……

ダイケンの

カーテンウォール

▶米国ヴァリーメタル社と技術提携◀

◆営業品目◆
- アルミ
- ステンレス
- スチール
  （サッシ／ドア）
- 防潮パネル
- アルミレディーメードサッシ／ドア

ダイケンサッシ株式会社

本社・工場	堺市松屋町1－6	TEL (38) 1141
営業部	大阪市西区靱本町1－109(富士ビル)	(532) 1141
鳳工場	堺市平岡町48	TEL (7) 1565～6
東京営業所	東京都千代田区平河町1－1	TEL (261) 6641
名古屋営業所	名古屋市東区東新町4(イーストンビル)	(94)3911
福岡営業所	福岡市舞鶴2丁目1の24	TEL (74) 5406
金沢営業所	金沢市下新町13	TEL (31) 3427～8
長野代理店	長野市吉田東町1251	TEL (3) 2729

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号



株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝　塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東　京（431）8648・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事　仙台㉓0721・札　幌⑤7171
代行店電話　大三工業高松②8697安藤工事　福　岡③5765
豊永建材　広　島⑥6371

仕様書型録贈呈

JIS合格モルタルコンクリート用

紫綬褒章に輝く

特許 マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中正一

本　　社　東京都品川区二葉町1－18　電話東京（781）1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里2－48　電話（971）4765・0063

防火シャッター

甲種
乙種

パイプシャッター

伸縮扉

電動式・手動式・バランス式

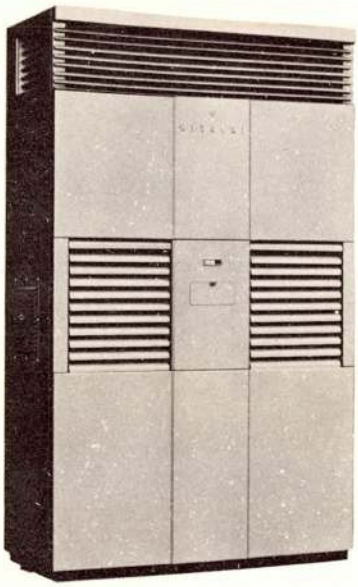
株式会社 日本シャッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話（301）（代）3656～9
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159　電話中原（0447）②6325～7
九州工場　福岡県粕屋郡柏屋町仲原釜屋2727　電話福岡㊺4779
千葉工場　千葉市汐見丘26　電話千葉②5544・4257
姫路工場　姫路市岡田249番地　電話㉒7173
名古屋工場　名古屋市中川区福川町1－1　電話㊱4351～2
岡山営業所　岡山市内山下77　電話③3524
高松営業所　高松市丸ノ内10番地（井筒ビル内）　電話②4008
高知営業所　高知市朝倉町96　電話②7349
徳島営業所　徳島市伊月町2丁目27　電話②1915
和歌山営業所　和歌山市万町4　電話②4932・8937
神戸営業所　神戸市生田区加納町3丁目2　電話㊴4646～7
北九州営業所　北九州市小倉区砂津町東本町558　電話㊷3673
北陸営業所　金沢市勝尾町28　電話③0619

錆びない

八幡製鉄製亜鉛引
ボンデ帯鋼使用

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可
昭和四十年六月二十日印刷
昭和四十年六月廿五日発行
（毎月廿五日発行）



日本の気候風土を研究しました

気象庁の長期予報では、この夏は酷暑…「日立エアーコンディショナー」が実力を発揮します。日立では日本の気象条件を徹底して調査研究し、そのすべてを製品に反映させました。

■主な用途
- ホテル・銀行・劇場などの涼しいサービスに。
- 一般事務所・病院などの能率向上に。
- 自動計算機室・精密計器室などの機器保全に。
- 製薬・製菓・製紙などの生産性と品質管理に。

日立エアーコンディショナー

日立製作所　大阪市北区(全日空ビル内)　電話・大阪(341)8871(代表)

■304.8㎜×304.8㎜　厚さ2㎜■一面坪￥3500→4000■カタログ進呈



美しい！はがれない！傷がつきにくい——Pタイルに関しての一致した意見です　玄人筋からは『柔軟性で木やコンクリートの床にも馴み易く仮敷もいらぬスピーディな施工性』といわれます。Pタイルはどんな場所でも明るい環境をつくる床材〔製法特許品〕です！

三星プラスタイルP

田島応用化工KK★

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL(866)代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL(441)代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL(57)6361
広　島／広島市鉄砲町108　TEL(21)2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL(28)2807

売価　一部　金二〇〇円（送料共）

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番